

令和5年度

主要施策の成果



目

次

○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	3	産業振興課	56
総務課	6	観光交流課	72
企画財政課	16	地域整備課	76
町民課	22	教育総務課	83
福祉課	28	生涯学習課	99
健康推進課	39	中央公民館	110
環境エネルギー課	48	図書館	114
農業委員会	53		
その他			
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業	117		

○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	118	大栄歴史文化学習館特別会計	128
介護保険事業特別会計	120	後期高齢者医療事業特別会計	130
農業集落排水事業特別会計	125	水道事業会計	131
栄財産区特別会計	126	下水道事業会計	133
合併処理浄化槽事業特別会計	127	風力発電事業会計	135

○ 資料編

令和5年度各会計別決算状況	138
令和5年度一般会計決算状況	139
令和5年度普通会計決算状況	141
財政状況・財政指標の推移	144
健全化判断比率等の状況	149
健全化判断比率等の推移	156

款	1 議会費	項	1 議会費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 議会費	101,074千円	100,589千円

①議員経費事業 3,487千円

(1) 本会議の開催状況

区 分	R5年							R6年		
	第4回 臨時会	第5回 定例会	第6回 臨時会	第7回 定例会	第8回 臨時会	第9回 臨時会	第10回 定例会	第1回 臨時会	第2回 臨時会	第3回 定例会
招集日	4/11	6/5	8/10	9/6	10/23	11/27	12/6	1/29	2/13	3/6
会 期	1日	12日	1日	17日	1日	1日	14日	1日	1日	20日
会議日数	1日	5日	1日	6日	1日	1日	5日	1日	1日	5日
議 案	町長提出	4件	6件	2件	27件	2件	1件	17件	2件	1件
	委員会提出	0件	4件	0件	1件	0件	0件	2件	0件	1件
	議員提出	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
一般質問	-	10人	-	8人	-	-	11人	-	-	7人
	-	18問	-	14問	-	-	20問	-	-	14問
傍聴者数	1人	14人	2人	10人	2人	0人	32人	1人	1人	17人

(2) 委員会、全員協議会の開催状況

区 分	全員 協議会	議会運営 委員会	広報広聴 常任委員会	総務教育 常任委員会	民生経済 常任委員会	予算決算 常任委員会
会議日数	15日	19日	26日	6日	6日	3日

区 分	特別委員会		
	道の駅整備	定数及び報酬等	ふるさと館再整備
会議日数	4日	12日	4日

(3) 請願・陳情状況

区 分	受理件数	審査件数	その他
請 願	2件	2件	0件
陳 情	8件	8件	0件

(4) 意見書提出状況
提出件数 7件

(5) 調査研究活動及び議員研修旅費 1,609千円

【議員先進地視察調査研究】

○議会運営委員会：7/18～20

一歩進んだ議会改革及び議会のICT化について

- ・茨城県取手市議会
- ・栃木県那須町議会
- ・福島県喜多方市議会



視察先での聞き取り調査

【他団体との意見交換会】

- ・民生経済常任委員会と農政委員会との意見交換会
(北栄町農業施策に関する意見書について)

【議員研修】

- ・北栄町議会議員研修（議場）【議員 8/2(13人)、8/3(14人)】
議員定数と報酬を考える
—「住民自治の根幹」としての議会を作動させるために—
- ・町村議会議長・副議長研修会（東京都）【議長・副議長】
- ・鳥取県町村議会女性議員研修会（湯梨浜町）【議員1人】
- ・鳥取県町村議会広報研修会（三朝町）【広報委員3人】
- ・町村議会広報クリニック（東京都）【広報委員6人】
- ・町村議会議長全国大会（東京都）【議長】
- ・中部町村議会議員研修（湯梨浜町）【全議員】
- ・鳥取県町村議会議員研修会（三朝町）【全議員】
- ・市町村議会議員研修（滋賀県大津市）【議員7人】



北栄町議会議員研修
（講師：大正大学教授 江藤俊昭 氏）

（6）議会報告会等の開催状況

議会出前座談会1回（比山）

議員と話そう！「議員定数と報酬を考える」5回
（北栄町中央公民館ほか）

（7）議長交際費

176千円

議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に
要した経費

慶弔費等 20件



議会出前座談会

（8）議会だより発行事業

1,342千円

発行回数 年4回 発行部数 5,400部

（9）高校生議会

鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会

13人の高校生が参加し、一般質問(15問)を実施

高校生議長（1人）・高校生議員（12人）



議長からアドバイスを受ける高校生議長



県町村議会広報コンクールで
優秀賞を受賞した「議会だより」66号

【成果】

先進地への調査研究や議員研修に参加することで自己研さんと資質の向上を図り、適正で効率的な町政運営の確保に務めることができた。

「議会報告会」や「議員と話そう！」を実施し、町民との意見交換の場を設けたほか、議員定数と報酬についてのアンケートを実施し、町民の声を聞くことができた。

議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行うことができた。

高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうことができた。

②事務局経費事業

4,940千円

- ・会議録調製並びに検索システム委託

4,291千円

定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。

（議長交際費の公開、会議結果の公表等）

③議会関係負担金事業

1,884千円

- ・県議長会負担金

1,749千円

- ・中部議長会負担金

135千円

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 監査委員費	1,274千円	1,262千円

①監査委員事業 1,262千円

- (1) 監査委員 2人
- ・ 識見監査委員（代表監査委員）
 - ・ 議会選出監査委員



定期監査報告

(2) 活動状況

○検査

- ・ 例月出納検査 12回（毎月1回）
- ・ 現金及び現金等価物実査（年1回）

○監査

- ・ 定期監査（年2回）
- 5月
 - ・ 指定管理者監査 について
 - ・ 遊具安全点検



指定管理者監査（北栄スポーツクラブほか）

11月

- ・ 町有財産取得、処分、貸付状況について
- ・ 備品管理状況について
- ・ 防災倉庫の現地調査について



防災倉庫の現地調査

○審査

- ・ 決算審査（11会計）
- ・ 基金の運用状況審査（17件）
- ・ 普通会計の財政健全化審査（8件）
- ・ 公営企業会計の経営健全化審査（3件）

○各種研修会

- ・ 鳥取県町村監査委員研修会：2回（湯梨浜町）
- ・ 中部町村監査委員協議会研修会：1回（北栄町）
- ・ 町村監査委員全国研修会（東京都 渋谷公会堂）
- ・ 市町村議会議員研修「自治体の内部統制と監査機能」：1名参加（滋賀県大津市）

【成果】 年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営の確保を行うことができた。定期監査では備品管理状況を監査し、新しい視点での内容を取り入れた。その他計画的に監査を実施し監査結果は講評や町長報告によりフィードバックしたほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,363,686千円	1,339,651千円

①一般管理事業 113,195 千円

- 職員研修関係 3,679 千円
団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独で財政研修等を実施した。
(研修参加の状況)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
中央研修	3人	1人	8人
県自治研修	43人	34人	80人
町単独研修	272人	839人	778人

- 町長交際費 1,084 千円
(交際費の支出件数)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
支出件数	28件	59件	84件

- 電話、郵便代等通信運搬費 16,649 千円
- 職員健康診断経費（ドック含む） 4,086 千円
- 公共施設産業廃棄物収集委託料 3,079 千円

【成果】 職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。コロナ感染症の5類移行により、役場外の研修参加が増えた。

②電算処理委託事業 82,495 千円

公会計、住基、税務、給与、農業行政、保育料、選挙、町営住宅などの業務処理に係る経費を支出。
基幹システム運用委託：（株）鳥取県情報センター

【成果】 各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。

③一般管理関係負担金事業 2,738 千円

- 県、中部町村会負担金 2,715 千円
- 行政不服審査会共同設置負担金 21 千円

【成果】 各種団体等への負担を行い、事務運営等の効率化を図った。

④事務用品一括購入事業 2,452 千円

- 事務用品等消耗品費 2,452 千円

【成果】 事務用品等の一括購入により、各部署での購入事務・経費を節減した。

⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業 25,470 千円

- 管理費（一般管理費、議会費、監査委員費等） 21,940 千円
- 休日急患診療所及び病院輪番制病院運営費 3,530 千円

【成果】 休日急患診療所等の運営に対して負担することにより、運営体制を維持した。

⑥行政改革事業 24,777 千円

- 北条支所窓口、庶務業務委託料 24,752 千円

【成果】 民間で可能なことは民間に委託し、定型業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 会計管理費	555千円	416千円

①会計管理事業 416 千円
銀行オンラインシステム回線使用料、事務用品の購入に要した経費

【成果】 銀行オンラインシステムを利用した公金の口座振込等により、迅速確実に公金支払を行うことができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	351,112千円	228,209千円

①町有財産管理事業 11,184 千円
・町有建物災害共済保険料 6,669 千円
・町有施設電気設備保安委託料 4,339 千円

②大栄庁舎管理事業 22,120 千円
大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。
・光熱水費 10,143 千円（大栄改善センターの電気料金含む）
・修繕費（施設修繕） 785 千円
・委託料（清掃、冷暖房機保守、植木管理など） 7,608 千円
・備品購入費（事務イスなど） 783 千円

【成果】 不良箇所の修繕や維持管理を行い、安定した行政サービス提供を行うことができた。

③公用車管理事業 7,336 千円
・公用車燃料費 1,178 千円
・自動車損害共済保険料 1,329 千円
・公用車購入費 2,476 千円（電気自動車）
（大栄庁舎集中管理車両）

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
普通乗用自動車	3台	3台	3台
軽自動車	13台	12台	11台

【成果】 各課が共有して利用する公用車の管理を行い、移動手段を確保できた。

④防災無線維持管理事業 11,241 千円
・防災無線保守点検業務委託料 2,640 千円
・備品購入費（個別受信機130台） 4,719 千円
（戸別受信機の設置状況）

区 分	R3年度末	R4年度末	R5年度末
一般家庭	4,996台	5,032台	5,056台
企業等	61台	61台	58台
自治会・公共施設	136台	136台	136台

【成果】 防災行政無線設備を維持管理することにより、情報伝達手段の確保を図った。

⑤天神いこいの広場管理事業 531 千円
・光熱水費 92 千円
・維持管理委託料 406 千円（植木、トイレ）

【成果】 適切に広場の維持管理を行い、町民憩いの場として活用できた。

⑥天神桜づつみ管理事業 404 千円

- ・維持管理委託料 339 千円（植木）

【成果】 桜づつみ（2か所）の維持管理を行い、町民憩いの場として活用できた。

⑦北条多目的広場管理事業 1,420 千円

- ・光熱水費 61 千円
- ・施設管理委託料 688 千円（芝生、植木、トイレ）
- ・広場トイレ洋式化工事 229 千円

【成果】 芝生広場として地域に定着しつつあり、グラウンドゴルフ利用など定期的に利用する住民の姿を見られるようになった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 北条庁舎管理費	8,557千円	7,335千円

①北条庁舎管理事業 7,335 千円

- ・光熱水費 5,613 千円
- ・施設管理委託料（警備、清掃、消防設備等） 1,412 千円
（鳥取中部ふるさと広域連合からの事務所経費負担の状況）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
金 額	4,210千円	5,122千円	5,223千円

【成果】 施設の維持管理を行い、支障なく鳥取中部ふるさと広域連合の事務所等に活用できた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 北条支所管理費	8,024千円	7,591千円

①北条支所管理事業 5,461 千円

北条支所の総合窓口業務と北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- ・光熱水費 1,455 千円
- ・修繕費（建物・設備） 563 千円（キュービクル修繕等）
- ・施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等） 577 千円
（窓口取扱件数の状況）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
窓口取扱数	21,328件	19,148件	19,776件
うち現金取扱数	5,677件	4,613件	5,540件

（北条健康福祉センターの利用状況）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
回 数	117回	197回	218回
利用者	1,764人	3,055人	4,745人

【成果】 施設の維持管理を行い、安定した行政サービスの提供ができた。

②北条地区振興事業 830 千円

あつまらいや北条を中心に住民有志が集い、北条地区振興の活動を実施した。

- ・印刷製本費（広報紙・ポスター） 260 千円
- ・北条地区振興活動補助金 500 千円

【成果】 北条ふるさとまつりを始め、様々な事業により、北条地区に住民交流の場を提供した。



賑わった第6回北条ふるさとまつり

③公用車管理事業 1,300 千円

(北条庁舎集中管理車両等)

区分	R3年度	R4年度	R5年度
軽自動車	1台	1台	1台
マイクロバス	2台	2台	2台
バス団体等利用件数	281件	410件	672件

【成果】 バス等の適正管理により、多くの自治会・団体の行事等に利用いただいた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 北条改善センター費	3,741千円	3,687千円

①北条改善センター管理事業 3,687 千円

- ・光熱水費 2,619 千円
うち電気代高騰にかかる支出 1,339千円
(財源) 新型コロナ臨時交付金(価格高騰支援分) 1,339千円
- ・施設修繕費(消防設備修繕等) 111 千円
- ・施設管理委託料(警備、消防設備、清掃等) 776 千円
(センターの利用状況)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
回 数	141回	196回	183回
利用者	12,258人	17,549人	9,143人

【成果】 適切な維持管理により、多くの方に安全に施設を使っていた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 大栄改善センター費	2,593千円	2,294千円

①大栄改善センター管理事業 2,294 千円

- ・光熱水費(ガス、上下水道) 905 千円
- ・修繕費(水漏れ、排水管修繕など) 608 千円
(センターの利用状況)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
回 数	1,441回	1,244回	952回
利用者	13,205人	16,267人	14,554人

【成果】 適切な維持管理により、多くの方に安全に施設を使っていた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	111,866千円	56,993千円

①コミュニティ助成事業 6,400 千円

一般財団法人自治総合センターが実施する事業を活用し、自治会の設備等を整備した。
(補助金活用の状況)

R3年度	R4年度	R5年度
弓原浜、みどり南、 上種、高千穂	さつきヶ丘団地 東園、東亀谷、妻波	由良宿6区、米里、 駅前

【成果】 助成制度の活用により、自治会活動に必要な設備を購入することができ、自治会の財政的な負担軽減となった。

※写真は整備した設備の一部



椅子の導入(米里)



ストーブの導入(駅前)



除雪機の導入(由良宿6区)

②自治体DX推進事業 2,230 千円

副町長を最高情報責任者（CIO）とし、民間のデジタル専門人材をCIO補佐官とする体制で、北栄町DX推進計画に基づき、DXを推進した。

・デジタル人材（CIO補佐官）支援業務委託料 2,230 千円

【成果】 情報配信アプリなどの研究を行い、令和6年度予算で実施することとした。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 自治会活動促進費	15,125千円	15,039千円

①自治会総合交付金事業 14,228 千円

（1）自治会運営交付金 12,298 千円

自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。

（2）防犯灯維持管理交付金 906 千円

61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。

（3）再生可能エネルギー交付金 1,024 千円

全自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。

②自治会集会施設整備費補助金事業 811 千円

・自治会が行った集会施設のバリアフリー化等整備に対し助成を行った。

（自治会補助の状況）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
自治会数	4自治会	1自治会	8自治会

【成果】 町と地域（自治会）との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 交通安全対策費	4,959千円	4,679千円

①交通安全対策事業 2,351 千円

交通指導員を配置し、交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。

・交通安全指導員出動手当 792 千円

（交通指導員等の状況）

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
交通指導員数（定員22名）		19人	20人	20人
活動 延人数	研修長時間指導	11人	12人	10人
	啓発パトロール等	349人	252人	223人

（本町で発生した交通死亡事故等の状況）・・・県警資料

年		R3年	R4年	R5年
交通事故死亡者数		1人	1人	1人
人身事故件数		24件	28件	25件

【成果】 全国交通安全運動期間の取組を中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施し、交通安全意識の向上を図った。

②交通安全施設整備事業 2,090 千円

カーブミラーの修繕、整備を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
カーブミラー修繕	39基	22基	30基
カーブミラー設置	2基	1基	2基

【成果】 カーブミラーの新設・修繕により、町内の交通安全に寄与した。

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 237 千円

- ・倉吉地区交通安全指導員連絡協議会負担金 22 千円
- ・交通安全協会倉吉地区協会負担金 6 千円
- ・ルートナイン交通安全対策協議会負担金 20 千円
- ・交通安全協会北栄支部活動費補助金 189 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	68,763千円	66,235千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業 66,235 千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

- ・光ファイバー施設修繕費 1,177 千円
- ・光ファイバーネットワーク施設保守 43,792 千円
- ・電柱共架料、自営柱用地借上料 6,852 千円
- ・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 7,998 千円
- ・備品購入費 (ONU 90台) 6,336 千円

【成果】 光ファイバーネットワーク施設を適切に維持管理することにより、安定した各種サービス提供を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 情報処理費	63,021千円	27,202千円

①情報処理事業 27,202 千円

機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。

- ・行政情報システム保守委託 15,192 千円
- ・パソコン等備品購入費 3,330 千円 (パソコン26台)
- ・自治体ICT共同化推進等県負担金 2,600 千円

【成果】 庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	14 防犯対策費	6,568千円	6,131千円

①防犯対策事業 6,131 千円 ※風のまちづくり事業充当 587千円

- ・町設置防犯灯、カメラ電気料金 1,401 千円
- ・LED化対策工事請負費 4,140 千円

- ・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 587 千円
(防犯灯整備等の状況)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
公設防犯灯整備	35灯	18灯	23灯
自治会整備補助	9自治会	11自治会	11自治会

【成果】 防犯灯の整備により、町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	15 諸費	774千円	326千円

①諸費事業 309 千円

- ・倉吉地区防犯協議会負担金 249 千円
・安全運転運行管理者協議会負担金 30 千円

②自衛隊募集事業 17 千円

自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動を実施した。

(新入隊の状況)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
北栄町内	4人	1人	1人

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 選挙管理委員会費	214千円	164千円

①選挙管理委員会事業 164 千円

選挙管理委員会の開催 4 回開催

- ・委員会の主な内容
各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定
住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 選挙啓発費	76千円	28千円

①選挙啓発事業 28 千円 (県明るい選挙推進負担金含む)

実施事業等

北栄町明るい選挙推進協議会の開催 令和6年2月14日開催
主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の実施 令和6年3月8日開催
明るい選挙啓発ポスター募集事業 令和5年5月～9月募集
鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金 4 千円

【成果】 町内の学校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座)を実施し、明るい選挙の推進を行った。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 鳥取県知事・議会議員選挙費	6,402千円	6,394千円

①鳥取県知事・議会議員選挙事業 6,394 千円

告示日 令和5年3月23日・31日

投票日 令和5年4月9日

投票率 知事選挙投票率 58.67%

県議会選挙投票率 58.36%

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 常備消防費	221,978千円	216,960千円

①鳥取中部ふるさと広域連合負担金（消防）事業 216,960 千円

常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。

(火災発生件数等)

区 分		R3年度	R4年度	R5年度
火災発生	北栄町内	6件	7件	8件
	広域連合内	35件	38件	30件
救急出動	北栄町内	533件	659件	680件
	広域連合内	4,677件	5,350件	5,423件

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 非常備消防費	17,932千円	16,880千円

①消防団活動事業 13,474 千円

町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。

(町消防団の状況)

(人数は年度末)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団
実数／定員	92人／110人	93人／110人	89人／110人
うち女性団員数	8人	8人	9人

(町消防団の出動等の状況)

区 分		R3年度		R4年度		R5年度	
		件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
出 動	火 災	6件	96人	3件	128人	2件	44人
	非火災	0件	0人	1件	37人	1件	18人
	捜 索	0件	0人	0件	0人	0件	0人
	警 戒	1件	78人	0件	0人	2件	35人
操法水防訓練等		15件	223人	26件	273人	52件	699人
会議・研修等		14件	50人	22件	55人	38件	170人
火災予防広報等		47件	388人	54件	436人	60件	532人

(消防ポンプ操法大会の状況)

大会名等		R3年度	R4年度	R5年度	
町操法大会	優勝	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止	4分団	
	2位			3分団	
	3位			5分団	
郡操法大会	出場			4分団	3分団
	順位			5位	8位
県操法大会	出場			出場なし	
	順位				

第25回全国女性消防操
法大会に鳥取県代表と
して出場

10月21日
東京臨海広域防災公園



出場順を待つ選手たち



2番員がホースを展開し結合

【成果】 火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練活動や、女性消防団員などによる防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

②消防関係負担事業 3,406 千円

- ・県、郡消防協会負担金 271 千円
- ・鳥取県町村消防災害補償組合負担金 421 千円
- ・消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112 千円
- ・消防賞じゅつ金負担金 196 千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 消防施設費	7,955千円	5,618千円

①消防施設設置事業 5,618 千円

- ・消火栓工事負担金（水道会計へ） 1,758 千円
 - ・消火栓維持管理負担金（ 〃 ） 600 千円
- （消火栓修繕等の状況）

区分	R3年度	R4年度	R5年度
消火栓修繕	8か所	8か所	2か所
消火栓新設	-	-	-
防火水槽	修繕1、撤去1、標識更新4	-	標識更新5

【成果】 消火栓等の維持管理を行い、火災予防・消防団活動の安全確保を行った。

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 災害対策費	25,514千円	23,821千円

①災害対策事業 6,215 千円

- ・備蓄品購入費 814 千円（毛布、ベッド、テント）
 - ・災害対策費用保険掛金 858 千円
 - ・ハザードマップ増刷 495 千円
- （防災訓練等の状況）

区分		R3年度	R4年度	R5年度
防災会議	開催日	R4.3.18	R5.3.15	R6.3.22
	内 容	計画の見直し等	計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日		R4.9.4	R5.9.3
	主会場	中止	大栄改善センター	北条改善センター
	想 定		水害/コロナ対策	水害
防災士資格 取得(累計)	町職員	2人	1人	2人（累計19人）
	一 般	6人	11人	4人（累計41人）
他市町村災害への 職員応援派遣		派遣なし	派遣なし	能登半島地震6人

(町の警戒等体制の配備状況) ※大雨等=大雨警報、洪水警報 大雪等=大雪警報、暴風雪警報

区分	R3年度	R4年度	R5年度
警戒体制配備	大雨等2、大雪等3、暴風2	暴風2、大雪2	大雨等2、大雪1
非常体制配備	大雨等1	-	-
避難所開設	大雨等2	-	-
避難指示	大雨等1 (7/7)	-	-

【成果】 警報発令ごとに警戒体制等を配備し対応した。

②防災用備品購入補助金事業 2,000 千円

・コミュニティ助成事業（地域防災組織育成）助成金 2,000 千円
 曲自治会 ポンプ等購入

③自主防災組織育成事業 4,402 千円

自主防災組織、自衛消防団の運営や訓練、資機材購入に対して、交付金等を支給した。
 （自主防災組織等の状況）

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
自主防災組織数	48組織	48組織	48組織
自衛消防団（隊）数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
資機材整備組織数	33組織	44組織	34組織
訓練活動実施組織数	28組織	32組織	38組織

④空家等対策事業 4,512 千円

・助言等の実施件数 助言指導 6件、勧告 0件、命令 0件
 （空家除却費助成等の状況）

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
老朽危険空家 件数	6件	4件	4件
除却費助成 金額	9,189千円	6,539千円	4,396千円
空家把握数（年度末）	283件	279件	276件

【成果】 危険空家の除却を促し、地域住民の安心・安全に寄与した。

⑤自治会除雪活動支援事業 1,596 千円

（除雪等補助の状況）・・・1/2補助

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
除雪費用	1,675千円／32自治会	1,283千円／35自治会	846千円／34自治会
除雪機購入	-	250千円／1自治会	750千円／3自治会

⑥被災者住宅再建支援基金積立事業 1,271 千円

指定自然災害における被害世帯へ給付金を支給するための基金拠出（H30年～10年間）
 ・被災者住宅再建支援負担金 1,271 千円

⑦災害対応人件費事業 599 千円

・警戒体制配備による職員給与費 599 千円

⑧防災拠点等設置等事業 3,225 千円

B&G財団が実施する「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業」の最終年度。3年目の令和5年度は、導入した機械等の操作研修を中心に事業を実施した。

・B&G財団指定 広域研修（東京等）旅費 479 千円
 ・防災備蓄品購入（毛布、ベッド、テントなど） 833 千円
 ・小型車両系建設機運転等業務の教育負担金 1,479 千円

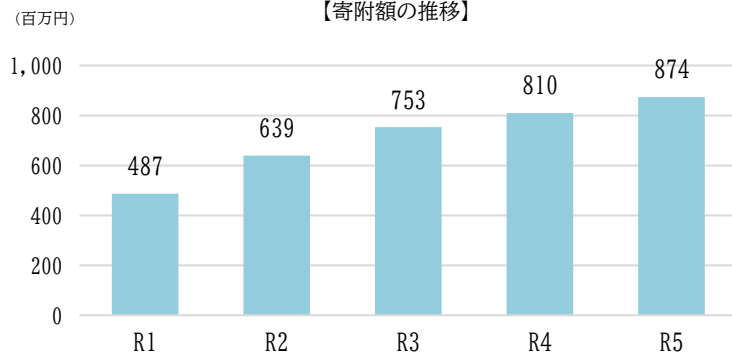
【成果】 事業の活用により、町職員等で使用・操作できる機器・設備が充実した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,363,686千円	1,339,651千円

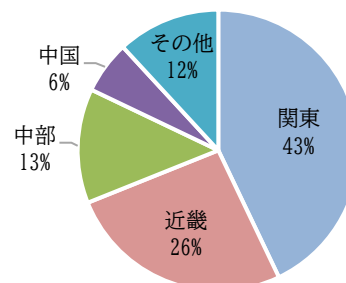
①ふるさと北栄基金事業 841,298千円

ふるさと納税制度を活用して受け入れた寄附金を財源として、返礼品などに係る経費のほか、基金へ積立を行った。

【寄附額の推移】



【寄附者の地域別構成】



【成果】 町の貴重な財源を確保することができた。

②統一的な基準による地方公会計整備事業 451千円

財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）を作成した。

【成果】 町の財政構造の特徴や課題を客観的に分析し、世代間の公平性や住民一人当たりの行政コストなどの詳細な財務情報を公開することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 広報費	5,337千円	5,170千円

①広報事業 5,170千円

・町報印刷 3,557千円

「広報 北栄」発行

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
ページ数（延べ）	248ページ	252ページ	196ページ
発行部数（部/月）	5,600	5,600	5,600

・ホームページ保守業務 772千円

・外部広報誌仕分け作業委託料 128千円

【成果】 町報やSNSなど多様な情報媒体を活用し、町政の動きや町内の様々な情報をわかりやすく発信することができた。SNS運用については、定期的な分析と効果的な発信について研究が必要である。



広報北栄 2024年1月号

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	351,112千円	228,209千円

①財政調整基金積立金事業 405千円

財政運営の安定のため、町の「貯金」にあたる財政調整基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R3年度	R4年度	R5年度
基金残高	1,756,617	2,243,386	2,080,139

②減債基金積立金事業 100,004千円

将来の公債償負担の財源とするため減債基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R3年度	R4年度	R5年度
基金残高	104,680	104,684	204,688

③普通財産管理事業 22,427千円

町有地の維持管理、町有地売却業務の民間委託、町有地の貸付、不要財産の売却を行った。

(単位：千円)

区分	R3年度	R4年度	R5年度
町有地貸付収入	4,531	4,148	4,015
財産売却収入	8,937	167,079	1,550

- ・町有地管理委託料 631 千円
- ・三陽合織跡地土壤汚染状況調査委託料 20,956 千円
- ・旧町民スポーツ広場駐車場階段下舗装修繕工事 638 千円

【成果】 町有財産を適切に維持管理することができた。

また、未利用町有地の貸付と不要財産の売却により、自主財源を確保した。

長年の懸案であった三陽合織跡地について、(株)エナテクスサービスへ売却し、今後の有効活用につなげることができた。

④出合いの広場管理事業 1,130 千円

出合いの広場を維持管理した。

- ・光熱水費 453 千円
- ・修繕費(建物・設備) 66 千円
- ・トイレ清掃委託料 610 千円

⑤風のまちづくり基金積立金事業 50,000千円

北条風力発電所の収益の一部を環境施策や子どもの育成支援に活用するため、基金に積立てた。

《活用した取組》

- ・創エネ設備等設置に対する補助金、省エネ住宅リフォーム補助金、省エネルギーの普及啓発、再生資源の収集、再生可能エネルギー等導入事業、北栄砂丘まつり交付金、防犯灯のLED化対策、こども園の運営、小中学校の教材購入ほか

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	111,866千円	56,993千円

①企画事業 2,042千円

- ・倉吉未来中心管理運営負担金 1,353 千円
- ・まちづくりビジョン検討委員会開催 1回
- ・地方創生推進会議開催 2回
- ・男女共同参画審議会開催 1回



高校生、大学生も委員として活発に議論(まちづくりビジョン検討委員会)

【成果】 まちづくりビジョンや総合戦略、男女共同参画推進計画の点検を通じて、町の取組の方向性の確認や事業成果の振り返りができた。

②女性団体連絡協議会補助金事業 95千円

町内10団体で組織する女性団体連絡協議会の活動を支援した。

- ・女性団体連絡協議会補助金 95 千円
- 女性と町長と語る会
- 男女共同参画フォーラム
(人権フェスティバルと共同開催)



女性と町長と語る会

【成果】 団体の活動を通じて町民の連携やネットワークづくりにつながった。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業 305千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、活動に必要な交付金を交付した。

	R3年度	R4年度	R5年度
交付団体数	2団体	4団体	2団体

団体名	事業名・内容
つながるがっこう実行委員会	つながるがっこう(子ども公民館まつり出店、人形劇)
東亀谷振興会	東亀谷振興会事業(子ども交流・環境保全・高齢者支援)

【成果】 意欲ある団体の自主的な活動を支援し、地域の賑わいやまちづくりに参加する若者層の増加につなげた。



つながるがっこう:子ども公民館まつり



東亀谷振興会:子ども交流事業(花火大会)

④交通対策事業 18,043千円

輸送人員の減少による利用者の減少で維持が困難なバス路線に対し、路線維持に必要な経費を補助した。

・路線維持費補助金

(単位：千円)

事業者	路 線	R3年度	R4年度	R5年度
日交	北条線（西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅）	5,045	5,124	6,109
日ノ丸	赤碕線（倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅）	5,932	6,110	6,278
	栄線（倉吉駅～西亀谷）	690	702	636
合 計		11,667	11,936	13,023

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数（延べ）	250人	302人	237人
補助金額	525千円	640千円	522千円

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数（延べ）	416人	1,483人	2,544人
補助金額	740千円	549千円	0円

※利用者の増加により利用料が事業費を上回ったため補助なし

・共助交通運行支援事業補助金 230 千円

【成果】 地域住民の生活交通路線及び観光客の移動手段の確保するために、バス路線、乗りあいタクシーの運行を維持することができた。また、地域の共助交通に関心のある人たちによって設立された「乗りのりクラブ」が取組を開始しました。

⑤しあわせ♡創生事業 1,728千円

若い男女が安心して結婚できるような環境づくり、新婚生活を応援する取組を行った。

えんトリ共催イベント（鳥取中部ふるさと広域連合へ委託）

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
（出合いの）イベント開催	4回	5回	6回
イベント参加者	99人	125人	160人
カップル成立数	11組	25組	17組
（うち町民を含む組数）	（2組）	（8組）	（4組）

結婚新生活支援事業補助金

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
補助金額	300千円	1,200千円	1,500千円
件 数	1件	4件	4件

えんトリ登録料支援

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
新規加入	6人	5人	3人
更 新	3人	1人	0人

【成果】 参加しやすい工夫をしながら結婚に向けた出合いの場を提供し、その後成婚に至るケースも生まれた。



⑥鳥取中央育英高校魅力化事業 817千円

鳥取中央育英高校の入学人数増に向けた取組を行った。

- ・高校魅力化専門員の配置（7/18～） 317 千円
 - ・高校魅力化活動支援事業補助金 500 千円
- 高校魅力化プロジェクトに取り組む「エイ！ホクエイ」の活動を支援した。

- 2月11日 HOKUEI FLOWER VALENTINE
- 3月23日 DJ.HAGGYトークイベント
- 3月31日 由良川桜まつり（さくらマルシェ）

【成果】 令和6年度入学人数が定員120人の3分の2を超え（82人）、定員数の減少を止めることができ、県教育委員会が示している学級減を回避することができた。

また、地域活性化起業人と地域事業者の連携による高校魅力化プロジェクトに取り組む団体（エイ！ホクエイ）が立ち上がった。



高校と小学生クラブチームによる合同練習会（9月30日）

EI!HOKUEI



由良川桜祭りに参加し、若者に表現と学びの場を提供

⑦地域力創造事業 9,144千円

地域活性化起業人の知見やネットワークと地域おこし協力隊を活用し、ふるさと納税寄附額の増加や北栄町の魅力発信を行った。

- ・地域活性化起業人派遣負担金 5,592千円
- ・地域おこし協力隊活動支援業務委託料 2,255千円

- 11月29日 地域活性化起業人講演会 参加者 35人
- 活動報告や今後の展望について講演し、「EI!HOKUEI」の本格的な活動開始のきっかけとなった。

【成果】 事業者を戸別訪問し、新規返礼品の開拓・既存返礼品のブラッシュアップ（約100点）を図り、寄附額の増加となった。事業者の中には作付面積を拡大する者もあり、収益増加につなげることができた。



地域活性化起業人講演会

⑧関係人口創出事業 6,600千円

- ・C10補佐官報酬 1,600千円 ※企業版ふるさと納税人材派遣型
- ・関係人口創出・モデル展開業務委託料 5,000千円 ※令和5年繰越明許費

「関係人口創出モデル展開事業」の一環として、ワーケーションモニターツアーを実施した。（県外ITエンジニア2人）

【スケジュール】

7/19～20 町内事業者視察及び作業体験

7/20～21 関係人口創出アイデアソン・企画発表

【事業総括・調整】 西尾C10補佐官（人材派遣型による受け入れ）



ワークショップモニターツアー



企画発表会

【成果】 北栄町で第1号となる企業版ふるさと納税（人材派遣型）を活用した事業で、今後の取組のモデルとすることができた。

款	2 総務費	項	5 統計調査費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 統計費	534千円	353千円

①統計調査事業 353千円

主な調査 人口移動調査、学校基本調査、住宅土地統計調査、漁業センサス

【成果】 各施策の基礎資料など、広く利用に供される基礎データの取得につながった。

款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 元金	806,975千円	806,945千円

①町債償還元金事業 687,808千円

②繰上償還事業 119,137千円

後年度における公債費の平準化と起債残高の縮小のため一部繰上償還を行った。

【成果】 将来負担の減少のほか、利息相当額を4百万円程度縮小することができた。

款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 利子	25,750千円	25,750千円

①町債償還利子事業 25,750千円

	R3年度	R4年度	R5年度
起債残高	7,463,965千円	7,327,413千円	7,225,868千円

款	11 災害復旧費	項	4 その他公共施設災害復旧費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 総務施設災害復旧費	2,266千円	2,266千円

①普通財産災害復旧事業 2,266千円

7月13日豪雨により崩壊した町有地（由良宿660-5）の法面復旧工事を実施した。

【成果】 崩壊の拡大を防ぐとともに、安全に土地が利用できるようになった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	111,866千円	56,993千円

①消費者行政推進事業 1,422千円
 中部ふるさと広域連合負担金 1,226千円
 啓発物資等消耗品費 196千円

消費生活相談窓口（町民課内）及び中部消費生活センター（専門相談員設置）にて消費者相談の受付・対応を行った。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
相談受付件数	78件	76件	36件

町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。

- ・出前講座（シニアクラブ、いきいきサロン） 1回
- ・小学生金銭講座 1回
- ・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動 3回
- ・高齢者等への「自動通話録音装置」の貸出 29台（貸出）/40台（保有）※年度末現在

【成果】 専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。地域住民への各種啓発活動（消費者講座等）により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 税務総務費	89,123千円	87,330千円

①税務総務事業 6,512千円
 コンビニ収納手数料 880千円
 土地管理システム使用料 2,028千円 など

【成果】 経常的な税務事務を実施し、課税や徴収環境の安定を図ることができた。

②税務総務関係負担金事業 2,219千円
 軽自動車関係負担金 942千円
 地方税共同機構負担金 1,221千円 など

【成果】 関係団体からの必要な税務情報の入手等、適正課税につながった。

③中部ふるさと広域連合負担金事業 4,844千円

（単位：千円）

滞納徴収分	R3年度	R4年度	R5年度	
広域連合負担金	8,058	8,169	7,898	※国保会計分を含む。
広域連合徴収額	3,877	5,259	4,037	※延滞金含む

（単位：千円）

年度	徴収状況				処理状況				
	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率
		本税 (B)	延滞金			完結	執行停止	取消	
R3	7,658	3,435	442	44.9%	57	31	0	0	54.4%
R4	7,469	4,297	962	57.5%	52	34	5	1	76.9%
R5	2,871	2,648	1,390	92.2%	24	18	2	0	83.3%

【成果】 新型コロナ5類移行により臨戸や搜索の制限がなくなり、累積滞納案件が着実に減少している。

款	2 総務費	項	2 徴税費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 賦課徴収費	5,937千円	4,192千円

①賦課徴収事務事業 4,192千円

納付書等印刷費 909千円

過誤納還付金 3,022千円 など

【成果】 きめ細やかな催告や調査を実施し、高い徴収率を維持することができた。

・徴収率の状況

(単位：千円・%)

区 分	徴収率 $b/(a-c)$			R5年度の収納状況		
	R3年度	R4年度	R5年度	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税（個人＋法人）	99.6	99.9	99.8	609,450	607,969	2
現年課税分	99.8	99.9	99.8	608,804	607,538	0
滞納繰越分	64.9	89.9	67.0	647	431	2
固定資産税	99.4	99.1	99.8	682,891	680,341	1,084
現年課税分	99.8	99.4	99.9	679,120	678,022	152
滞納繰越分	86.0	33.6	86.2	3,771	2,319	932
軽自動車税	99.8	100.0	100.0	73,373	73,346	18
現年課税分	99.9	100.0	100.0	73,342	73,333	0
滞納繰越分	64.9	75.3	100.0	30	13	18
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	101,192	101,192	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	101,192	101,192	0
小 計（税合計）	99.6	99.5	99.8	1,466,906	1,462,848	1,104
現年課税分	99.8	99.7	99.8	1,462,458	1,460,085	152
滞納繰越分	82.8	55.2	83.5	4,448	2,763	952
国民健康保険税	98.5	99.6	99.4	392,262	390,002	0
現年課税分	99.3	99.8	99.5	390,755	388,918	0
滞納繰越分	55.2	86.3	72.0	1,507	1,084	0
介護保険料	99.8	99.9	99.9	364,925	364,697	1
現年課税分	99.9	99.9	99.9	364,742	364,515	0
滞納繰越分	80.3	99.9	100.0	183	182	1
後期高齢者医療保険料	99.6	100.0	99.6	165,768	165,116	1
現年課税分	99.6	100.0	99.6	165,749	165,098	0
滞納繰越分	88.9	99.7	100.0	19	18	1
小 計（保険合計）	99.2	99.8	99.7	922,954	919,815	2
現年課税分	99.6	99.9	99.7	921,246	918,531	0
滞納繰越分	60.0	88.5	75.3	1,709	1,284	2
合 計	99.4	99.6	99.7	2,389,861	2,382,662	1,106
現年課税分	99.7	99.8	99.8	2,383,704	2,378,616	152
滞納繰越分	76.1	73.3	81.2	6,157	4,047	954

※千円単位で四捨五入しているため、項目ごとの押上計算と、小計・合計は一致しません。

・税等の収納比率（上段：R3年度、中段：R4年度、下段：R5年度）

※R3、R4の共通納税は窓口を含む

区 分	口座振替	コンビニ 電子マネー	共通納税 システム	町差押え	広域連合	特別徴収 (年金・給特)	窓口	合計
町・県民税	16.0%	4.4%		0.1%	0.1%	74.0%	5.4%	100%
	14.9%	4.7%		0.1%	0.1%	75.0%	5.3%	100%
	15.5%	4.5%	3.4%	0.1%	0.0%	75.2%	1.2%	100%
固定資産税	50.7%	9.4%		0.2%	0.1%		39.6%	100%
	50.2%	11.4%		0.3%	0.0%		38.1%	100%
	50.3%	10.5%	31.6%	0.4%	0.2%		7.2%	100%
軽自動車税	47.1%	32.6%		0.1%	0.0%		20.2%	100%
	42.4%	31.2%		0.1%	0.2%		26.0%	100%
	44.9%	32.5%	12.2%	0.3%	0.1%		10.1%	100%
国民健康保険税	62.7%	9.5%		0.1%	0.4%	13.7%	13.6%	100%
	64.9%	10.8%		0.2%	0.7%	13.7%	9.8%	100%
	64.7%	11.8%	6.5%	0.1%	0.2%	13.0%	3.6%	100%
介護保険料	1.6%	2.1%		0.0%		92.7%	3.6%	100%
	2.5%	2.0%		0.1%		92.7%	2.8%	100%
	2.9%	2.0%		0.0%		93.0%	2.1%	100%
後期高齢者医療保険料	14.8%	2.1%		0.1%		75.5%	7.5%	100%
	16.6%	3.8%		0.1%		69.8%	9.6%	100%
	18.0%	2.7%		0.0%		69.2%	10.0%	100%

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	70,171千円	58,081千円

①戸籍及び住民登録事務事業 540千円

・住民基本台帳事務関係

令和6年3月末の住民基本台帳人口は14,246人、世帯数は5,490世帯で、令和5年3月末と比較して人口は205人減少し、世帯は3世帯の減少であった。

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数（年齢階層別人口）

(単位：人)

年 齢	区分	R3年度	R4年度	R5年度	対前年比
年少人口 (0～14歳)	男	953	946	932	△ 14
	女	873	871	844	△ 27
	計	1,826	1,817	1,776	△ 41
	構成比率	12.50%	12.57%	12.47%	△0.10%
生産年齢人口 (15～64歳)	男	3,831	3,767	3,682	△ 85
	女	3,765	3,671	3,567	△ 104
	計	7,596	7,438	7,249	△ 189
	構成比率	51.98%	51.47%	50.88%	△0.59%
老年人口 (65歳以上)	男	2,221	2,229	2,243	14
	女	2,970	2,967	2,978	11
	計	5,191	5,196	5,221	25
	構成比率	35.52%	35.96%	36.65%	0.69%
合計	男	7,005	6,942	6,857	△ 85
	女	7,608	7,509	7,389	△ 120
	計	14,613	14,451	14,246	△ 205
世帯数		5,456世帯	5,493世帯	5,490世帯	△3世帯
(再掲) 75歳以上	男	946	1,014	1,072	58
	女	1,574	1,624	1,672	48
	計	2,520	2,638	2,744	106
	構成比率	17.24%	18.25%	19.26%	1.01%

(2) 住民基本台帳関係事務処理数

(単位：人)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
転 入 者	378	340	284
出 生 者	97	87	72
そ の 他	5	7	6
計 (A)	480	434	362
転 出 者	311	392	357
死 亡 者	218	219	201
そ の 他	0	2	9
計 (B)	529	613	567

(単位：件)

種 別	件 数
転 居	62
世帯変更	131
職権修正	191
違反通知	0
戸籍の附票	2,035
計	2,419

社会増減	67	△ 52	△ 73
自然増減	△ 121	△ 132	△ 129
その他	5	5	△ 3
計 (A)－(B)	△ 49	△ 179	△ 205

(3) 印鑑登録関係件数

(単位：件)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
登 録	473	517	444
(うち再登録)	(174)	(184)	(188)
抹 消	516	536	535
年度末登録者数	10,417人	10,398人	10,141人

・ 戸籍事務関係事業

(1) 本籍数及び本籍人口など

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
本 籍 数	8,166戸籍	8,053戸籍	7,977戸籍
本 籍 人 口	19,609人	19,317人	19,086人

(2) 戸籍届書の取扱い件数

(単位：件)

事件の種類	年 度	R3年度	R4年度	R5年度
出 生		186	151	118
国 籍 留 保		0	1	1
認 知		2	2	2
養 子 縁 組		21	11	14
養 子 離 縁		3	5	7
離縁の際に称していた氏を称する届		0	2	0
婚 姻		182	161	169
離 婚		41	35	39
離婚の際に称していた氏を称する届		20	15	15
親 権 変 更		3	2	0
死 亡		291	311	268
失 踪		0	0	1
復 氏		0	1	1
姻 族 関 係 終 了		1	1	2
入 籍		50	37	41
分 籍		5	8	1
帰 化		0	0	1
国籍喪失・選択		3	2	3
氏 の 変 更		1	0	1
転 籍		67	65	53
戸 籍 訂 正		12	5	9
続柄の記載更正		0	1	0
そ の 他		0	0	0
不 受 理 申 出		4	1	2
合 計		892	817	748

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
新 戸 籍 編 製	91	79	83
戸 籍 全 部 消 除	179	192	159

・住民票・戸籍など取扱い件数

(単位：件)

区 分	有 料			無 料		
年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度	R4年度	R5年度
住 民 票 謄 抄 本	4,771	4,645	4,229	239	178	228
記 載 事 項 証 明	109	129	100	5	19	3
戸 籍 の 附 票	350	368	415	977	554	637
閲 覧	75	130	239	7,134	14,728	11,324
小 計	5,305	5,272	4,983	8,355	15,479	12,192
印鑑登録証明書	4,061	3,773	3,556	83	34	54
身 分 証 明 書	151	148	119	0	0	0
そ の 他 証 明	239	320	227	105	72	39
小 計	4,451	4,241	3,902	188	106	93
計	9,756	9,513	8,885	8,543	15,585	12,285
戸 籍 謄 抄 本	2,289	2,427	2,721	1,087	607	735
除 籍 謄 抄 本	2,240	2,664	3,013	2,766	1,453	1,455
戸籍記載事項証明	0	4	4	0	0	0
受 理 証 明	21	20	22	0	0	0
広域交付・戸籍謄本	0	0	11	0	0	0
広域交付・除籍謄本	0	0	26	0	0	3
計	4,550	5,115	5,797	3,853	2,060	2,193
合 計	14,306	14,628	14,682	12,396	17,645	14,478

【成果】 法令等に基づく届出の処理、証明発行を適正に行った。

②個人番号カード事務事業 15,038千円

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
個人番号カード交付枚数	2,118枚	4,340枚	1,460枚

【成果】 個人番号カードの交付、電子証明書の更新等の手続きについて、専用窓口で適正かつ円滑に行うことができた。また、休日交付窓口や出張申請受付等、交付・申請支援体制の実施により、交付率を上げることができた。



款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 国民年金事務取扱費	213千円	213千円

①国民年金事務取扱事業 213千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理した。

また、年金事務所との情報共有(年金加入状況、所得状況)により、年金加入者に不利益が生じることがないように必要な情報を提供するなど、サービス向上に努めた。

拠出年金被保険者数 (単位：人)

区分	R3年度	R4年度	R5年度
1号	1,459	1,392	1,402
3号	444	412	373
任意	17	12	8
計	1,920	1,816	1,783

窓口事務受付件数 (単位：件)

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
資格取得	144	137	153
種別変更	24	22	26
保険料減免	83	84	69
学生納付特例	44	26	15
年金裁定請求	5	3	12
未支給請求	52	54	51
その他	52	45	44
計	404	371	370

【成果】 国民年金加入者の年金相談、年金手続きを行い、適正なサービスの提供を行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	412,205千円	386,827千円

①社会を明るくする運動事業 93千円					
全国統一の「社会を明るくする運動」月間（7月）に保護司等による啓発、小・中学生に作文コンテスト（県主催）を周知し、応募を行った。					
【成果】 のぼり旗・懸垂幕の掲出と、町放送・町報等による啓発を行ったことにより、町民の運動への理解が深まった。					
②戦没者追悼式事業 181千円					
諸英霊に対し、町主催の追悼式を行った。					
期 日 令和5年9月28日					
場 所 大栄農村環境改善センター					
参 列 者 数 遺族37人、来賓13人（うち遺族3人含む）					
【成果】 遺族、来賓とともに戦没者の慰霊を行うことで、世界平和を祈念した。					
③民生児童委員協議会事業 2,555千円					
地域福祉向上のため活動する民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動費として補助金を交付した。また、中部協議会へ負担金を支払った。					
・町協議会（委員45人）への活動補助 2,397千円					
・中部民生委員協議会負担金 158千円					
【成果】 ひとり暮らし高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発、各種研修会参加による資質向上に努めたことで、地域福祉の推進を図った。					
④社会福祉費補助金事業 140千円					
町遺族会（3地区）の活動に対して、補助金を交付した。					
【成果】 補助金を交付したことで、各遺族会の活性化を図った。					
⑤社会福祉協議会補助金事業 17,335千円					
地域福祉事業の推進のため、町社会福祉協議会に補助金を交付した。また、県社協として行う事業に負担金を支払った。					
・町社会福祉協議会補助金 17,290千円					
・鳥取県社会福祉協議会負担金 45千円					
【成果】 社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、地域活動支援センター運営費等への補助で福祉サービスの充実を進めた。					
⑥介護保険特別会計繰出金事業 220,974千円					
介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。					
・介護給付費町負担分 186,019千円					
・地域支援（介護予防）事業分 5,142千円					
・地域支援（包括的支援・任意）事業分 812千円					
・一般事務費分 12,607千円					
・低所得者軽減分 16,394千円					
【成果】 介護保険特別会計の健全な運営を行った。					



戦没者追悼式

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 老人福祉費	24,386千円	22,434千円

①老人福祉事業 400千円

米寿（数え年の88歳）、金婚（結婚50年）の方に祝詞、記念品を贈り祝意を表した。

	R3年度	R4年度	R5年度
米寿	113 人	118 人	41 人
金婚	54 組	57 組	53 組

※令和5年度から米寿表彰対象者を数え→満年齢に変更

【成果】町長及び町の幹部が直接長寿のお祝いを述べ、ご労苦をねぎらった。

②敬老会事業 2,516千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき1,000円の補助を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度
自治会数	53	54	53
対象者数	2,408 人	2,551 人	2,516 人

【成果】 多年にわたり社会の発展に貢献された高齢者に対して敬老の意を表し、自治会単位で祝福することにより、地域福祉の意識の醸成を図ることができた。

③老人保護措置事業 9,176千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	R3年度	R4年度	R5年度
入所者数	7 人	8 人	8 人

【成果】 入所により高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができています。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,710千円

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、北栄町シルバー人材センターの事業安定のため運営補助を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	161 人	169 人	155 人

【成果】 高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業 2,226千円

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動・運営に対し補助を行い、高齢者が地域で役割を果たすなど社会参加を促進した。

会員数	補助金額 (※)	R3年度	R4年度	R5年度
50人～	70,000円	4	3	2
40人～49人	60,000円	4	3	4
30人～39人	50,000円	5	6	5
20人～29人	40,000円	7	7	7
10人～19人	30,000円	0	0	1
合 計	クラブ数	20	19	19
	補助金額	1,050 千円	970 千円	940 千円

・老人クラブ連合会補助 1,260千円

【成果】 仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動を促した。

⑥成年後見支援センター事業 1,491千円

中部圏域で成年後見ネットワーク倉吉に委託してセンターを設置し、困難事例の専門職による相談、申し立て事務、制度の広報、啓発を進めた。

		R3年度	R4年度	R5年度	(延件数)
後見委任数		5件	7件	7件	
相談 件数	高齢者	13件	9件	5件	
	障がい者	10件	26件	6件	

【成果】 困難事例が増える中、中部市町が協力して法人後見ができる体制が整った。

⑦高齢者補聴器購入費補助金事業 570千円

高齢者の補聴器購入を支援した。

	R3年度	R4年度	R5年度
補助人数	- 人	8 人	19 人

※令和4年7月新設

【成果】 聴力機能の低下によってコミュニケーションを取ることが困難になったことに起因する閉じこもりや認知機能の低下等を防ぐとともに、積極的な社会参加及び地域交流を支援することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	4 介護予防生活支援費	91,320千円	85,653千円

①外出支援サービス事業 23,225千円

・タクシー利用料助成事業 13,453千円

高齢者の方や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成し、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	R3年度		R4年度		R5年度	
	従来券	300円券	従来券	300円券	従来券	300円券
登録者数(人)	595		601	574	592	589
延利用件数(件)	12,976		9,207	4,573	9,408	5,932
助成額(千円)	8,731		6,483	4,369	6,799	6,311

・在宅通院支援事業 9,772千円

要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関を利用することが困難な場合にタクシー利用による病院送迎への助成を行い、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	R3年度	R4年度	R5年度
登録者数	226 人	230 人	186 人
延利用件数	6,039 件	5,523 件	5,261 件
助成額	10,673 千円	9,776 千円	9,704 千円

【成果】 高齢者の方や障がいのある方等へタクシーの利用助成を行うことにより、移動支援につながった。

②介護予防地域支え合い事業 5, 576千円

いきいきサロンを高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施し、介護予防につなげた。

	R3年度	R4年度	R5年度
自治会数	44	43	43
開催回数	678 回	824 回	1,029 回
参加延べ人数	7,726 人	8,834 人	10,882 人

【成果】 自立支援の意識、高齢者の閉じこもり防止等、介護予防につながった。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	5 障害者福祉費	469,867千円	456,248千円

①障がい者福祉関係負担補助金事業 251千円

町心身障がい児者育成会（ひまわり会）などの活動に対する補助を行い、障がい者福祉の増進を図った。

- ・町心身障がい児者育成会（ひまわり会）補助金 180千円
- ・町精神障がい者家族会補助金 71千円

【成果】 障がい者が団体の活動に参加し交流することで、更生意欲、自立支援、社会参加への意欲を高めた。

②心身障がい者医療費扶助事業 3, 699千円

中度の心身障がい者（身体障害者手帳3,4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者）で町民税非課税者に対し医療費を助成することにより、特別医療費助成制度対象外の障がい者の医療費負担の軽減を図った。

	R3年度	R4年度	R5年度
件数	266 件	255 件	303 件
金額	3,841 千円	3,980 千円	3,699 千円

【成果】 医療費助成を行ったことにより、中度障がい者の健康保持、負担軽減を図った。

③障害支援区分認定事務事業 721千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	R3年度	R4年度	R5年度
認定件数	27 件	56 件	33 件

【成果】 認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズな障害福祉サービスの利用につながった。

④自立支援給付事業 393, 909千円

障害者総合支援法に基づき、障がい児・者の障害福祉サービス利用の支援を行った。

	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
居宅介護、重度訪問介護等	159	11,527	172	10,181	188	10,989
上記以外の介護給付費等	2,364	384,785	2,255	351,840	2,200	356,784
サービス利用計画作成費	539	6,979	482	6,673	447	7,047
補装具費	23	2,483	17	1,413	20	3,561

【成果】 心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活を維持することができた。

⑤自立支援医療給付事業 17,839千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付し、身体等の障がいの軽減、機能回復を図った。

	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	1,204	17,294	873	12,362	1,029	14,157
育成医療	9	23	18	199	9	19
療養介護医療	45	2,728	44	2,571	44	2,587

【成果】 医療費助成を行ったことにより、障がい者の自立した日常生活、社会生活につながった。

⑥地域生活支援事業 31,207千円

・意思疎通支援事業 3,296千円

聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行った。

委託先：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	R3年度	R4年度	R5年度
延派遣依頼件数	79 件	88 件	78 件

・日常生活用具給付等事業 3,653千円

障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度
延利用件数	347 件	331 件	334 件

・移動支援事業 1,214千円

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度
延利用者数	74 人	65 人	71 人

・日中一時支援事業 8,470千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保した。

	R3年度	R4年度	R5年度
延利用者数	232 人	222 人	228 人

・地域活動支援センター事業 10,659千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供した。

	R3年度	R4年度	R5年度
延利用者数	122 人	120 人	98 人

【成果】 障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 644千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行った。

【成果】 グループホーム等利用者の安心安全な生活に資することができた。

⑧障がい者相談員設置事業 75千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作った。

【成果】 身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制ができた。

⑨特別障害者手当等給付事業 5,469千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し、精神的・物理的な負担を軽減するため、手当等を給付した。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
受給者数(延べ)	268 人	273 人	251 人

【成果】 在宅で生活する重度の障がい児・者の負担軽減を図った。

⑩障がい児者在宅生活支援事業 1,317千円

日常的に医療行為の必要な障がい児者や重症心身障がい児者に対し、町が定める事業を行う対象者に補助を行った。

【成果】 医療的ケア児者や重症心身障がい児者の在宅生活等を支援することができた。

⑪重症心身障がい児者支援事業 819千円

重度障がい児者の受入れを行う社会福祉法人等に対して助成を行った。

【成果】 重度障がい児者の活動を支援すること及び保護者の負担・不安を軽減すること、重度障がい児者の支援体制の充実を図ることができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費	4,074千円	3,768千円

①生活困窮者自立相談支援事業 17千円

・住居確保給付金

休業等に伴う収入の減少により住居を失うおそれがある方に対し、家賃相当額の支給を行う事業。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
延支給件数	21件	6件	0件

【成果】 生活や就労に向けた相談や問い合わせにおいて、事業を踏まえて相談対応を行ったが、該当者はなかった。

②就労準備支援事業 3,622千円

・地域づくりモデル事業

300千円

生活困窮者支援を通じて、地域づくりの推進を図る取組を行う就労訓練事業所に対して補助を行った。

【成果】 生活困窮者の自立促進や社会参加につながる場や相談しやすい体制ができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	39,361千円	36,160千円

①地域包括支援センター事業 38千円

・相談支援事業 地域包括支援センターにて、高齢者に関する相談支援を行った。

地域包括支援センター相談件数

	R3年度	R4年度	R5年度
一般相談	1,843 件	1,543 件	1,239 件
地域支援	797 件	558 件	502 件
予防給付	1,535 件	1,546 件	1,589 件
計	4,175 件	3,647 件	3,330 件

・地域ネットワーク会議

関係機関のネットワークの構築及び資質向上のための研修会・意見交換会を年6回（参加者合計237人）開催した。

・権利擁護事業

高齢者虐待対応の状況（実数）

	通報相談件数	虐待判断件数
養護者による虐待	4 件	1 件
施設従事者による虐待	0 件	0 件

高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会

虐待対応状況及び虐待防止の取り組みについて報告した。また、委員として出席された町内の介護サービス、障がい福祉サービス事業所から、それぞれの事業所における虐待防止の取組を報告していただいた。

【成果】 相談に応じた支援を提供、高齢者の自立支援、重度化予防、権利擁護の支援を行った。

②障がい者相談支援事業 5,003千円

・相談支援事業 4,123千円

障がい者地域生活支援センターを設置し、障がいのある人やその家族の相談支援を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度
町障がい者地域生活支援センター	268 件	211 件	203 件
障がい者虐待相談数（実数）	2 件	2 件	4 件
中部障害者地域生活支援センター（仁厚会へ委託）	299 件	640 件	451 件
障がい児相談支援（りっかへ委託）	1071 件	1710 件	1602 件

（延件数）

・中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局運営事業 880千円

相談支援事業を効果的に実施するため、圏域自立支援協議会事務局に専門職を配置した。

【成果】 障がいに応じた相談支援を提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

③生活困窮者自立相談支援事業 7,844千円

・自立相談支援事業

相談支援員、就労支援員など職員を配置し、生活困窮者の自立相談支援、就労支援等を実施した。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
新規相談者数	35人	24人	21人

【成果】 生活困窮にかかる相談支援や就労・家計支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進を図った。

④地域介護予防活動支援事業 662千円

・高齢者サークル活動支援事業委託料

介護予防活動の地域展開に資する住民主体の通いの場等の活動支援を行った。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
団体数	26 団体	26 団体	25 団体
延回数	1,173 回	1,364 回	1,477 回
延人数	7,456 人	9,286 人	10,447 人

・地域介護予防活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
こけないからだ講座	0 人	0 回	
こけないからだ講座（フォロー）	281 人	26 回	26自治会



こけないからだ講座

講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	R3年度	R4年度	R5年度
実施自治会（内新規）	30(1)	27(0)	27(0)
その他（介護事業所等）	3	3	3

R3～再開 1自治会、R4中断 3自治会

【成果】 閉じこもりの解消や支え合う関係づくり、介護予防活動の推進を図った。

⑤生活支援体制整備事業 6,003千円

生活支援コーディネーターを配置（委託）するとともに、第1層（町全域）協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層（小学校区単位）協議体「よっしゃやらあ会」を設置。生活支援や見守り、助け合い活動の推進に取り組んだ。

支え愛連絡会は、下北条地区を重点地区として実施し、移動販売の導入やタクシー助成券の追加交付の取組みにつながった。

	延人数	開催回数
生活支援サポーター養成講座	8人	1回
第1層協議体	27人	2回
第2層協議体	173人	18回
支え愛連絡会	153人	14回

【成果】 ちょっとした困りごとに対する生活支援サービスの提供を図るとともに、地域内の見守りや助け合い活動の推進を図った。

⑥生活困窮者等共助の基盤づくり事業 3,244千円

共助の取組みを活性化し、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図る取組を実施した。

- ・ボランティア団体等を紹介する冊子「地域で活動できる場リスト」の作成
- ・共助交通の取組み団体の運営サポート
- ・高校生ボランティアとの協働による集いの場の開催 等

【成果】 他事業（生活支援体制整備事業等）と連携して取組、集いの場や共助交通の活動など支え合うしくみづくりの推進やインフォーマル活動の活性化を図った。

⑦参加支援事業 1,010千円

社会参加しにくい人などを対象とした、社会とのつながりづくりや参加の支援を実施するとともに、支援メニューづくりの取組を行った。

- ・夏休みこども工作教室の開催（男性の活躍の場と世代間交流の機会の創設）
- ・障がい分野を中心とした課題把握や連携を目的とした「つながる会議」の開催（年1回）
- ・個別対象者の参加に向けた支援の実施（プラン作成：4件）

【成果】 つながりや参加に関する個別支援を行うとともに、関係機関と参加の場や機会に関する課題を共有し、今後の取組について検討をすすめることができた。

⑧アウトリーチ等を通じた断続的支援事業 1,111千円

- ・アウトリーチ訪問等の実施

必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、アウトリーチによる対象者との信頼関係づくり、制度等へのつなぎ等の支援を行った。（プラン作成：8件）

- ・世帯訪問調査の実施

福祉の相談窓口の周知及び必要な支援へのつなぎを目的に全戸訪問を実施（14自治会）した。

【成果】 必要な支援が届いていない人への相談支援体制の基盤づくりを図った。

⑨多機関協働事業 438千円

複雑化・複合化した課題を抱え単独の支援機関では対応が難しい事例に対し支援を実施した。また、横断的な相談支援体制の構築に向け、福祉施策アドバイザーを設置し体制整備を推進した。

- ・包括的支援会議 44回
- ・プラン作成 38件

【成果】 包括的支援会議にて個別支援方策を検討したほか、分野横断的研修や関係機関連絡会などを実施し多分野連携の促進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子父子福祉費	22,676千円	21,613千円
①母子家庭等対策総合支援事業 1,741千円					
・高等職業訓練促進給付金の給付 1,200千円					
就業に向けた高等職業訓練の修学を行う母子家庭等に対し、給付金の給付を行った。					
支給対象者：母子家庭1件（月額100千円）					
【成果】 給付金の給付を行ったことにより、修学中の生活を支え、自立した生活に向けた準備を促すことができた。					
②町母子会補助金事業 1,600千円					
・母子寡婦福祉資金の貸付 1,500千円					
要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円（無利子）の貸付を行った。					
		R3年度	R4年度	R5年度	
借入件数		4 件	4 件	4 件	
借入金総額		700 千円	750 千円	800 千円	
【成果】 母子寡婦貸付を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。					
③児童入所施設措置等事業 16,629千円					
・母子生活支援施設措置委託料 15,832千円					
配偶者がいない又は、これに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。					
【成果】 施設に保護し就労、子育て支援等の指導を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。					

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 児童手当費	211,347千円	211,197千円
①児童手当等給付事業 211,197千円					
次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。					
		区分	一人当たり月額		
		0歳～3歳未満	15,000 円		
		3歳以上小学	第1子、第2子 10,000 円		
		校修了前	第3子以降 15,000 円		
		中学生	10,000 円		
		所得制限対象	5,000 円		
児童手当対象児童数 延べ 18,435人					
【成果】 児童手当を支給したことにより、児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。					

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 児童扶養手当費	61,321千円	60,721千円
①児童扶養手当給付事業 60,721千円					
ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭の生活の安定と自立を助けるため手当を支給した。					

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 44,140円	月額 44,130円～10,410円
2人目	月額 10,420円	月額 10,410円～ 5,210円
3人目以降	月額 6,250円	月額 6,240円～ 3,130円

実支給家庭数	R3年度	R4年度	R5年度
母子家庭数	114 世帯	103 世帯	105 世帯
父子家庭数	11 世帯	9 世帯	7 世帯

【成果】 児童扶養手当を支給したことにより、受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 児童措置費	103,209千円	103,182千円

①障害児通所給付事業 103,182千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	58	1,502	69	2,624	147	4,412
医療型児童発達支援	27	298	30	242	42	291
放課後等デイサービス	861	66,640	935	77,095	1,024	83,851
保育所等訪問支援	49	1,168	71	2,146	167	5,082
相談支援	231	4,760	320	6,503	357	7,136

【成果】 発達障がいを含めた障がい児に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 子育て世帯生活支援特別給付金事業費	24,663千円	24,292千円

①子育て世帯生活支援特別給付金（児扶）事業 11,723千円

食費等の物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）への生活支援として児童扶養手当受給者等に給付金を給付した。

支給対象者210人×50千円＝10,500千円

【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

②子育て世帯生活支援特別給付金（他世帯）事業 12,569千円

食費等の物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）への生活支援として住民税非課税相当かつ児童手当等受給者等に給付金を給付した。

支給対象者200人×50千円＝10,000千円

【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 生活保護総務費	82,031千円	80,862千円

①生活保護総務事業 11,534千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理した。

- 生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2人
- ・嘱託医報酬 323千円
 - ・生活保護システム保守委託料 1,560千円
 - ・生活保護システム改修委託料 2,673千円
 - ・レセプト管理システム委託料 2,297千円
 - ・医療扶助オンライン資格確認導入
(生活保護システム・レセプト管理システム改修) 3,494千円
 - ・被保護者夏季見舞金 220千円

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
総務事業費	5,726千円	4,428千円	11,534千円

【成果】 生活保護費の給付及び生活の指導などに必要な体制づくり及びシステム導入及び改修を実施し、必要な保護を滞りなく実施可能な状態にできた。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 生活保護扶助費	104,727千円	94,818千円

①生活保護扶助事業 94,818千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

- ・生活扶助 27,908千円
- ・医療扶助 46,532千円
- ・介護扶助 1,164千円

年 度	R3年度末	R4年度末	R5年度末
受給者数	53 人	54 人	53 人
世帯数	45 世帯	47 世帯	46 世帯
扶助費	77,508千円	72,506千円	75,604千円

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
相談数	23 件	30 件	34 件
申請数	6 件	10 件	9 件
結 果	決定	5 件	7 件
	却下	1 件	2 件
	取下	0 件	1 件
廃止	10 件	5 件	8 件
内 訳	就労	0 件	0 件
	死亡	2 件	4 件
	その他	8 件	1 件

【成果】 生活保護費の給付及び生活の指導など必要な保護を実施し、自立を助長できた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	412,205千円	386,827千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業 121,834千円

一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行った。

- ・保険基盤安定分 93,920 千円
- ・保険財政安定化支援分 6,499 千円
- ・未就学児負担軽減分 1,162 千円
- ・出産育児一時金分 2,000 千円
- ・事務費、職員給与分 18,219 千円
- ・産前産後免除分 34 千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 特別医療費助成事業費	105,723千円	102,862千円

①特別医療費助成事業 101,645千円

対象者にかかる医療費を助成した。

- ・特別医療費審査手数料 69,732 件 2,571 千円
- ・特別医療費助成費 34,881 件 99,074 千円

(単位：千円)

	R3年度			R4年度			R5年度		
	延人数	件 数	金 額	延人数	件 数	金 額	延人数	件 数	金 額
身障1,2級	233	5,976	31,144	235	6,045	34,791	215	5,725	36,115
重度知的障がい者	41	989	1,695	35	901	1,653	21	845	1,871
精神障がい者	8	147	2,679	11	239	2,882	9	280	2,829
特定疾病	1	10	148	2	13	142	2	17	206
ひとり親家庭	54	688	1,820	64	717	2,053	61	811	2,131
小児	2,357	22,597	43,168	2,351	21,789	43,780	2,278	27,203	55,922
合 計	2,694	30,407	80,654	2,698	29,704	85,301	2,586	34,881	99,074

【成果】 小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

②養育医療費助成事業 1,217千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

(単位：件、千円)

	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	1	1,404	1	761	4	1,217

【成果】 対象者の医療費負担を軽減することができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健衛生総務費	145,415千円	133,408千円

①保健衛生総務事業 1,760千円

保健事業の推進のための各種事業を行った。

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催 2回
- ・公用車の燃料費及び管理費
- ・過年度分の国庫補助金、負担金の返還金

【成果】 健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。また、第3次健康ほくえい計画の推進に向け、各組織の推進状況や今後の取組について確認することができた。

②健康管理システム委託事業 6,055千円

健康からシステムを活用し、各種健診・予防接種の通知や、健診結果・予防接種の管理を実施し、庁舎内で情報共有を図った。また、新たなワクチンの定期接種化に伴う、システム改修やシステム標準化に伴う差異分析作業も随時行った。

【成果】 健診結果、予防接種履歴等をシステムで一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等を実施する際の効率化を実施した。また、新たに定期化されたワクチンの対応もスケジュール通り実施することで、町民に定期接種を実施する機会を遅れることなく提供できた。システム標準化に伴う準備としてシステムの差異分析作業を実施し、次年度以降のシステム改修に備えることができた。

③献血事業 8千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

区 分	R3年度		R4年度		R5年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	165人	139人	173人	143人	144人	119人
実施回数	3日（延9会場）		3日（延10会場）		3日（延10会場）	

【成果】 コロナ禍で巡回可能会場数が減少する中、献血協力者の確保に努めた。

④民間診療所新規開設継承支援事業 10,001千円

町内において診療所の事業承継を目的とした拡充を行う診療所の申請があり、10,000千円を支出予定であったため、次年度以降に備えて基金積立を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 健康増進センター費	19,305千円	17,968千円

①健康増進センター管理事業 5,492千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。また、利用者数等については、コロナワクチンでの利用も計上。

区 分	利用者数		
	R3年度	R4年度	R5年度
健 診 棟	9,132人	8,293人	6,350人
調 理 室	265人	460人	771人
会 議 室	8,296人	8,126人	5,941人

区 分	利用回数		
	R3年度	R4年度	R5年度
母子保健事業・成人健診事業	158回	130回	118回※
子育て支援センター	通年利用		
その他各種会議等	92回	112回	127回

※R3・R4は各部屋の利用で回数を計算していたが、R5～同一事業の場合は1回で計算

【成果】 施設の維持管理を行い、保健事業や子育て事業の場として活用することができた。

②健康増進センター改修事業 12,476千円

健康増進事業の拠点として、施設の利便性及び安全性を確保するために、施設の改修事業を実施した。

①調理室ガスコンロ取替工事	209千円
②調理室混合水栓取替工事	407千円
③ブラインドカーテン取付工事	940千円
④事務室カーテン新規設置工事	189千円
⑤キュービクル取替工事	10,731千円

【成果】 必要な改修を実施したことにより、利便性及び安全性の維持・向上につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 感染症等予防費	82,985千円	78,234千円

①感染症等予防事業 38,699千円

・ 定期予防接種

予防接種法に基づき、乳幼児・児童・生徒及び65歳以上の高齢者等に対する定期予防接種を実施し、感染症の予防を図った。

区 分	接種者数 (延人数)		
	R3年度	R4年度	R5年度
四種混合(DTP-IPV)	218人	379人	345人
二種混合(DT)	121人	98人	124人
麻しん風しん混合	208人	210人	196人
日本脳炎	302人	371人	317人
BCG	95人	99人	81人
ヒブワクチン	199人	378人	320人
小児肺炎球菌ワクチン	199人	377人	321人
子宮頸がん予防ワクチン ※1	13人	144人	163人
水痘	165人	188人	178人
B型肝炎 (H28.10～)	153人	243人	227人
ロタウイルス (R2.10～)	117人	210人	174人
高齢者インフルエンザ	3,031人	2,993人	2,871人
高齢者肺炎球菌	225人	155人	165人
風しん(第5期) ※2 (H31.4～)	118人	29人	17人
		4人	28人
			9人

※1 令和4年度から子宮頸がんワクチンについては、勧奨が再開となった。また積極的勧奨を行わなかった年代の方々を対象にキャッチアップ接種も開始したことで、接種を促進した。

※2 風しん(第5期)は左が抗体検査、右が予防接種の人数を掲載。

・ 任意予防接種 費用助成

個人が感染症にかかったり、重症化を防ぐために受ける任意接種に係る費用の一部助成を行った。

区 分	接種者数 (延人数)		
	R3年度	R4年度	R5年度
乳幼児インフルエンザ	616人	511人	445人
小学生インフルエンザ (H27.10～)	583人	430人	319人
中学生インフルエンザ (H27.10～)	109人	98人	93人
障がい児・者インフルエンザ (R2.10.1～)	16人	20人	17人
おたふくかぜ	85人	113人	91人
風しん(大人)	9人	9人	13人

【成果】 医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

②新型コロナウイルス予防接種事業 39,535千円

予防接種法に基づき新型コロナウイルスワクチン接種の初回接種（1・2回目）と追加接種（3回目～7回目）を実施し、感染予防・重症化予防を図った。

※接種はR3年度から開始

区分	接種者数	接種率
1回目	10,831人	76.2%
2回目	10,790人	75.9%
3回目	9,367人	65.9%
4回目	6,931人	48.7%
5回目	4,888人	34.4%
6回目	3,383人	65.2%
7回目	2,237人	43.1%

・集団・巡回接種実施回数

区分	実施回数	
	集団接種	巡回接種
R3年度	38回	31回
R4年度	52回	26回
R5年度	35回	42回
合計	125回	99回

※6回目及び7回目の主たる接種対象者は65歳以上

【成果】 町による集団接種、高齢者施設等への巡回接種、中部の医療機関での個別接種を実施することで新型コロナウイルスの感染予防・重症化予防につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子衛生費	14,012千円	12,089千円

①母子衛生事業 12,089千円

・乳幼児健康診査

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。
5歳児は保護者の希望等による相談（医師・心理士・就学に関する）を行った。

	R3年度				R4年度				R5年度			
項目	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児
実施回数	6回	6回	6回	4回	6回	6回	7回	4回	6回	6回	6回	4回
対象者	95人	94人	101人	23人	101人	95人	111人	35人	86人	106人	98人	24人
受診者	93人	89人	97人	19人	100人	91人	111人	35人	85人	104人	98人	24人
要精密	4人	1人	13人	6人	2人	3人	18人	10人	3人	3人	21人	10人
追跡観察	21人	22人	27人	6人	15人	20人	13人	9人	21人	27人	20人	1人
要治療	0人	0人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	2人	0人	2人	0人

・妊婦乳児一般健康診査

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項 目	R3年度	R4年度	R5年度	※延件数
妊婦一般健康診査	1,244件	1,025件	869件	
乳児一般健康診査	154件	198件	163件	

・乳幼児健康相談及び健康教室

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	R3年度			R4年度			R5年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	5回	97人	30人	6回	95人	37人	6回	81人	32人
1歳児教室	5回	88人	36人	6回	102人	38人	6回	86人	33人
2歳児教室	5回	75人	49人	6回	89人	58人	6回	99人	70人
2歳6か月児教室	3回	92人	43人	4回	105人	68人	5回	98人	74人

・訪問指導

	R3年度	R4年度	R5年度	※延人数
妊産婦	100人	122人	139人	
乳児	98人	151人	189人	

・歯科対策

(1歳6か月児、3歳児健診を除く)

項目		R3年度			R4年度			R5年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	8回	167人	92人	10回	194人	126人	11回	197人	144人
	3歳以上	5回	311人	307人	10回	298人	263人	10回	294人	246人
フッ化物洗口	年中・年長	5回	206人	206人	5回	201人	187人	5回	193人	185人
	小学生	29回	818人	742人				16回	781人	709人
歯磨き指導(夏・冬)		10回	628人	622人	10回	697人	560人	10回	588人	538人

※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。

平成29年度から全園で実施。

※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。

※フッ化物洗口は町立4園、私立1園の4・5歳児を対象に実施した実人数。

※令和4年度は、コロナ感染拡大により、小学校のフッ化物洗口実施を中止した。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診

	対象者	R4年度		R5年度	
		対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	77人	46人	73人	32人
ふしめ歯科検診	20.30.40 50.60.70歳	990人	72人	1,013人	72人

・保育所・こども園食育

各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施された。町栄養士、食生活改善推進員(食推)も参加し、体験型クッキング活動として味噌汁作りを1園で行った。その他、手洗いチェッカー体験、カレー作り等も行った。

【成果】 こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。

クッキング活動では、こども達が五感を使って体験し、食に興味を持つ事ができた。正しい手洗いの方法やポイントを確認する事ができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 健康支援費	44,348千円	42,327千円

①健康診査等事業 40,731千円

・基本健康診査、特定健診

病気の早期発見、早期治療、また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的に実施した。令和元年度より、基本健診、後期高齢者健診は医療機関委託を開始した。

健診区分		受診者数			
		R3年度	R4年度	R5年度	
基本健康診査		108人	89人	101人	*費用は国保会計で支出
特定健診（国保）		1,175人	1,252人	1,210人	
内訳	集団健診	663人	688人	594人	
	個別健診	512人	433人	469人	
	人間ドック	126人	131人	147人	
後期高齢者健診		393人	305人	556人	*費用は後期会計で支出

・各種がん検診

がんは、総死亡の3割を占めており全がん死亡率は現在も増加傾向にある。がん検診により早期発見し、早期治療を行うことでがん死亡を減少させるために実施した。

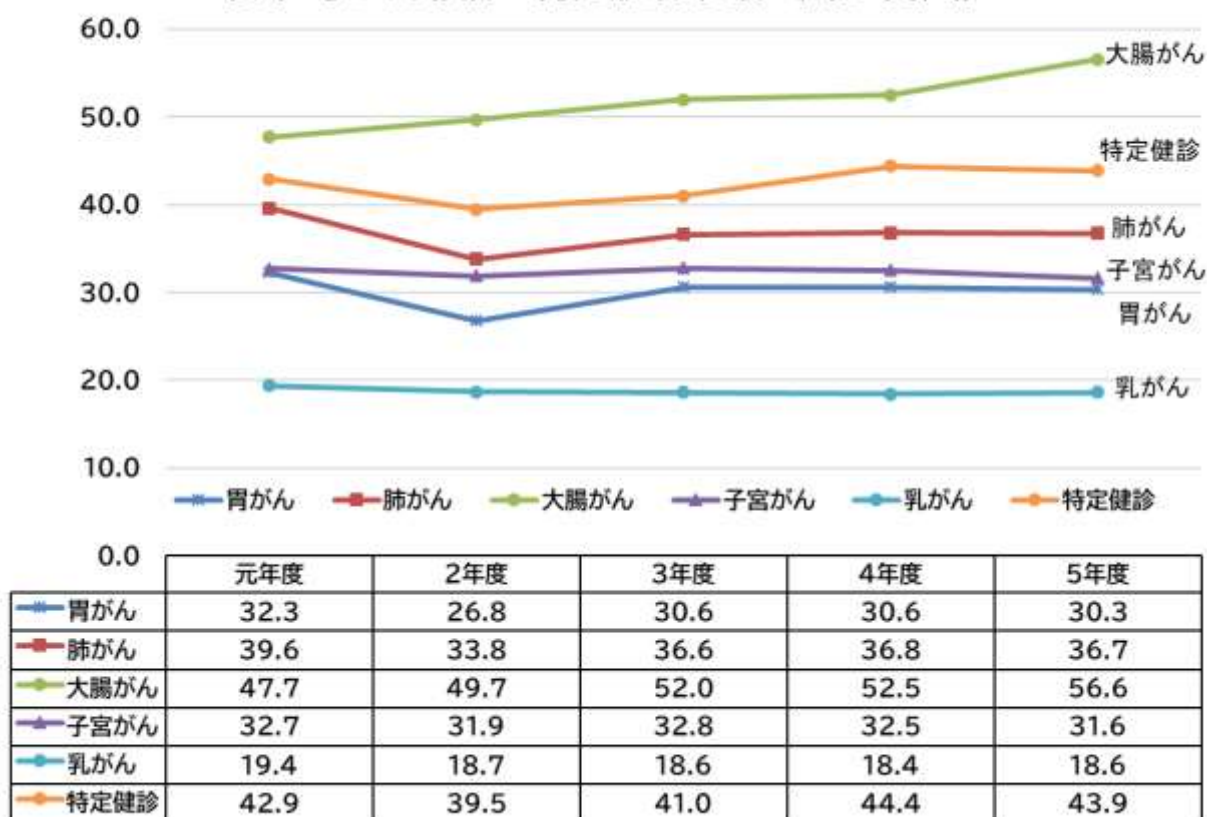
※精密受診者はR6年5月31日現在

※精密受診者はR5年3月31日現在

		R3年度				R4年度				R5年度			
		胃	肺 結核	喀痰	前立腺	胃	肺 結核	喀痰	前立腺	胃	肺 結核	喀痰	前立腺
受診者数	集団	377	1281	4	154	377	1239	5	147	338	1192	9	163
	ドック	275	277	2	130	279	277	5	123	290	292	4	129
	個別	956	366	12		924	415	10		964	443	13	
	合計	1,608	1924	18	284	1580	1931	20	270	1592	1927	26	292
	うち要精密 () は受診者	36 (30)	91 (78)	0	14 (6)	35 (28)	62 (52)	0	14 (8)	36 (28)	62 (50)	0	9 (6)
	精密受診率 (%)	83.3	85.7		42.9	80	83.9		57.1	77.8	80.6		66.7

		R3年度				R4年度				R5年度			
		肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸
受診者数	集団	36	647	430	2666	32	658	437	2655	35	589	429	2678
	ドック	63			274	54			276	52			292
	個別	41	433	140		23	412	127		42	453	143	
	合計	140	1080	570	2940	109	1070	564	2931	129	1042	572	2970
	うち要精密 () は受診者	3 (2)	7 (2)	29 (28)	188 (138)	0	7 (6)	33 (31)	172 (108)	6 (2)	2 (1)	35 (30)	197 (139)
	精密受診率 (%)	66.7	28.6	96.6	73.4		85.7	93.9	62.8	33.3	50	85.7	70.6

北栄町がん検診・特定健診受診率経年推移



・人間ドック委託（対象年齢 40歳、45歳、50歳、55歳、61歳、65歳、70歳）

受診者	R3年度	R4年度	R5年度
男性	132人	124人	130人
女性	146人	155人	163人
計	278人	279人	293人

・訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項 目	R3年度	R4年度	R5年度
特定保健指導（積極的・動機付支援）	46人	35人	23人
健診事後指導（情報提供等）	28人	30人	47人

（実人数）

【成果】 各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。大型はがきや電話等の受診勧奨を行い、健診受診率を維持した。
個別に訪問指導を行うことにより、生活習慣の改善や医療機関受診へつながった。

②健康支援事業 1, 375千円

食推に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項 目	対象者	R3年度		R4年度		R5年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	8回	93人	9回	108人	9回	123人
伝達講習会（町予算）	自治会住民	3回	33人	6回	69人	7回	77人
〃（その他予算）	自治会住民	19回	468人	15回	381人	21回	579人
食生活改善推進員養成講座				6回	39人		

・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項 目	R3年度		R4年度		R5年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	6回	256人	6回	355人	6回	264人
いきいき健康講座（各自治会）	11回	153人	20回	384人	29回	461人
その他の健康教室(出前講座等)	4回	49人	11回	183人	14回	243人
健診事後教室※	4回	31人	5回	31人	5回	27人
生活習慣病予防講演会	(血圧)	41人			(血圧)	37人
健康フェスタ			1回	200人		

※健診事後教室：「食べ方講座」「運動教室」

・小学校食育『弁当の日』の取組

小学6年生が自分で弁当を作成する『弁当の日』を設定し、感謝の気持ちや自立心を養うことに加え、栄養や調理に関する知識や調理技術を習得に取り組んだ。小学5年生では、次年度の『弁当の日』に向け、小学校、栄養教諭、食生活改善推進員と連携し、家庭科の授業を利用した弁当作りに取り組んだ。

・健康ポイントラリー（健康マイレージ）

健(検)診事業（赤シール）と、健康づくり事業（青シール）の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方（抽選で200人）に、健康に関する賞品を贈呈した。

事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	R3年度	R4年度	R5年度
	335人	477人	488人

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合80%（応募アンケートより）

・ヘルスアップ教室（糖尿病性腎症重症化予防）

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会とした。

参加者16人、延37人（看護師理学療法士講演会11人、管理栄養士理学療法士講演会10人、血液検査14人、保健指導2人）

教室参加者で数値が改善した人の割合

HbA1c 5人/13人(38.5%)、腎機能 2人/13人(15.4%)

医療機関未受診者19人中、受診勧奨により2人受診(10.5%)

【成果】 伝達講習会を20自治会（延25自治会）・健診会場の合計28回実施し、望ましい食習慣について啓発することができた。

他の組織・団体（小・中学校、学校栄養職員、公民館等）と連携した食生活推進活動を実施することで、食育について幅広く普及することができた。

小学校6年生の『弁当の日』では、事前学習、弁当作りを通して、栄養バランスの学習や感謝の気持ちや自立心を養う一助となった。また、5年生の家庭科授業での弁当作りでは、弁当作りの基礎を学ぶことができた。

血圧講演会は、高血圧予防について理解を深め、生活習慣の振り返り、今後の実践につながる機会となった。

いきいき健康講座は、コロナにより開催自治会が少なかったが、開催自治会では健康の意識向上につながった。また健康推進員等合同研修会をTCCでテレビ健康講座として放映したことで広く啓発につながった。

健診事後教室で実施している運動教室では、事業終了後、北栄スポーツクラブの回数券11回分を贈呈することで運動習慣の定着を支援することができた。



小学生弁当の日

③生活習慣病予防事業 195千円

- ・子どものよい生活習慣づくり

子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。

- ・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌

中学3年生を対象に、将来に向けて胃がんを予防する目的で行った。

項 目	R3年度	R4年度	R5年度
一次検査受診率	82.5 %	76 %	65.9 %
真の陽性率	3.5 %	2.2 %	1.1 %

【成果】 子どものよい習慣づくりで実施した生活習慣病予防講演会では、喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意など、生活習慣病予防について学ぶ事ができた。新型コロナウイルス感染症予防のため保護者参観はせず、講演内容をYoutubeに動画掲載し、啓発することができた。

中学生のピロリ菌検査及び除菌を行ったことにより、将来のがん予防につながった。

④健康づくり人材育成事業 25千円

健康サポーターは、月に1回社協での運動教室を担当するなど自主的に活動が続けている。また、自治会を対象に各種団体と連携を図りながら出前健康講座を企画、運営した。

【成果】 健康サポーターの自主的な活動は、周囲を巻き込んで啓発効果が期待できる。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 後期高齢者医療対策費	286,081千円	282,955千円

①後期高齢者医療対策事業 221,608千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分 212,049 千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分 9,559 千円

【成果】 後期高齢者医療に関する給付及び事務を広域連合で行うことにより効率的な運営となっている。

②後期高齢者医療特別会計繰出金事業 50,178千円

・基盤安定分 47,960 千円

・一般事務費等分 1,941 千円

・健診個人負担分 277 千円

【成果】 後期高齢者の健診の個人負担を無料にすることで、健診勧奨の一助となった。

③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 11,169千円

・人件費 11,081 千円

・物件費 88 千円

平均寿命延伸及び医療費適正化のため、訪問・受診勧奨等を行った

糖尿病性腎症重症化予防 9人

重複頻回 8人

健康状態不明者 27人

健康教室の実施（各種高齢者サークル等） 20回

【成果】 きめ細やかな保健事業が提供できた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	20 持続可能なまちづくり推進費	448千円	411千円

①持続可能な発展を目指す自治体会議事業 4 1 1 千円

- ・ 持続可能な発展を目指す自治体会議等負担金
- ・ 定例会 1/18 自治体相互視察（北海道下川町） 10/19～21

【成果】 人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が地域資源を活かしたエネルギーの利用など先進的・特徴的な取組について、情報共有を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 環境衛生費	25,389千円	22,585千円

①環境衛生事業 1, 5 8 6 千円

- ・ 環境審議会開催（3回実施：7/8, 12/17, 3/10）
- ・ 環境CF0会議開催（3回実施：8/1, 11/19, 2/25）
環境審議会参加, フィールドワーク（2回）実施）
- ・ 環境推進員会開催（2/2）
- ・ クリーンランドほうき管理委員会開催（2/21）
- ・ 環境学習会

	R3年度	R4年度	R5年度
開催数	2小学校 2自治会 1団体	2小学校 8自治会 5団体	2小学校 0自治会 4団体

- ・ こどもエコクラブ活動支援補助金 1,114千円
（町内のこども園、小・中学校等）

	R3年度	R4年度	R5年度
活動人数	1,620人	1,602人	1,607人

【成果】 環境推進員会、環境学習会（出前講座）等で町の取組、環境衛生事業、ごみの減量化、有害ごみの説明、啓発等を行った結果、ごみ分別の徹底が推進されたことにより、ごみの減量に繋がった。

②広域連合負担金（火葬）事業 8, 2 8 7 千円

斎場の管理運営に要した経費

- ・ 中部ふるさと斎場 7,475 千円
- ・ 琴浦斎場（相互利用負担金） 812 千円

【成果】 中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。

③飼い主のいない猫対策事業 9 4 0 千円

補助金申請件数・金額 23件 940千円

	R3年度	R4年度	R5年度
申請数	31件	34件	23件
頭数	112頭	80頭	122頭

【成果】 「人と動物の共生」を理念に、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、生活環境の保全を図った。

④犬登録等事業 1 5 2 千円

（単位：頭）

	R3年度	R4年度	R5年度
予防注射済証発行	423	458	459
登録数	661	607	599
接種率	64.0%	75.5%	76.6%

【成果】 犬の登録制度に基づき、狂犬病予防注射の徹底を図った結果、注射を受ける頭数が増えるとともに接種率が増加した。

※R3からR4の登録数の減少については、登録台帳の整理による。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 環境保全費	11,661千円	11,448千円

①再生可能エネルギー等導入事業 10千円
・バイオマス産業都市推進協議会負担金 10千円

B&G海洋センターに導入した木質バイオマスボイラーを運用し、春～秋はプールの加温に利用し、冬季は館内の暖房に利用した。

【成果】 木材の有効活用、再生可能なクリーンなエネルギーの推進・活用が進んだ。また、プールの利用期間の延長、館内の暖房により利用者の健康増進へ繋げた。

②省エネルギー普及啓発事業 819千円 ※風のまちづくり事業充当 786千円

- ・「かんきょうチェックノート」配布（小学4年生）
配布 131人 提出 101人 （回収率 77.1%）
- ・DIY断熱ワークショップ開催 参加者20人

【成果】 小学4年生を対象に事前学習を行った上で夏休みに「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギーの取組を実践し、家族を含めた普及啓発ができた。

妻波公民館の改修に併せて、地元の方や町内事業者の方に協力をしてもらいながら公民館の一室に断熱材を入れる作業を通じて断熱について学習する断熱ワークショップを行った。公民館の断熱化ができるとともに、参加者の方は自分の家の断熱を考える良い機会となった。

また、この断熱ワークショップでは大栄中学校の「だいちゅーちゃんねる。」も参加し、動画で情報発信した。



断熱ワークショップの様子

④創エネ設備等設置費補助金事業 9,860千円 ※風のまちづくり事業充当 3,939千円

町内の住宅等に太陽光発電システムやその他の創エネルギー設備等を設置する者に設置費用の一部を補助した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	蓄電池等	HEMS
R3	15	81.74kW	1件	19件	
R4	17	82.17kW	0件	18件	
R5	16	85.77kW	1件	19件	2件

【成果】 太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助し、導入促進したことにより、エネルギーの自家消費が増加し、化石燃料由来電力の消費削減につながった。

⑤電気自動車急速充電器管理事業 536千円

- ・青山剛昌ふるさと館駐車場に設置している電気自動車急速充電器の管理を行った。

【成果】 EV車利用者の利便性を確保し、EV車の普及に貢献した。

⑥省エネ住宅リフォーム補助金事業 223千円

省エネ推進のため、断熱改修などの省エネリフォームに特化し、地元事業者要件も加えて改修費用の一部を補助した。

	R3年度	R4年度	R5年度
申請件数（件）	16	8	3
補助対象経費（千円）	11,209	4,789	750
補助金支給額（千円）	2,418	1,020	223

【成果】 快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めることができた。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 塵芥処理費	164,218千円	156,112千円

①塵芥処理事業 2,383千円

- ・ R6ごみ収集日程表作成 5,500部
- ・ リサイクルステーション管理
- ・ 国坂浜土砂捨場管理
- ・ 国坂浜土砂捨場進入路整備工事 1,265千円
- ・ 有害ごみ補助標識 購入 480ヶ（3種類）
- ・ ごみ収集所取り残しシール作成 4,000枚

②一般廃棄物収集事業 41,458千円

ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。

- ・ 委託業務 39,068千円

《収集量》 (単位：t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	有害ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
R3年度	3,204	134	-	216	80	82	19	26
R4年度	3,146	101	4	187	61	75	19	24
R5年度	2,974	92	4	166	56	72	17	26

ごみ収集所の設置や整備に必要な助成を行った。

- ・ ごみ収集所設置工事 1,988千円
- ・ ごみ収集所整備補助金 1 自治会

③広域連合負担金（ごみ）事業 94,411千円

ほうきリサイクルセンター（ごみ処理施設）、クリーンランドほうき（最終処分場）の管理運営に要した経費

- ・ ごみ処理費 84,196 千円
- ・ ごみ処理施設建設費 135 千円
- ・ 最終処分場建設費 10,080 千円

④再生資源収集委託事業 6,342千円 ※風のまちづくり事業充当 5,343千円

再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。

《収集量》 (単位：t)

	ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
R3年度	22	3	77	41	2	80	35
R4年度	24	3	70	41	2	76	36
R5年度	24	3	66	37	2	66	33

※令和6年3月8日に鳥取県中部の1市4町等とサントリーグループでペットボトルの「ボトルtoボトル」水平リサイクルに関する協定を締結しました。「ボトルtoボトル」水平リサイクルに伴い、新たな化石由来原料を使わず、何度も「ペットボトル」として循環でき、製造工程において約60%のCO2排出量が削減できます。

《廃食用油回収量実績》

	収集量 (kg)
R3年度	10,677
R4年度	8,279
R5年度	7,183

⑤再生資源回収団体事業 546千円

再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。
実施団体数 67 団体

《回収量》

	古紙	缶	びん
R3年度	161 t	23 t	1,021本
R4年度	159 t	24 t	780本
R5年度	144 t	22 t	626本

《廃棄物のリサイクル状況》

	総排出量 ①	うち再生資源 ②	リサイクル率 ②/①
R3年度	4,213 t	662 t	15.7%
R4年度	4,061 t	619 t	15.2%
R5年度	3,810 t	566 t	14.9%

⑥統一指定ごみ袋事業 7,413千円

町指定ごみ袋作成
大：350,000枚（700箱）
中：50,000枚（100箱）
小：90,000枚（180箱）

⑦海岸漂着物処理事業 3,009千円

海岸に漂着した廃棄物を撤去、処分するため沿岸16自治会に年3回程度の清掃活動を依頼して手数料を交付した。また、ボランティアで海岸清掃を行われる方々への協力、支援等を行った。

沿岸自治会実施状況

	のべ回数	参加人数
R3年度	41回	1,675人
R4年度	45回	1,960人
R5年度	44回	1,731人

⑧不法投棄対策事業 551千円

パトロールや不法投棄看板の貸出しの実施、また、廃棄物処分費用の補助を行った。

不法投棄防止啓発用看板

	貸出	看板作成
R3年度	4カ所5枚	50枚
R4年度	15カ所25枚	—
R5年度	11カ所25枚	20枚

撤去事業等補助金

	対象数	補助金額
R3年度	—	—
R4年度	1件	15,000円
R5年度	2件	97,000円

【成果】 ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの減量化・再資源化に対し、普及啓発を行ったため、ごみの搬入量が減少した。
地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとともに、環境保全意識の高揚を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 し尿処理費	6,634千円	6,347千円

①広域連合負担金（し尿）事業 6,347千円

クリーンセンター（し尿処理施設）の管理運営に要する経費
・クリーンセンター費 5,646千円 ・施設建設費 701千円

【成果】 クリーンセンターの維持管理に寄与した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	1 町営住宅管理費	8,526千円	8,365千円															
①町営住宅管理事業 7,393千円 2団地105戸を管理。 年度内の入居件数は3件、退去件数は7件で、3月末現在の入居率は81.90%となっている。 ・修繕費 1,858 千円 ・昇降設備保守 2,614 千円 ・消防用設備保守 279 千円 ・六尾北団地給湯器、換気扇取替工事 2,475 千円 ・町営住宅の入居状況（令和6年3月31日現在） <table><tr><td>団地名</td><td>管理戸数</td><td>入居戸数</td></tr><tr><td>由良宿団地</td><td>60戸</td><td>57戸</td></tr><tr><td>六尾北団地</td><td>45戸</td><td>29戸</td></tr><tr><td>町営住宅合計</td><td>105戸</td><td>86戸</td></tr></table>						団地名	管理戸数	入居戸数	由良宿団地	60戸	57戸	六尾北団地	45戸	29戸	町営住宅合計	105戸	86戸			
団地名	管理戸数	入居戸数																		
由良宿団地	60戸	57戸																		
六尾北団地	45戸	29戸																		
町営住宅合計	105戸	86戸																		
②民間賃貸住宅家賃補助事業 972千円 六尾北団地の用途廃止に伴い、民間賃貸住宅に移転された方への家賃補助を行った。 【成果】 適正に募集、管理し、入所希望者、入居者へ適切に住環境を提供した。																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	3 県営住宅費	818千円	735千円															
①県営住宅団地管理事業 735千円 県から3団地22戸の管理委託を受けている。 年度内の入居件数は1件、退去件数は0件で、3月末現在の入居率は95.45%となっている。 ・県営住宅の入居状況（令和6年3月31日現在） <table><tr><td>団地名</td><td>管理戸数</td><td>入居戸数</td></tr><tr><td>栄第1団地</td><td>8戸</td><td>7戸</td></tr><tr><td>栄第2団地</td><td>8戸</td><td>8戸</td></tr><tr><td>大野団地</td><td>6戸</td><td>6戸</td></tr><tr><td>県営住宅合計</td><td>22戸</td><td>21戸</td></tr></table>						団地名	管理戸数	入居戸数	栄第1団地	8戸	7戸	栄第2団地	8戸	8戸	大野団地	6戸	6戸	県営住宅合計	22戸	21戸
団地名	管理戸数	入居戸数																		
栄第1団地	8戸	7戸																		
栄第2団地	8戸	8戸																		
大野団地	6戸	6戸																		
県営住宅合計	22戸	21戸																		
【成果】 適正に管理し、入居者、入居希望者に適切な住環境を提供した。																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	9 六尾北団地用途廃止費	26,377千円	24,018千円															
①六尾北団地再整備事業 24,018千円 用途廃止に伴う入居者への譲渡に向け、分筆登記業務や上水道分離、ガス戸別供給化、倉庫撤去、舗装改修等の必要な工事を行った。 ・分筆登記業務 4,944 千円 ・所有権移転書類作成業務 343 千円 ・工事請負費（上下水道分離、ガス戸別供給化、倉庫解体、舗装改修等） 17,980 千円 ・アスベスト調査業務 435 千円 ・移転補償費 240 千円 【成果】 分筆登記、関連工事等を行い、譲渡に向けた準備を進めることができた。																				

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 農業委員会費	46,050千円	41,908千円

①農業委員会総務事業 21,782千円

総会開催等の委員会事務を行う。

- (1) 現員 26人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 13人
 (2) 総会開催状況 総会12回

・農地法事務処理状況
 処理件数

年度	R3年度	R4年度	R5年度
農地法第3条	18件	30件	32件
農地法第4条	1件	1件	3件
農地法第5条	19件	10件	12件
農地法第3条の3	72件	49件	153件
農地法第18条	85件	67件	92件
非農地証明	2件	3件	6件
2a未満転用	0件	3件	0件
土地改良届	0件	0件	1件

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定
 農地法第4条 : 所有者による農地の転用
 農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
 農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出
 農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約
 非農地証明 : 非農地であることの承認
 2a未満転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用
 土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況
 処理件数

年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用権設定（筆）	775筆	778筆	707筆
うち解除条件付	29筆	77筆	20筆
所有権移転	9件	11件	12件

・農地利用状況調査
 遊休農地の状況

年度	R3年度	R4年度	R5年度
再生利用が可能な農地	579,774㎡	639,567㎡	778,154㎡
うち田	129,607㎡	162,289㎡	213,245㎡
うち畑	450,167㎡	477,278㎡	564,909㎡

・農家相談の実施状況

農地などの困りごとについて、農業委員が相談を受ける。（毎月1回実施）

年度	R3年度	R4年度	R5年度
相談件数	15件	19件	21件

※ 令和3年1月から実施

・家族経営協定の新規締結状況

年度	R3年度	R4年度	R5年度
新規締結件数	4件	7件	5件

(3) 委員会活動状況

農地委員会 法人営農状況調査1回 (2法人)
 農政委員会 意見書提出
 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



法人営農状況調査



意見書提出



菜種

(4) 農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	R3年度		R4年度		R5年度	
軽微変更	1件	45㎡	2件	329㎡	2件	2,103㎡
重要変更	3件	1,554㎡	2件	3,816㎡	3件	1,338㎡

軽微変更 : 農業用施設用地への用途変更等

重要変更 : 農用地区域からの除外(農地転用)等

【成果】 農地法、農業経営基盤強化促進法、農振法の趣旨に基づき、農地を守り活かすことができた。

②農地流動化推進事業助成金事業 4, 238千円

認定農業者等の農地の賃借を助成金で支援し、経営規模の拡大と農地の流動化を図る。

・助成要件 令和5年1月1日から令和5年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者 (新規2,000円/10a、更新1,000円/10a)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者(人)	29人	41人	42人
うち家族経営協定締結者	7人	14人	15人
対象面積(㎡)	400,359㎡	527,578㎡	517,917㎡
うち家族経営協定締結者	29,261㎡	67,287㎡	82,891㎡

・認定農業者以外 (新規1,000円/10a、更新500円/10a)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者(人)	46人	40人	47人
うち家族経営協定締結者	5人	3人	5人
対象面積(㎡)	219,400㎡	172,271㎡	275,712㎡
うち家族経営協定締結者	28,736㎡	13,630㎡	40,208㎡

【成果】 認定農業者等の経営規模の拡大、農地の流動化、及び、遊休農地の解消を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 国有農地等管理処分費	24千円	24千円

①国有農地等管理処分事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行う。

【成果】 国有農地の有効活用を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 農業者年金費	1,041千円	1,041千円

①農業者年金事業 1,041千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行う。

・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者

年度	R3年度	R4年度	R5年度
新農業者年金	54人	57人	51人
うち新規加入者	3人	3人	1人

受給者

年度	R3年度	R4年度	R5年度
旧農業者年金	167人	143人	149人
新農業者年金	34人	35人	37人

【成果】 農業者に豊かで安定した老後の生活を提供できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	17 農地中間管理費	7,779千円	7,713千円

①農地中間管理事業 5,879千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図る。

・中間管理事業による実績

年度	R3年度		R4年度		R5年度	
マッチング (中間管理権設定)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)
	121筆	228,046㎡	128筆	231,092㎡	316筆	484,993㎡

【成果】 担い手への農地の集積を推進することができた。

②機構中間保有地再生活用事業 1,834千円

担い手経営体の育成と経営の強化のため、農地中間管理機構が行う荒廃農地再生に助成することにより、農地の集積と集約化による利用の効率化を図る。

【成果】 遊休農地が再生でき、担い手への農地の集積を推進することができた。



再生前

⇒



再生後

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	90,839千円	69,583千円
①上種・両高尾地区地域おこし協力隊事業 2,488千円 上種・両高尾地区地域の住民と連携しながら、有害鳥獣対策を行うなど地域の活性化となる活動を行った。 【成果】 地域の人と関わり合いを持った有害鳥獣駆除を通じて、上種・両高尾地域の活性化が図れた。					
②イチゴ産地化地域おこし協力隊事業 20,826千円 イチゴの栽培技術の習得に努めた。また先進地視察を行い栽培技術の向上を行った。その他にも、就農に向けた勉強会を行い、就農に向けて準備を行うとともに、自衛消防団に入団するなど地域住民との信頼関係構築に努めた。 【成果】 地域おこし協力隊として、イチゴの栽培技術を学び、基礎的な栽培技術を習得できた。また、地元のまつりへの参加・自衛消防団に入団する等の地域活動に参加し、地域の活性化が図れた。					
③ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業 7,621千円 (株)北条ワイン醸造所でワイン用ブドウ栽培を学んだほか、北条ワインのPR活動を行った。その他にも、居住地域において地域の清掃活動等に参加し地域住民との交流を深めた。 【成果】 年間を通した一連のブドウ栽培に加え、圃場管理者のもとでの成木の管理について学び、基礎的な栽培技術を習得できた。また、県外のイベントで町の特産品である北条ワインのPR活動を行い、地域の活性化が図れた。					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 農業総務費	74,864千円	73,067千円
①集落支援員事業 958千円 地域の巡回、点検及び状況把握に関する活動などや有害鳥獣の農作物被害調査、捕獲活動により集落支援を行った。 【成果】 有害鳥獣による被害調査・捕獲活動のほか道路に出た竹の除去、農道への落石除去など地域と連携した活動ができた。					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 農業振興費	286,514千円	215,485千円
①ブロッコリー産地の広域化等総合対策事業 793千円 ブロッコリーの産地化に向けた移植機導入支援1件、水田・畑作機械を活用したブロッコリー栽培の確立に向けた実証試験圃場の設置支援1件を行った。 【成果】 機械導入に伴う作業の省力化・効率化による栽培面積の拡大、並びに水田・畑作用機械を活用して実証試験圃を設置し、適正品種の選定、排水対策技術の確立、栽培経費の低コスト化等、栽培体系確立ができた。					



野菜移植機



野菜移植機

②経営改善支援活動事業 811千円

- ・認定農業者審査会報償費 16千円
*審査会：4回 審査件数：新規6件・更新19件
- ・農業経営基盤強化資金利子補助金 52千円
- ・果樹等経営安定資金利子助成 36千円
- ・果樹共済農家負担軽減補助金 81千円
- ・収入保険加入奨励金 140千円
- ・収入保険加入促進事業費補助金 485千円

(件)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
農業経営基盤強化資金利子補助	2	1	1
果樹共済農家負担軽減補助	31	28	23
認定農業者認定件数（新規）	40(19)	26(17)	25(6)

【参考資料】

認定農業者総数の推移	
R3	150人
R4	160人
R5	163人

【成果】 農業者の経営の安定と生産振興の支援につながった。

*所得380万円以上
1,800時間労働/年

③野菜価格安定対策事業 165千円

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業及び鳥取県ブランド野菜価格安定対策事業の資金造成に係る積立を行った。

【成果】 野菜の価格下落に対する農家の支援を行い、営農の継続につながった。

④農業振興補助金事業 12,017千円

- ・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 994千円
生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動等で活用する、PR用ポスターやチラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進を図った。
6生産部（長芋、大栄西瓜、花き、らっきょう、ぶどう、オリジナル野菜・ミニトマト）
- ・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,568千円
経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。
- ・鳥取梨生産振興事業費補助金 6,658千円
鳥取県育成オリジナル新品種（新甘泉など）の導入と生産拡大のための費用に対する支援を行った。
2件（梨の改植 10.99a、150本）
（育苗委託 10.99a、150本）
（育成奨励金 10.99a）
（防除用機械 1台）
- ・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 1,635千円
産地で振興する果樹の優良品種の導入、生産基盤の整備のための費用に対する支援を行った。
1件（防除用機械 1台）

(千円)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	874	884	994
経営所得安定対策推進事業費補助金	2,419	2,477	2,568
鳥取梨生産振興事業費補助金	2,018	5,646	6,658
戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金	10,608	9,927	-
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	13,947	743	1,635

- ・肥料価格高騰対策事業費補助金 161千円
化学肥料低減定着対策事業として、堆肥等国内資源活用肥料の利用拡大を支援した。
申請数 99件 事業費 4,382千円
国助成額を差し引いた額の1/3（実費上限）を助成。

【成果】 各補助事業の実施により、生産基盤の整備、産地の拡大、産地の活性化につながり、農業振興を図ることができた。

⑤がんばる農家プラン事業 21,604千円

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・白ネギ、ブロッコリー拡大プラン（3/3年目） 4,500千円
農機具倉庫
- ・ハウス野菜増産プラン（2/3年目） 4,500千円
パイプハウス、灌水資材、電気工事、循環扇
- ・ブロッコリー、施設野菜、芝規模拡大プラン（2/2年目） 999千円
乗用管理機
- ・花壇苗規模拡大プラン（1/2年目） 10,500千円
ハウス一式、苗床ベンチ、台車
- ・長芋、らっきょう生産拡大プラン（1/3年目） 1,104千円
機械保管庫、長芋定植機

R3年度		R4年度		R5年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
3	18,054	6	28,762	5	21,604

【成果】 農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

⑥担い手育成支援整備事業 10,099千円

新規就農者に対し、就農初期に必要な機械・施設導入に対する補助を行った。

- ・就農条件整備事業補助金
 - 自走式動力噴霧器、運搬車、管理機、パイプハウス（作業場）（西瓜） 1,311千円
 - パイプハウス（6m×50m×2棟）（小松菜） 3,394千円
 - 管理機、土壤消毒機、ブロードキャスタ（ねばりっこ） 570千円
 - 光合成促進機（いちご） 175千円
 - 運搬車（中古）、管理機、杭打機、灌水設備（西瓜） 530千円
 - 管理機（西瓜） 157千円
- ・経営発展支援事業補助金
 - 運搬車（ぶどう） 463千円
 - 高設ベンチ（いちご） 3,499千円

	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
就農整備	4	2,822	8	5,506	6	6,137
経営発展	—	—	1	1,380	2	3,962

【成果】 新規就農者の就農初期に要する経営基盤整備に係る負担の軽減を図ることができた。



パイプハウス（6m×50m）

⑦集落営農体制強化支援事業 3,277千円

集落営農の規模拡大に向けた機械導入などについて支援を行った。
トラクター、ウィングハロー

【成果】 機械整備することを支援することにより、農作業の効率化及び省力化を図り、組織の財政基盤を強化することができた。

⑧6次産業化モデル支援事業 167千円（町単独事業）

町内農産物を活用した加工品・メニュー開発及び販路開拓等を行う者に対して支援した。（1件）

【成果】 町内産フルーツトマトを原料として製造されたトマトジュースのラベル作成を行うことにより、新たな販路開拓に繋がった。

⑨もうかる6次化・農商工連携支援事業 360千円（県事業）

町内で事業を行っている者に対して、町内農産物を活用した新たなメニュー開発を支援した。（1件）

【成果】 ソフトクリームメーカーを導入し、自家製スイートコーンを使ったソフトクリームの加工販売を行えるようになったことで、店舗の魅力向上に繋がった。

⑩産地パワーアップ事業 128,215千円

- ・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 5,294千円
産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対する支援を行った。
西瓜 寒冷紗 36戸 154枚
- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 122,920千円
西瓜 鳥取型低コストハウス 18戸 83棟

年 度	区分	R3年度		R4年度		R5年度	
西瓜 寒冷紗	現年	63枚	-	178枚	-	154枚	-
西瓜 低コストハウス	現年	81棟	26,044㎡	109棟	29,262㎡	83棟	8,072㎡

【成果】 低コストハウスや寒冷紗の導入による栽培環境の改善により、産地・ブランド化の拡大につながった。また、作業効率の改善や栽培技術の確立により収量・品質等の収益性の向上が図られた。

⑪園芸産地活力増進事業 6,296千円

鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取り組みを支援した。

らっきょう植付機（6台）	3,536千円
らっきょう調整機（9台）	2,690千円
白ねぎ土寄せ機（1台）	70千円

【成果】 生産団体等の機材導入を支援することにより、作業省力化、生産供給環境の整備ができ、他の生産者への普及拡大も図れた。



らっきょう植付機

⑫農業経営サポート事業 250千円

- ・体験農園の管理委託 250千円
ドリームクラブに体験農園の管理を委託し、町内こども園園児とさつまいもの定植・収穫を行った。

【成果】 さつまいもの定植・収穫を通じて農業体験機会の提供と園同士の交流・若手農業者との交流を図ることができた。

⑬中部フェスタ事業 310千円

負担金により、「中部発！食のみやこフェスティバル」の開催に寄与した。

【成果】 北栄町内の飲食事業者や特産品、加工品等をPRする機会とし、地域での消費拡大につなげた。

⑭スマート農業社会実装促進事業 5,189千円

スマート農機の社会実装に向けて、農業用ドローン 2 件、GPS田植え機 1件の導入に関する支援を行った。

【成果】 スマート農機の導入支援を行うことにより、農薬、肥料の適正散布、作業時間の短縮による省力化、作業の高精度化を図り、持続可能な農業を推進できた。



農業用ドローン

⑮農産物PR事業 1,013千円

広島マツダスタジアム、東京都港区、滋賀県湖南市など、県内外での販売促進イベントに出展し、北栄町農産物の魅力を伝えた。

【成果】 現地での販売促進イベントを実施したことにより、消費地において北栄町産の農産物をPRする良い機会となった。また生産者の方にも販売促進に同行していただき、消費者の反応などに直接触れる機会となったことで販路拡大の一助となった。



広島マツダスタジアム

⑯戦略的園芸品目総合対策事業 365千円

県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の安定栽培のため、既設高設栽培ベンチの灌水資材等一式や、器具の導入を支援した。

【成果】 県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の反収・品質向上や、販売促進及び生産基盤強化に必要な作業環境整備が図れた。

⑰鳥取の花いきいき総合戦略事業 1,785千円

高度な技術が必要な育苗の委託や収穫調整機の導入等に対し体制整備の支援を行った。

【成果】 品質の安定した苗を定植することで安定して出荷本数を確保でき、調整機の導入で作業効率が向上した。

⑱ジャンボタニシ防除対策事業 332千円

町内水田においてジャンボタニシ（スクミリンゴカイ）による被害が拡大しているため、防除作業（農薬散布及び水口ネット設置）に対して補助金を交付した。

【成果】 7つの集落営農組織が農薬散布や水口ネットによる侵入防止を実施することにより、水稻被害の防止ができ安定した生産が維持できた。

⑨がんばる地域プラン事業 22,439千円

砂丘長芋・ねばりっこ「次世代産地創造」プラン実現に向けて、整備事業として機器講習会の開催・経費補助、新品種試験費の補助、栽培マニュアル動画作成、レシピ開発費の補助等、整備事業として収穫作業効率化が図れる機械（バックホー5台、トレンチャー11台）導入経費補助を行った。

【成果】 収穫機器の導入費や各種整備事業費を補助したことで、産地の経営基盤強化が図れたとともに、安全な収穫環境づくりが整備できた。



収穫用バックホー

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 担い手育成支援費	35,835千円	33,705千円

①担い手育成支援事業 33,705千円

- ・農業次世代人材投資資金（経営開始型）、経営開始資金 18,675千円
独立就農をする新規就農者に対して、就農から5年間の生活基盤安定のための補助を行った。また、営農等に関するサポートを行った。

R3年度		R4年度		R5年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
9	9,915	14	16,798	16	18,675

- ・親元就農促進支援交付金 10,600千円
親元で就農しようとする後継者の農業研修をサポートすることにより、地域の農業力の底上げを図るとともに、将来の地域農業の中心となる人材の育成を行った。

R3年度		R4年度		R5年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
12	11,800	14	9,000	12	10,600

- ・就農応援交付金 3,300千円
独立就農をする新規就農者のうち、農業次世代人材投資資金・経営開始資金の対象外となった者について、就農時から生活基盤安定のため補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

R3年度		R4年度		R5年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
4	1,985	3	1,950	3	3,300

- ・産地主体型就農支援モデル確立事業 620千円

主体的に後継者を確保し育成する仕組みのモデル確立を目指す組織に対して、研修に必要な設備等の整備や体制構築の取り組みに対して支援を行った。

【成果】 大栄西瓜組合協議会・大栄花き部会・長芋生産部・北条支所ぶどう生産部が主体となり、産地維持・発展に必要な新規就農者の確保、定着を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 農林業地域改善対策費	1,107千円	1,107千円
①国坂地区砂丘暗渠排水管理負担金事業 6 6 千円 地域改善対策事業で設置した暗渠について、砂堆積による放水口の閉塞を開削するため、維持管理をしている大野自治会へ開削費用を補助した。 【成果】 維持管理をしている自治会へ費用補助することにより、地元負担の軽減となった。					
②地域改善対策負担軽減事業 1, 0 4 1 千円 県営ほ場整備事業（21世紀水田対策大倉地区）に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。 【成果】 地元負担金及び経常経費を補助することにより、地元負担の軽減が図れた。					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 畜産振興費	7,735千円	6,622千円
①畜産振興事業 6, 6 2 2 千円 ・後口谷畜産団地西側伐採・集積作業委託料 487千円 後口谷畜産団地西側に繁茂している草木等の伐採した。 【成果】 敷地内及び敷地外に垂れ下がっている草木を伐採することで、適正な施設管理ができた。 ・鳥取県畜産推進機構負担金 25千円 ・畜産経営維持継続支援対策事業補助金 4,304千円 987頭の肉牛に対し肉用牛肥育経営安定交付金積立（新マルキン）補助金、2,660頭の肉豚に対し肉豚経営安定交付金制度（マルキン）負担金の一部を補助し、経営の維持継続を支援した。 【成果】 畜産農家の経営の維持継続の支援をすることができた。 ・乳牛改良事業補助金 1,803千円 優良乳用牛、優良精液、和牛受精卵の購入費の補助を行い、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産等を図り、安定した酪農経営を支援した。 【成果】 各酪農家へ優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保等の支援ができた。					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 農地費	109,098千円	82,449千円
①単町農業農村整備事業 5, 0 6 3 千円 町が管理する農道の除草、修繕等を行った。 ・農道管理委託料 1,763千円 シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会（スイカロード除草）等へ業務委託した。 ・水路管理委託料 957千円 妻波地内の水路流量確認測量設計業務を委託した。 ・農道修繕工事請負費 2,115千円 町管理農道の修繕を行った。 ・農道台帳管理費 228千円 【成果】 町が管理する農道等の適切な管理をすることで、営農環境の整備ができた。					

②ため池管理事業 779千円

北栄町内にある防災重点ため池（11箇所）及び北栄町に影響を及ぼす恐れがある琴浦町のため池（2箇所）の監視装置に係るシステム利用、点検保守費用

【成果】 ため池管理者による台風などの豪雨時での危険な現地確認作業の軽減や、異常気象時における迅速な避難実施の判断が可能となった。

③土地改良区地元負担軽減補助金事業 13,297千円

地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。（町道新設改良事業費償還金補助を含む）

・北条砂丘土地改良区関係	3,133千円
・北条水系土地改良区関係	4,636千円
・大倉土地改良区関係	1,904千円
・大栄町土地改良区関係	3,624千円

【成果】 土地改良区の運営費の一部を補助することにより、地元農家の負担軽減が図れた。

④県営土地改良事業費負担金事業 6,243千円

県営農業用河川工作物等応急対策事業（土地改良施設耐震対策事業）北条用水地区の市町村負担金 *国55%、県32%、倉吉市5.2%、北栄町7.8%

【成果】 北条用水の耐震工事を進めることにより、安心して営農できる環境整備を行っている。

⑤国営事業 18,780千円

・西高尾ダム周辺施設維持管理委託料	1,570千円
・国営東伯地区維持管理事業負担金	7,245千円
・国営東伯地区基幹水利施設更新事業負担金	9,913千円

【成果】 対象施設の適切な維持管理が図れた。

⑥ふるさと活性化基金積立金事業 17,554千円

多面的機能支払交付金活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うための貸付（交付金交付時に償還）をするために、ふるさと農村活性化基金積立金を積立した。

【成果】 基金を活用して貸付事業を行うことで、国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動ができている。

⑦団体営農業農村整備事業 15,633千円

・工事請負費	12,293千円
--------	----------

農業への利用が見込まれず、ため池が決壊した場合に民家や公共施設などに被害を及ぼす恐れがあったため、ため池の開削工事を行った。

【成果】 ため池を廃止したことにより、ため池の決壊による水害を防止し、下流域の民家等の安全を確保する事ができた。

・農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金	1,123千円
----------------------	---------

国営東伯地区の施設整備補修工事について、町負担金を負担した。
*国55%、県22.5%、町22.5%（琴浦町62.2%、北栄町37.8%）

【成果】 東伯地区土地改良区連合の事業費を負担することにより、農家の負担軽減となった。

・農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金	2,218千円
----------------------	---------

大栄町土地改良区が既存施設の機能診断結果に基づいて施設を修繕、更新する費用に対して、補助を行った。

【成果】 土地改良区に事業費を補助することにより、農家の負担軽減となった。

⑧土地改良区地元負担軽減（燃料高騰対策）補助金事業 4,391千円

農業水利施設を管理する事業者に対して、電気料金高騰分を補助した。

北条砂丘土地改良区 4,053千円

大倉土地改良区 338千円

（財源）新型コロナ臨時交付金（価格高騰支援分）4,391千円

【成果】 農業水利施設を維持管理する土地改良区に対して、令和3年度と比較して高騰した電気料金を補助することにより、地元農家の負担軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 中山間地域等直接支払費	176千円	176千円

①中山間地域等直接支払事業 176千円

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等（東高尾地区）における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
協定数	1	1	1
対象用地	15,689㎡	15,689㎡	15,689㎡

※協定期間 R2～R6（第5期）

【成果】 中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 有害鳥獣防除費	2,009千円	1,361千円

①有害鳥獣防除事業 1,361千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農産物への被害を防いだ。

- ・鳥獣被害対策実施隊報酬 195千円
- ・ヌートリア等対策講習会講師謝金 8千円
- ・射撃環境支援事業補助金 18千円

有害鳥獣捕獲に従事する者の射撃練習に係る費用を支援し、野生鳥獣の保護管理を図った。

- ・ヌートリア等捕獲奨励金 1,051千円
- ・カラス一斉駆除用弾代等消耗品 32千円

（匹、頭、羽）

捕獲・駆除	奨励金	R3	R4	R5
ヌートリア	3,000円	94	91	94
イノシシ	10,000円	74	26	70
カラス	1,000円	42	129	90
シカ	猟期外10,000円	6	6	5
アナグマ	3,000円	10	9	5

*シカの捕獲については、猟期（11/1～2月末）は奨励金5,000円。

【成果】 実施隊による捕獲を積極的に行ったことにより、農作物等への被害軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 多面的機能支払交付金費	102,321千円	102,130千円
①活動支援推進交付金事業			102,130千円		
・多面的機能支払交付金			86,870千円		
・広域化事務局補助金			160千円		
地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。					
25の組織のうち24の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となった。					
ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付（無利子）事業を行った。（多面広域協定）					
（取組組織数）					
			R3年度	R4年度	R5年度
多面的機能（農地維持、資源向上（共同））活動支援交付金			25 （うち24は広域）	25 （うち24は広域）	25 （うち24は広域）
多面的機能（資源向上（長寿命））活動支援交付金			24 （いずれも広域）	24 （いずれも広域）	24 （いずれも広域）
【成果】 各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。					
（組織数 2）広域協定組織、東高尾清流の郷					
（広域協定組織数 24組織は下記のとおり）＊順不同					
江北環境保全会		西園みどりの会		下種地域ふるさと保全会	
弓原地区農地・水・環境保全会		六尾農地保全の会		妻波地区農地・水・環境保全会	
下神地域環境保全隊		瀬戸みどりネット		大谷ふるさと愛創会	
松神豊かな郷		原農村資源保全協議会		TMA（田井）	
北尾環境活動組織		穂波水とみどりの会		北条島地区水田耕作者の会	
米里農地保全の会		大島みどりと水を守る会		上種ふるさとを守る会	
まがり美土里グループ		西穂波地区環境保全会		中北条水田を守る会	
東園環境保全活動組織		亀谷環境保全会議		由良別所地域水田耕作者の会	
・多面的機能支払交付金推進貸付金			12,650千円		
ふるさと農村活性化基金積立金を活用して、多面的機能支払の活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うために貸付をした。（多面的機能支払交付金交付時に償還）					
【成果】 国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動ができている。					
●ふるさと農村活性化基金（＊R6.3.31現在）					
			R5年度		
基金残高			17,554,313円		

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	35,958千円	35,661千円
①しっかり守る農林基盤整備事業			35,661千円		
・実施設計委託料			374千円		
・整備工事請負費			7,192千円		
・整備碎石購入費			155千円		
・基盤整備補助金			27,900千円		
農道補修、用排水路補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、災害による災害復旧などを行った。					
【成果】 農業生産基盤の改良、新設及び改修等が図れた。					

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	4,109千円	4,109千円

①土地改良施設維持管理適正化事業 4,109千円

土地改良区が、施設整備・補修・維持管理事業を行うために必要となる事業費を、5年間均等に分けて鳥取県土地改良事業団体連合会を通じて全国連合会に積立拠出するため、その費用を補助した。

＊国30%、県30%、町30%、土地改良区10%

・北条砂丘土地改良区関係 3,888千円 ・北条水系土地改良区関係 120千円

・大倉土地改良区関係 101千円

【成果】 土地改良区が実施する事業費の一部を補助することにより、農家の負担軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	28 気象災害等対策費	4,468千円	1,201千円

① 気象災害対策事業（繰越） 960千円

令和5年1月の大雪により被害を受けたパイプハウス等の復旧を支援した。

【成果】 早期に災害前の営農を行えるよう支援できた。

②緊急防除支援事業 241千円

湯梨浜町地内の水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞葉枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害虫緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。また、令和5年8月の台風7号により被害を受けた白ネギの病害虫蔓延防止のため、緊急防除に要する経費の支援を行った。

【成果】 生産者が安心して継続的に生産活動できるよう、生産者の営農意欲向上が図れた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 林業振興費	7,232千円	6,269千円

①枯松伐採促進事業 1,174千円

松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

＊ 事業体：1団体8個人

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
枯松伐採	7本	9本	87本	144本	152本

【成果】 枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大の防止につなげた。

②林業労働者福祉向上推進事業 136千円

林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。

＊ 事業体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団

【成果】 林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の確保及び就労条件の改善を図れた。

③林業関係負担金事業 37千円

(社)鳥取県緑化推進委員会負担金	17千円
鳥取県治山林道協会負担金	10千円
天神川流域林業活性化センター負担金	10千円

【成果】 地域の森林整備により森林の公益的機能の充実を図れた。

④森林整備担い手育成対策事業 350千円

林業労働者の福利厚生の充実を図るため、林業労働者の育成・確保の助成を行った。

⑤間伐材搬出促進事業 2,174千円

間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。

* 事業体：鳥取県中部森林組合

(ha)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
伐採面積	8.29	5.94	6.76	3.69	13.75

⑥森林クラウドシステム整備事業 704千円

県・町・林業事業体が共有して森林情報を管理するシステムの整備を行った。

【成果】 森林情報の更新を行うことで林業事業の推進に役立った。

⑦森林経営管理事業 1,694千円

森林環境譲与税を活用し、新たな森林管理システム推進センターの支援を受け、森林経営管理制度における経営管理意向調査及び経営管理権集積計画作成業務を行った。

経営管理意向調査業務 1,694千円

【成果】 調査結果をもとに、森林経営管理計画を策定した。

●森林環境譲与税積立金 (*R6.3.31現在)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
基金残高	6,643,274円	641,699円	0円

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	2 松くい虫防除費	60,058千円	46,618千円

①松くい虫防除事業 46,618千円

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除や樹幹注入防除のほか、被害木の伐倒駆除を実施した。

令和5年度は松枯れの被害拡大に早期に対応するため、県内事業者の協力や有識者も含めた特別対策会議を開くなど特別対策を行った。

業務内容	R5年度	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	59ha	6,154千円
松くい虫防除地上散布	5ha	1,138千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	717.3m³	26,617千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除(※)	1式	10,814千円
養蜂群移転補償	1式	346千円
樹幹注入防除委託料	76本	1,320千円



松くい虫防除空中散布

※保全松林周辺被害木伐倒駆除(単町事業)は森林環境譲与税を活用

業務内容	R3年度		R4年度	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	59ha	5,821千円	59ha	5,779千円
松くい虫防除地上散布	7.5ha	1,558千円	7.5ha	1,587千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	1,235m ³	37,327千円	1,975.3m ³	78,500千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	1,490千円	1式	10,773千円
養蜂群移転補償	1式	433千円	1式	415千円

【成果】 松くい虫防除及び、松くい虫被害木の徹底伐採を行い、農業への影響をおさえた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 松林保全対策費	696千円	667千円

①松林保全推進事業 667千円

広葉樹（トベラ・マサキ・ネズミモチ）の苗木の購入を行い、関係者に配布し、地区保全松林の保全を行った。

* 5地区（曲、下神、松神、西園、東園）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
購入本数	1,020本	1,530本	1,445本	2,000本	1,758本
地区数	4	4	5	6	5

【成果】 広葉樹を配布して各地区に植栽してらうことで、松林の再生・管理につなげた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 竹林整備費	754千円	539千円

①竹林整備事業 539千円

・ 竹林整備事業補助金 534千円

放置竹林を整備（伐採）する費用に対し、豊かな森づくり協働税を活用し支援を行った。

* 施行地面積が0.1～1.0ha未満（補助率8/10）

整備面積 0.15ha

整備箇所 1か所（曲）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
伐採本数	2,320本	1,196本	1,360本	10,224本	2,040本
箇所数	1	1	1	2	1

【成果】 竹林の拡大防止と森林環境の改善が図られた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 商工振興費	1,712,136千円	677,383千円

①商工振興事業 6,299千円

- ・商工会育成補助金 6,000千円
商工会が行う経営支援事業、交流事業、地域活性化事業に補助し、商工業者の活動を支援した。
また、商工会員の事業所を訪問して、聞き取りや支援策の提案などを行った。

商工会育成費補助金

R3年度		R4年度		R5年度	
会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）
402	5,800	400	6,000	410	6,000

※会員数は年度末の数字

【成果】 商工会の経営支援事業及び地域総合振興事業に対して補助金を交付することで、商工振興の取り組みを支援できた。組織率（会員数/町内事業者数）は、町内事業所数の70%を超え、多くの町内事業者の活動支援につながった。

②マル経融資利子補助事業 72千円

事業者の経営改善のために経営改善貸付（マル経融資）を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
件 数	13	11	4	5
補助金額（千円）	385	205	96	72

【成果】 経営改善に取り組む事業者の負担を軽減し、間接的に中小企業の発展の一助になった。

③中小企業支援事業 332千円

町内企業PRによる人材確保、ビジネスマッチングを目的として、町内企業42社の紹介をメインに、移住希望者向け支援策なども盛り込んだ『北栄町企業ガイドブック』を500部作成した。

【成果】 町内小中学校や中部地区各高校、ハローワークに配架するとともに、新成人や移住希望者などに配布して、就職につながるよう地元企業を紹介できた。

④企業立地及び雇用促進事業 5,340千円

- ・企業立地等促進奨励金 5,040千円
事業所の新增設に伴う投下固定資産税相当額を奨励金として支給した。
*該当企業に対し3ケ年間助成を行うもの。
12件（新規：2件 継続：10件）
- ・雇用促進奨励金 300千円
事業所の新增設に伴う新規雇用に対し、一人当たり30万円の奨励金を支給した。

【成果】 企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展につながり、地域経済の活性化の一助となった。

⑤ほくえい味覚体験促進事業 100千円

三朝温泉の観光情報冊子「MisasaNavi」及びスマートフォンなどで閲覧できるデジタルマップ「こいこmap」に、北栄町内の観光農園の情報を掲載した。青山剛昌ふるさと館の観光農園MAPを更新した。

【成果】 町内外からの観光客の誘客を促し、本町の農産物の魅力にふれていただくきっかけとなった。



こいこmap

⑥就労・創業支援事業 8,397千円

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

北栄町創業支援事業補助金 5件、5,678千円

飲食業（2件）、小売業（1件）、宿泊業（1件）、サービス業（1件）

由良宿まちづくり活性化支援事業補助金 2件、2,719千円

飲食業（1件）サービス業（1件）

＊由良宿地域において、対象業種を飲食業・小売業・宿泊業に業種を絞り、にぎわい・経済循環を生み出し観光地としての魅力を高めることを目的とする。

【成果】 創業時の初期投資に係る負担軽減を図ることで、町内産業の振興に繋がった。

⑦砂丘地振興基金積立金事業 1千円

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

(千円)

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
基金残高	83,456	56,606	47,534	28,993

※基金から道の駅ほうじょう再整備に係る造成工事、舗装工事、建築工事（いずれも繰越事業）等の財源 18,541千円を取り崩したことによる残高の減額。

【成果】 基金残高としては減額となったものの、道の駅ほうじょう再整備事業に取り崩した基金を充当して砂丘地振興を図るとともに、資金運用による預金利子を積み立てることができた。

⑧道の駅北条公園再整備事業 476,206千円

実施設計に基づき、造成工事（※）、舗装工事（※）、建築工事（※）等を進め、事業に必要な用地買収も行った。また、新名称を全国から公募し、道の駅ほうじょうに決定した。（（※）は、令和6年度への繰越事業）

【成果】 各種工事を進め、令和7年4月のリニューアルオープンに向け概ね順調に進捗させることができた。

また、新名称の公募やロゴマークの決定等により、機運を高めることができた。



ロゴマーク

⑨道の駅北条公園再整備事業（繰越） 55,325千円

基本設計に基づき、土木実施設計、建築実施設計を進め、粗造成工事を完了させた。

【成果】 道の駅ほうじょうの実施設計及び粗造成工事が完了し、造成工事、舗装工事及び建築工事につなげることができた。



南エリア整備イメージ

⑩新型コロナ対策利子補助事業 18,726千円

新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。

	R3年度	R4年度	R5年度
件数（事業者）	58(43)	79(60)	240(175)
補助金額（千円）	13,149	15,314	18,726

【成果】 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた中小事業者の事業継続を支援できた。

⑪町内消費拡大支援事業 4,902千円

商工振興とまちづくりへの参加促進を図り、北栄町商工会が実施する「キャッシュレス決済・地域ポイントカード事業（ほくほくカード）」を後押しするため、町が実施する講演会等に参加した町民に対しポイントを付与した。

【成果】 480万7千ポイントの公共ポイントを町民へ付与し、まちづくりの賛同者を増やすとともに、町内での消費拡大につながった。



ほくほくカード

⑫地域経済変動対策資金利子補助事業 1,993千円

燃油価格及び原材料価格の高騰等により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。

燃油及び原材料価格高騰資金利子補助 1,247千円
エネルギー・原材料価格高騰資金利子補助 746千円

		R4年度	R5年度
燃油及び原材料価格高騰	件数	7	13
	補助金額（千円）	510	1,247
エネルギー・原材料価格高騰	件数		9
	補助金額（千円）		746

【成果】 中小事業者の事業継続を支援した。

⑬複業人材活用支援事業 899千円

人手や知見を求める町内事業者と複業を求める都市部人材（以下「複業人材」という。）とのマッチングを通じて、複業人材から技能等の提供を受けて経営課題解決や事業進展を図った。

複業人材活用コーディネート業務 840千円
はじめての複業活用支援補助金 59千円

	R5年度
件数	1
補助金額（千円）	59

【成果】 複業人材の知見を活用することにより事業所の課題解決を図り、売上増に繋がった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	111,866千円	56,993千円

①北栄砂丘まつり交付金事業 7,233千円

※風のまちづくり事業充当 7,233千円

・第16回北栄砂丘まつり

期 日 令和5年8月20日(日)

会 場 お台場公園多目的広場

【成果】 町民参画によるまつりを支援したことで、町民同士のつながりを強め、さらに町民のまちづくりへの関心を高めることができた。



北栄砂丘まつり

②国内外の交流推進事業 935千円

【成果】 本町と友好交流協定を結んでいる滋賀県湖南市と、相互の夏まつり等への出店などを通じて相互交流を深め、関係人口の増加に寄与した。
※台湾台中市大肚区との青少年訪問団を計画していたが、新型コロナウイルスの影響を勘案し、事業を中止した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	90,839千円	69,583千円

①北栄暮らし支援事業 37,477千円

- ・移住者住宅取得支援補助金 19,885千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・定住者住宅取得補助金 5,650千円
- ・空き家利活用流通促進事業補助金 6,775千円(県1/2)
- ・家財道具等処分補助金 600千円
- ・移住支援員の配置 2,411千円(県1/2)

【実績】

事業名	R3年度	R4年度	R5年度
移住相談会	7回※全てオンライン	6回※1回現地参加	7回※3回現地参加
移住者住宅取得支援補助金 (移住奨励金と若年層移住定住者住宅取得支援補助金を合わせた補助金)	-	-	69人/23件
移住奨励金	103人/34件	70人/25件	-
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	26件	21件	-
IJUターン空き家改修支援事業補助金	0件	0件	1件
家財道具等処分費補助金	1件	0件	4件
定住支援住宅取得補助金	35件	25件	15件
空き家利活用流通促進事業補助金	4件	0件	8件
Uターン就職活動交通費助成事業補助金	1件	0件	-
移住支援員配置	1人	1人	1人

北栄町への移住・定住を推進するため、オンライン移住相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。

【成果】 PRを行ったことで移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示することに繋がった。
移住者や若年層の住宅取得に対する補助などを行い、移住・定住の促進を図ることができた。また、町内者へも住宅取得に対する補助を行い定住を促進することができた。
町内外問わず幅広い支援を行うことで、町内に住み続けたいと思う動機付けができた。

②おためし住宅事業 485千円

・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・委託費・通信費・修繕費 485千円

【実績】

	R3年度	R4年度	R5年度
人数/利用件数	-人/-組	-人/-組	19人/8組

県外の移住相談等でおためし住宅のPRを行い、利用促進を図った。
4月から182日間稼働した。

【成果】 おためし住宅に滞在していただくことで、移住に向けた就職活動の拠点、北栄町での暮らし体験、北栄町を知るきっかけとなった。また、北栄町的生活環境、雰囲気等を体験していただくことで、移住人口だけでなく、北栄町のPRにも貢献できた。

③ほくえい魅力発見！事業 267千円

町内の小中学生等に将来Uターンしたい・住み続けたいと思ってもらえるよう、また県外者に北栄町を知り好きになってもらう機会の創出を目的とし、ほくえいフォトコンテストを行った。

- ・ほくえいフォトコンテスト
ワークショップ（講師：町内在住の写心家大塚健一朗氏） 参加者13人
フォトコンテスト 応募者34人
公開審査会 参加者22人

【成果】 フォトコンテストやワークショップを開催し、町内の小中学生等が参加することにより、北栄町の魅力を再発見してもらう機会を創出した。

④若者等交流推進事業 86千円

県外者（都市部の学生等）と北栄町を、お手伝いを通じてつなぐ「おてつたび」を活用し、地域体験を通じ新たなつながりを創出した。

- ・受入事業所 株式会社北条ワイン
受入人数 3人（岡山県、長野県、岐阜県）
受入期間 3月26日～28日
作業内容 ワイン用ブドウの生育管理

【成果】 作業内容に関心のある県外の若者等が、作業を通じて本町の農業・観光資源や人柄に触れることにより新たなつながりを創出した。また、事業所の人手不足の解消や従業員への刺激、SNSによる継続したつながりが創出された。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 観光費	192,771千円	87,561千円

①観光振興事業 22,564千円

観光施設を整備して受け入れ態勢の向上を図り、関係団体と連携して観光案内や情報発信を進め、誘客宣伝を図った。

- ・各種手数料（遊具点検等） 400 千円
- ・各種業務委託 3,143 千円
（観光パンフ作成保管配布、観光施設草刈り、鳥取空港観光案内等）
- ・お台場公園遊具設置工事 5,775 千円
- ・観光施設等修繕工事 8,503 千円
- ・関係団体等負担金 995 千円
（鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、道の駅連絡会等）

【成果】 コロナが5類へ移行後も、施設整備や観光案内、情報発信を進め、集客回復を見込んだハード、ソフト両面の整備を継続して進めた。

②観光施設指定管理者委託事業 17,396千円

4か所の町有施設に指定管理者を置き、サービスの向上と運営の効率化を図った。

- ・観光施設指定管理委託料 16,873 千円
- <内訳> 北条海浜広場 } 5,108 千円
 - 蜘蛛ヶ家山山菜の里
 - お台場公園 5,815 千円
 - レークサイド大栄 5,950 千円
- ・土地賃借料（北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板） 496 千円

年間利用状況（利用者数）

区 分		R3年度		R4年度		R5年度	
オートキャンプ場		8,623人		9,433人		9,736人	
お台場公園		30,861人		44,219人		59,831人	
レークサイド大栄		38,717人		42,465人		40,167人	
主催グラウンドゴルフ大会	一般	31回	6,429人	53回	9,090人	53回	9,501人
	会員	6回	664人	5回	674人	8回	815人

【成果】 指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで利用者の利便性の向上を図った。

③コナンのまちづくり事業 45,169千円

- ・観光PRチラシ（石製モニュメント、ゆらまちウォーク等）の制作 330 千円
- ・公用車ラッピング委託料（3台） 697 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催（委託先：北栄町観光協会） 8,549 千円
 （R5開催委託分 7,099千円、R6（R5）開催委託分 1,450千円）
 （R5累計入場者数22,440人、R5入場料収入8,473千円（町収入分））
- ・名探偵コナン巨大迷路看板パネル制作設置業務委託 651 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路改修等工事 384 千円
- ・青山剛昌ふるさと館再整備基本計画策定検討会 26 千円
- ・【繰越事業】青山剛昌ふるさと館再整備基本計画策定委託 25,328 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金（交付団体：2団体） 2,730 千円

【成果】 集客催事として巨大迷路を開催し、コナン通りの受け入れ環境を整備することで、「名探偵コナンに会えるまち」を内外に発信し続け、町内への周遊を促進し賑わいを創出することができた。

また、青山剛昌ふるさと館について、現在運営している施設の狭隘性やバリアフリー化、貴重な所蔵品の収蔵・保管等の課題を解消し、まちづくりの拠点として整備するため、館の再整備基本計画の策定に向けた検討会を行い、令和5年6月に基本計画を策定した。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業 2,413千円

- ・大栄農村環境改善センター窓ガラス面ラッピング施工 950 千円

【成果】 ジン&ウォッカカラーオブジェの前にある建物の窓を装飾したことで、エリアとしての新たな魅力創出となり、ファンや観光客、住民の方の関心を高めることができた。



大栄農村環境改善センター窓ガラス

⑤青山剛昌ふるさと館再整備事業 18千円

・建築基本設計業務プロポーザル審査委員会

18千円

【成果】 プロポーザル審査により、確かな技術力や高度な発想、創造力を有する最適な設計を行う建築基本設計業務の優先候補者を選定することができた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 お台場公園サービスエリア費	3,706千円	3,537千円

①お台場公園サービスエリア管理事業 3,537千円

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

- ・トイレ清掃委託料 2,440千円
- ・トイレトーパー等消耗品購入費 1,053千円

年間利用状況（利用者数）

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
レストラン・売店	18,902人	23,201人	53,579人
農産物直売所	230,004人	240,927人	248,830人
計	248,906人	264,128人	302,409人

【成果】 お台場公園サービスエリア（道の駅大栄）の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。



道の駅大栄

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額	
		目	7 環境衛生費	25,389千円	22,585千円	
①合併処理浄化槽整備事業 30千円						
		年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		補助事業費	435千円	1,265千円	0円	
・ 浄化槽推進協議会会費、浄化槽台帳システム共同整備負担金 30千円						
・ 合併処理浄化槽設置費補助金 0千円						
【成果】 令和5年度の設置基数は無し。						
②合併処理浄化槽特別会計繰出金事業 11,590千円						
		年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		繰出金	4,441千円	4,994千円	11,590千円	
【成果】 合併浄化槽特別会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。						
款	4 衛生費	項	3 上水道費	予 算 現 額	決 算 額	
		目	1 上水道施設費	338千円	338千円	
①上水道事業会計繰出金事業 338千円						
		年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		繰出金	140千円	336千円	338千円	
【成果】 水道事業会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。						
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額	
		目	4 農業総務費	74,864千円	73,067千円	
①農業集落排水特別会計繰出金事業 7,710千円						
		年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		繰出金	9,185千円	9,437千円	7,710千円	
【成果】 農業集落排水特別会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。						
②集落排水事業推進基金積立金事業 1千円						
		年度	R3年度	R4年度	R5年度	うちR5 利息
		基金残高	5,210千円	4,176千円	3,143千円	1,252円
【成果】 基金利息分の積立を行った。						

款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 土木総務費	91,561千円	84,085千円

①土木総務事業 823千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,793千円	2,022千円	823千円

- ・消耗品購入 113千円
図書（災害手帳、積算単価ほか）、ファイル等
- ・車両（軽ダンプほか）等燃料ほか 181千円
- ・不動産鑑定料、印紙税等 505千円
- ・公用車車検（自賠責保険） 18千円
- ・公用車車検（重量税） 7千円

【成果】 業務に必要となる資機材の整備等を行い、道路管理等の円滑な実施に寄与した。

②土木総務関係負担金事業 331千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	248千円	295千円	331千円

- ・職員研修受講料 4千円
- ・道路建設関係団体負担金（分担金） 297千円
鳥取県道路利用者会議、国道313号整備促進期成同盟会、中国国道協会、
国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会、日本道路協会
- ・海岸・治水砂防・道の駅等負担金（会費） 30千円
全国治水砂防協会鳥取県支部

【成果】 大規模事業等の予算確保に向けた要望活動等を行い、事業推進に寄与した。

③震災に強いまちづくり促進事業 14,436千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	5,833千円	1,989千円	14,436千円

- ・木造住宅耐震診断業務委託料（建築士協会）629千円
- ・震災に強いまちづくり促進事業補助金 2,667千円
- ・建築物耐震改修時等促進補助金 11,140千円

（内訳）

無料診断5戸、有料診断2戸
ブロック塀改修・撤去3件
耐震改修補助（建替） 1戸
耐震改修補助（除却） 1戸
耐震改修補助（妻波自治公民館） 1棟

【成果】 危険なブロック塀の除却（撤去）改修をすすめることができたほか、住宅の耐震化についても地道に啓発を続けており、年間数件ずつではあるものの、継続的に耐震改修工事が行われており、町内住宅の耐震化に寄与することができた。

着工前



完 成



妻波自治公民館

④法定外公共物事業 3, 1 2 1 千円

④-2 【繰越】 5 7 9 千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,134千円	4,501千円	3,700千円

- ・除草作業 99千円
- ・舗装修繕 2,132千円
- ・標識・視線誘導標設置 113千円
- ・暗渠排水土砂撤去【西新田場】 66千円
- ・岩坪法面修繕 281千円
- ・U字溝修繕 412千円
- ・原材料（常温合材）購入 18千円
- ・水路清掃【繰越】 94千円
- ・舗装修繕【繰越】 260千円
- ・構造物修繕【繰越】 150千円
- ・U字溝修繕【繰越】 76千円

【成果】 法定外公共物等の維持管理を行い、受益者の安全・安心の確保に寄与した。

着工前



完 成



法面修繕（岩坪地区）

⑤勤労者体育センター法面崩壊災害復旧事業 3 6 4 千円

⑤-2 【繰越】 1 0, 8 2 1 千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	69,029千円	62,518千円	11,185千円

- ・工事影響に伴う建物等損傷費用負担 364千円
- ・地盤変動影響調査業務【繰越】 9,513千円
- ・事後調査（算定）業務【繰越】 1,308千円

【成果】 R3.7豪雨により被災した勤労者体育センターの法面復旧を行い、周辺住民の安全・安心な生活の確保に寄与した。

着工前



完 成



勤労者体育センター法面崩壊災害復旧

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 道路維持管理費	245,752千円	224,095千円

①道路維持管理事業	60,067千円
①-2 【繰越】	23,322千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	90,264千円	86,273千円	83,389千円

- ・除雪関連費用①-1 (町道) 12,223千円 (*社交金充当外分)
 - 冬期除雪 町内全域 1/24-1/26 (10,776千円)
 - 除雪機械リース、破損修繕等 (1,447千円)
- ・除雪関連費用② (消雪装置維持管理ほか) 4,848千円
 - 電気料金、巡視点検整備、凍結防止剤購入等
- ・橋梁点検用具、騒音防止材、除草剤ほか 120千円
- ・町道除草伐木委託料 9,293千円
 - 【繰越分】 4,157千円
- 通学路、幹線町道等
- ・道路台帳システム保守 132千円
- ・道路補修設計 5,203千円
 - 【繰越分】 2,871千円
- ・土木積算システム 523千円
- ・GPS除雪管理システム 3,319千円
- ・維持修繕関係費 (道路補修原材料購入含む) 23,428千円
 - 【繰越分】 16,294千円
- 道路維持修繕 町道側溝修繕工事 19件
 - 主な工事内容：舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、原材料費 等
- ・除雪機械運転手育成支援事業補助金 977千円

伐採前



伐採後



町道育英南線(由良宿地区)

【成果】 町管理道路の維持修繕等を行い、利用者に安全で快適な走行環境を提供した。

②道路メンテナンス事業	17,219千円
②-2 【繰越】	52,988千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	16,468千円	52,104千円	70,207千円

- ・測量設計業務委託 1,367千円
- ・測量設計業務委託 【繰越分】 1,760千円
- ・橋梁修繕工事 5橋 15,851千円
- ・橋梁修繕工事 4橋 【繰越分】 51,228千円

【成果】 橋梁の老朽化対策として9橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。

着手前



完成



駅南歩道橋橋梁修繕工事

③緊急自然災害防止対策事業 70,500千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	-	71,676千円	70,500千円

・舗装修繕関係費 70,500千円

舗装長寿命化工事 4件（4路線）

着手前



完成



町道由良大谷線(妻波地区)

【成果】 必要に応じて町道等の維持管理を行うことにより、安全な交通を確保した。

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	2 道路新設改良費	326,296千円	198,417千円

①社会資本整備総合交付金事業 36,986千円

①-2 【繰越】 91,605千円

社会資本整備総合交付金は、これまでの国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫が活かせる総合的な交付金制度として創設されました。道路、港湾、治水、下水道、海岸、都市公園、市街地整備、住宅及び住環境整備等といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を国が総合的・一体的に支援する制度です。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
交付金事業費	251,488千円	184,948千円	128,591千円

- ・除雪関連費用①-2（町道） 2,909千円（※道路維持管理費除外分）
- ・除雪管理システム導入 1,100千円
- ・積雪深等自動測定器設置 1,920千円
- ・測量設計業務委託 6,687千円
- 町道4路線（育英東線、田井2号線外、みどり江北線、米里19号線外）
- 【繰越分】 10,681千円
- 町道5路線（育英東線、田井2号線外、米里北尾線外、みどり江北線、原道線外）
- ・道路改良工事 19,708千円
- 町道3路線（育英東線、田井2号線外、みどり江北線）
- 【繰越分】 70,766千円
- 町道3路線（育英東線、米里北尾線外、みどり江北線）
- ・用地取得、用地補償（物件移転） 4,663千円
- 町道4路線（育英東線、高千穂西穂波線、田井2号線外、米里12号線）
- 【繰越分】 10,158千円
- 町道5路線（育英東線、田井2号線外、米里北尾線外、みどり江北線、米里19号線外）

着手前



完成



町道みどり江北線道路改良工事

【成果】 冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、利用者の安全で快適な走行環境を提供した。

②通学路安全対策事業 27,405千円

②-2 【繰越】 42,421千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
補助事業費	33,904千円	9,041千円	69,826千円

- ・測量設計業務委託 11,251千円
町道3路線（松神國坂線（田井工区）、東園村中道線外、高江道線）
【繰越分】 3,522千円
町道4路線（松神國坂線（松神工区）、東園村中道線外、大縄手線、西園五反田続線）
- ・通学路整備工事 15,856千円
町道1路線（東園村中道線外）
【繰越分】 38,899千円
町道2路線（東園村中道線外、西園五反田続線）
- ・物件補償（工損補償） 298千円
町道4路線（松神國坂線（松神工区））

【成果】 通学路において路側帯を確保するための側溝改良や冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、利用者の安全で快適な走行環境を提供した。

着手前



完成



町道東園村中道線側溝改良工事

款	7 土木費	項	3 河川総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 河川総務費	2,004千円	1,685千円

①河川総務事業 390千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
受託事業費	426千円	336千円	390千円

- ・天神川樋門操作（国から受託事業：江北排水樋門外1門） 305千円
- ・由良川樋門操作（県から受託事業：瀬戸排水樋門外1門） 85千円

【成果】 大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。

②河川関係負担金事業 707千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
負担金事業費	-	212千円	707千円

- ・由良川水系河川改修事業促進期成同盟会負担金 80千円
- ・天神川改修促進期成同盟会負担金 32千円
- ・弓原浜対策活動費負担金 100千円
- ・北条川放水路「憩いの場」記念碑設置 495千円

【成果】 河川事業等の予算確保に向けた要望活動等を行い、事業推進に寄与した。また、北条川放水路対策の活動費助成等により、諸問題解決の推進を図ることができた。

③浜川水路橋維持管理事業 588千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
維持管理費	641千円	676千円	588千円

- ・弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業 588千円
操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等

【成果】 水路橋の適切な維持管理を行い、浜川の機能を保全することができた。

款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 下水道費	850,715千円	850,715千円

①下水道事業会計繰出金事業 850,715千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
繰出金	796,638千円	881,274千円	850,715千円

【成果】 下水道事業へ繰出しを行うことにより、下水道事業会計の経営安定化を図ることができた。

款	11 災害復旧費	項	1 土木施設災害復旧費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 道路橋梁災害復旧費	15,000千円	9,679千円

①道路橋梁復旧事業（補助） 1,280千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	11,197千円	43,561千円	1,280千円

- ・町道災害復旧工事（2路線） 1,280千円
六尾南・西穂波線、東高尾上坂線



六尾南・西穂波線（完成）



東高尾上坂線（施工状況）

②道路橋梁復旧事業（単独） 8,399千円

年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	59,090千円	6,423千円	8,399千円

- ・町道災害復旧工事詳細設計業務 4,840千円
- ・道路復旧工事 3,559千円
島北縦貫線外、六尾南西穂波線外 土砂撤去
妻波南大谷線外 排水対策工事
米里1号線 路面清掃工事

【成果】 令和5年台風第7号により被災した町道施設等の災害復旧工事を発注し、早期復旧に向けて着手した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費	4,074千円	3,768千円

①就労準備支援事業 3,622千円

・学習支援事業 755千円

生活困窮世帯の小学生（3～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
小学生登録者数	6人	6人	10人
小学生延利用者数	187人	166人	189人
中学生登録者数	15人	12人	16人
中学生延利用者数	647人	536人	684人

【成果】 学習支援を行ったことにより、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	39,361千円	36,160千円

①地域子育て支援拠点事業 2,775千円

子育て家庭の交流の場の提供や、保護者のリフレッシュにつながる取組を行った。

(数値は延数)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
年間利用世帯数	2,192	3,090	2,296

【成果】 子育て講話など保護者のための講座だけでなく親子でできるリフレッシュなど幅広く講座を企画したことで、継続的な利用につながり、交流や保護者のリフレッシュを図ることができた。

②利用者支援事業 3,048千円

妊産婦・乳幼児等の実情把握や、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ必要な情報提供・助言・保健指導・関係機関との連絡調整を行った。またアプリによる情報配信を行った。

【成果】 妊産婦・乳幼児の保護者からの相談を受け止め、抱える課題の解決にむけての支援ができた。またアプリにより様々な事業の周知をすることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 児童福祉総務費	287,870千円	276,756千円

①子育て総務事業 189,267千円 ※風のまちづくり事業充当 10,000千円

町内私立こども園、私立保育所及び町外保育施設に委託し、保育を実施するとともに、保護者の仕事と育児の両立を図った。

・北条みどりこども園

園児数（町外からの広域入所は含まず） (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R3	人数	6	6	13	15	12	17	69
R4	人数	6	6	8	14	15	12	61
R5	人数	9	14	6	9	13	16	67

・栄保育所

園児数（町外からの広域入所は含まず）（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R3	人数	6	4	2	0	0	0	12
R4	人数	6	1	2	0	0	0	9
R5	人数	3	9	2	0	0	0	14

・広域保育施設

園児数（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R3	人数	12	9	12	8	12	6	59
R4	人数	8	13	13	9	12	10	65
R5	人数	7	7	11	8	13	10	56

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

②木育推進事業

316 千円

乳児家庭全戸訪問（生後3～4か月）時に、県産材の木で作られたスプーンまたは乳歯ケースをプレゼントした。

・配布数 88セット

【成果】 親子で木と触れ合うことを通して、豊かな心を育んでもらえるきっかけを提供できた。



乳歯ケース

③在宅育児支援事業

8,160 千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

・支給件数 延べ 108件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

④ネウボラ事業

279 千円

専任のコーディネーター（保健師）が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

・母子健康手帳交付件数 63件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦（世帯）については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後サポート事業

59 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを紹介した。

・登録件数 3件、利用件数 6件 ・養育支援家事支援件数 延べ 2件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業

307 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

・宿泊型 延べ 12件

・デイサービス型 母子利用 延べ 6件

・アウトリーチ型 延べ 1件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えるとともに産後うつや虐待の未然防止につなげた。

⑦パパママ教室 60 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

・参加者 延べ 44人 (妊婦 27人、夫 17人)

【成果】 夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。

⑧魅力ある園づくり事業 499 千円

各園から提案のあった園独自の創意工夫による魅力ある幼児保育教育活動の計画に対し補助金を交付し、各園で取組を実施した。

- ・北条こども園：幼児の体づくりの推進
～ミニトランポリンで楽しく体を動かそう！～
- ・大誠こども園：親子でできる手ぬぐい体操の推進
- ・由良こども園：ワクワクの森周辺再整備及び
おさかな水族館作成計画



北条こども園
ミニトランポリン遊びのようす

【成果】 各園での個別課題の解決に向けた新たな試みの立案と実践の推進につながった。

⑨親育ち事業 120 千円

虐待の未然予防につなげるため、子育ての不安軽減や養育能力の向上を図るための「笑育講座」や「生きるための心の教育」に取組んだ。

【成果】 保護者が子どもに対して「ほめる、共感する、待つ」など肯定的な関わりを学び、虐待の未然予防につなげることができた。
将来、安心と喜びを感じる妊娠・出産を迎えるため、生きるための心の教育の取組を町内小中学校と共同で実施し、意識向上を図ることができた。

⑩施設等利用給付事業 888 千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、預かり保育、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

・利用件数 2件

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

⑪コロナ感染症対策事業 366 千円

アルコール消毒・ペーパータオル等コロナ対策用の物品を購入し、こども園・保育所等の感染症拡大防止対策を実施した。

【成果】 こども園・保育所の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に繋げることができた。

⑫出産・子育て応援交付金事業 11,264 千円

国事業に基づき、妊産婦を対象に妊娠時及び出産後の面談を行うとともに、それぞれ5万円を給付した。

・交付金支給件数 209件

【成果】 面談や相談受付により、妊婦・子育て家庭の孤立感や不安感の解消を図ることができた。また、出産・子育てにかかる経済的負担軽減につながった。

⑬小・中学校入学祝金事業 5,120 千円

小、中学校等に1年生として入学する児童の保護者を対象に、入学祝い金を支給した。

・給付件数 小学校及び小学部 110件 中学校及び中学部 134件

【成果】 就学費用の負担軽減及び子育て支援につながった。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 認定こども園管理運営費	657,328千円	639,029千円

①町立こども園管理運営事業 114,889 千円

- ・北条こども園管理運営事業 28,703 千円
 - ・大誠こども園管理運営事業 59,761 千円
 - ・由良こども園管理運営事業 19,361 千円
 - ・大谷こども園管理運営事業 7,064 千円
- うち電気代高騰にかかる支出 4,491千円
(財源) 新型コロナ臨時交付金 (価格高騰支援分) 4,491千円

園児数 (3月末現在)									
年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
R3	24	62	64	84	89	95	418	2	420
R4	30	61	72	77	84	88	412	9	421
R5	24	72	71	85	82	85	419	4	423
北条こども園	9	33	35	29	34	36	176	3	179
大誠こども園	9	18	17	30	27	22	123	0	123
由良こども園	3	18	12	24	18	25	100	0	100
大谷こども園	3	3	7	2	3	2	20	1	21

保育料徴収の状況 (単位：千円・%)

年度	R3年度			R4年度			R5年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	21,005	21,005	100.0	18,528	18,528	100.0	24,633	24,633	100.0
滞納繰越分	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	21,005	21,005	100.0	18,528	18,528	100.0	24,633	24,633	100.0

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

- 【成果】 国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
- 施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全を確保した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 放課後児童健全育成費	46,337千円	26,760千円

①放課後児童クラブ委託事業 26,760 千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。(令和元年7月から民間事業者へ委託して実施。)

登録児童数等 北条なかよし学級 定員：100人 大栄こども学級 定員：80人

年 度		児童数（3月）							月平均 登録数	最大登録		年日数 （日）
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数	
北条	R3	39	27	24	13	2	1	106	122.0	7月	145	291
	R4	38	33	24	11	8	0	114	121.4	7月	135	291
	R5	34	34	25	14	8	3	118	125.7	7月	141	314
大栄	R3	29	21	9	7	0	0	66	74.9	4月	93	294
	R4	20	22	12	2	4	0	60	75.1	7,8月	89	295
	R5	28	14	14	6	1	0	63	75.3	7,8月	92	314

- 【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額																				
		目	4 母子父子福祉費	22,676千円	21,613千円																				
①ひとり親家庭等学習支援事業 1,634千円 ひとり親世帯の小学生（3～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。（生活困窮者自立支援事業における学習支援事業と対象者により費用を按分） 【成果】 学習支援を行ったことにより、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。																									
款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額																				
		目	5 地域子育て支援費	1,248千円	1,247千円																				
①ファミリー・サポート・センター事業 40千円 地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と援助ができる人（提供会員）の調整を行った。 会員数（3月末） <table><tr><td>年 度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>活動件数</td><td>3</td><td>19</td><td>32</td></tr><tr><td>提供会員</td><td>5</td><td>12</td><td>17</td></tr><tr><td>依頼会員</td><td>19</td><td>19</td><td>40</td></tr><tr><td>会員合計</td><td>24</td><td>31</td><td>57</td></tr></table> 【成果】 子育て世代のサポートができた。						年 度	R3年度	R4年度	R5年度	活動件数	3	19	32	提供会員	5	12	17	依頼会員	19	19	40	会員合計	24	31	57
年 度	R3年度	R4年度	R5年度																						
活動件数	3	19	32																						
提供会員	5	12	17																						
依頼会員	19	19	40																						
会員合計	24	31	57																						
②乳幼児健康支援一時預かり事業 1,135千円 子どもが病気にかかりこども園等に登園することができず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市に委託し行った。 <table><tr><td>年 度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td></tr><tr><td>病児保育事業</td><td>53</td><td>43</td><td>66</td></tr><tr><td>病後児保育事業</td><td>12</td><td>9</td><td>5</td></tr></table> ※年間利用児童数（延人数） 【成果】 病気の子どもを安心して預ける場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。						年 度	R3年度	R4年度	R5年度	病児保育事業	53	43	66	病後児保育事業	12	9	5								
年 度	R3年度	R4年度	R5年度																						
病児保育事業	53	43	66																						
病後児保育事業	12	9	5																						
③休日保育事業 72千円 日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託し行った。 ・利用件数 5件 【成果】 保護者の就労等のサポートができた。																									

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 教育委員会費	1,774千円	1,756千円
①教育委員会事業			1,756 千円	(教育関係負担金含む)	
毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。					
・教育委員会 定例会12回、臨時会3回					
・教育委員会視察 10月23日～24日 視察先：広島県三次市塩町中学校、福山市新涯小学校					
・総合教育会議 6月26日、12月26日 意見交換のテーマ 不登校対策について／大栄こども学級の今後について など					
・計画訪問（こども園、小・中学校） 前期：5月～6月、後期：10月～11月					
・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金					
【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。 計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について協議した。					

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 事務局費	151,257千円	147,569千円
①事務局事業			17,868 千円		
就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4人配置。					
音田教育振興基金から、経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。					
授業用及び校務用パソコンの整備（リース）					
音田教育振興基金給付状況					
年 度		R3年度	R4年度	R5年度	
給付金支給者		4人	7人	8人	
給付金合計額		40万円	70万円	80万円	
【成果】 指導主事4人により、こども園幼児から中学校生徒までの子どもたちの豊かな育ちや学びなどについてこども園、小中学校等へ指導等を行った。学校教育以外にも家庭教育や人権教育にも指導的立場で意見を述べ、教育の振興を図った。 音田教育振興基金を活用し、向学心旺盛ながら経済的に支障があるなどの中学生に高等学校入学準備費を支給し、学習を支援した。					

②事務局関係負担金事業			17,935 千円		
教育に関する次の負担を行った。					
学校災害共済掛け金負担金		1,101 千円			
少人数学級実施協力金		14,000 千円			
中部こども支援センター負担金		1,401 千円			
I C T 共同化推進協議会負担金		1,318 千円 ほか			
【成果】 少人数学級の導入により、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させたほか、不登校児童生徒の学校復帰を目指す中部子ども支援センターの活動を支援した。					

③教育力向上事業 7,045 千円

大学教授等を講師に迎え授業研究を行い、児童・生徒の学力向上に向けた取組を行った。

- ・サマースクール（7月末～8月上旬6日間、各地区）
- ・イングリッシュスクール（7月末～8月初5日間、1月末～2月初7日間、各中学校）
- ・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト）
- ・地域で子どもを育てる体験活動支援（土下自治会外2団体）
- ・英語検定受験料助成 4級33人、3級30人、準2級7人
- ・特色ある学校づくり推進事業（採択2校：北条中、大栄中）
北条中：「中庭を挑戦・表現する場とし、地域に開かれた学校を目指す」
大栄中：「教室以外の場所でのICT活用により地域・保護者との連携強化を図る」

【成果】 サマースクールを実施し夏季休業中の家庭学習において習慣化と学力補充を図ることができた。地域で子どもを育てる体験活動支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。

学力調査等の実施・分析により、指導内容の工夫を図った。

英語検定3級以上の受験者を増やすために4級受検から助成を実施。R4年度から対象を小学生に拡大し、申請者数も増加した。併せて中学生の英語力向上のためイングリッシュスクールを実施。休校等により予定日数より2日間少ない実施となったが、ALT等とのリスニング、スピーキングに特化した取組で参加生徒は意欲をもって取組んだ。

特色ある学校づくり推進事業では、各学校で創意工夫のある教育活動の機会づくりにつながった。

④ふるさと鳥取見学（県学）支援事業 495 千円

県の補助金（補助率1/2）を活用し、社会科見学を行った。

北条小学校4年生：サントリー奥大山ブナの森工場ほか

大栄小学校5年生：日本海テレビほか 大栄小学校6年生：むきばんだ史跡公園ほか

【成果】 県内の素晴らしい自然環境や文化財等を見学する機会をつくり、鳥取県についての理解・関心を深め、ふるさとを愛する心の育成につながった。

⑤発達支援体制整備事業 597 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。園（町外含）28回、小中学校 16回

【成果】 福祉課・健康推進課・教育総務課で情報共有しながら対応したことで、それぞれの時期に必要な支援をスムーズに行うことができた。こども園・小中学校で支援の必要な児童生徒への関わり方について指導助言を行ったことで、児童生徒の課題を改善・軽減することにつながられた。

⑥児童自転車用ヘルメット着用推進事業 120 千円

小学生自転車用ヘルメットの購入費補助を行った。申請者：82人。

【成果】 対象を未就学児に拡大し制度を周知したことで、未就学児への着用の推進につなげることができた。

⑦コミュニティスクール推進体制構築事業 1,274 千円

各中学校区学校運営協議会を大栄中学校区は5回、北条中学校区では4回開催し地域と学校の連携・協働に取り組んだ。CS地域コーディネーター連絡会を10回開催した。

【成果】 両中学校区学校運営協議会を設置し、地域の人に学校での学習支援や地域での通学見守りなどに関わっていただいた。子どもの学びに深まりが生まれるだけでなく、子どもたちの育ちについて地域と共有し、今後の取組についても熟議を進めている。また、定期的に行っている連絡会では各校区の取組について情報共有や意見交換がなされ、新しい取組にもつながっている。

⑧GIGAスクール構想整備事業 5,073 千円

GIGAスクール構想の推進にあたり、タブレットの利活用を進めるため、無線アクセスポイントの増設や通信環境の確保等を行った。

【成果】 タブレットの利活用を円滑に進めることができた。

⑨幼児通級指導教室設置事業 717 千円

発達支援が必要な園児（年中・年長児）を対象に、通所による個別指導や小集団指導を実施した。また、園での支援の充実を図るため、加配保育教諭対象研修を実施した。

【成果】 親子での通所による指導により、保護者が指導内容や児の特性に応じた関わりを学び、子育てや就学についての不安の軽減につながった。また、こども園職員の幼児通級指導教室の見学や加配保育教諭研修を通して支援スキルの資質向上につながった。

⑩高校生等通学費助成事業 3,114 千円

高校生等を抱える世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの教育の機会の均等を図ることを目的として、通学費用を支援した。

【成果】 県内17高校等から、80人の申請があり、通学費を支援することができた。

⑪フリースクール利用料軽減事業 240 千円

町内の児童生徒がフリースクールに通う経費に対する支援を行った。

【成果】 町内フリースクールに通う1人（中学生）へ支援することができた。

⑫感染症対策等支援事業 36 千円

小中学校に感染症対策等に必要な備品等の整備を行った。

【成果】 児童生徒の安全な学習環境を確保し、学校教育活動を継続することができた。

⑬大栄小学校大規模改造事業 27,720 千円

建築から50年を迎える大栄小学校の教室棟、管理棟等について、施設長寿命化を図るための大規模改造工事の実施設計を行った。

【成果】 次年度の工事実施に向けて発注準備を整えることができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費	6,042千円	6,041千円

①外国青年招致事業 6,041 千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

- ・4月～7月 アメリカ国籍女性 北条中勤務 ※8月～3月オンライン英会話授業等活用
- ・4月～3月 アメリカ国籍男性 大栄中勤務

【成果】 小中学校での外国語学習及び外国語活動の実施に資することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費	54,589千円	51,501千円

①北条小学校管理事業 50,586 千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・太陽光発電設備改修工事 3,520 千円 ・プール排水バルブ取替工事 418 千円
- ・トイレ手洗器修繕工事 286 千円 ・キュービクル給気口修繕工事 264 千円

うち電気代高騰にかかる支出 20千円

(財源) 新型コロナ臨時交付金 (価格高騰支援分) 20千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等支援員等の設置 24,557 千円

児童数 (令和5年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	24 人	28 人	52 人
2年	2 組	25 人	33 人	58 人
3年	3 組	39 人	31 人	70 人
4年	2 組	23 人	34 人	57 人
5年	3 組	37 人	35 人	72 人
6年	3 組	29 人	33 人	62 人
特別支援学級	6 組	28 人	8 人	36 人
合計	21 組	205 人	202 人	407 人

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 915 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
利用児童数	80人	80人	78人
対全校児童数	18.8%	19.0%	19.2%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄小学校管理費	61,074千円	59,742千円

①大栄小学校管理事業 55,150 千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・コンテナルームエアコン設置工事 946 千円 ・体育館鉄骨柱補修工事 198 千円
- ・体育館カーテンレール修繕工事 188 千円

うち電気代高騰にかかる支出 3,622千円
(財源) 新型コロナ臨時交付金 (価格高騰支援分) 3,622千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 34,751 千円

児童数 (令和5年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	27 人	24 人	51 人
2年	2 組	30 人	19 人	49 人
3年	2 組	28 人	31 人	59 人
4年	2 組	33 人	26 人	59 人
5年	2 組	29 人	30 人	59 人
6年	3 組	32 人	37 人	69 人
特別支援学級	5 組	20 人	8 人	28 人
合計	18 組	199 人	175 人	374 人

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 4,592 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
利用児童数	227人	220人	213人
対全校児童数	58.1%	57.9%	57.0%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 小学校教育振興費 (共通)	666千円	630千円

①小学校外国語教育活動事業 46 千円

小学校に外国語教育指導員を配置。3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科の学習を実施。

【成果】 ALT、英語専科教員と連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

②小学校教育振興関係負担金事業 91 千円

次のとおり負担した。

- ・中部小学校教育研究費負担金 49 千円 ・中部小学校体育連盟負担金 26 千円
- ・中部特別支援協議会負担金 5 千円 ・中部学校保健会負担金 8 千円 ほか

【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

③児童通学事業 473 千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。

対象地区：松神、下神

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
補助児童数	27人	29人	31人
対全校児童数	6.4%	6.9%	7.6%

【成果】 遠距離通学児童の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減した。

④修学旅行引率費補助金事業 20 千円

職員引率費の一部を助成した。

北条小学校 6学年 広島 10/4-5

大栄小学校 6学年 広島 6/21-22

【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条小学校教育振興費	8,133千円	7,886千円

①北条小学校教育振興事業 7,886 千円 ※風のまちづくり事業充当 4,470千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 2,320 千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 3,419 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	42人	43人	38人
	児童数	49人	58人	52人
児童の割合		11.5%	13.7%	12.8%

特別支援教育就学奨励事業 726 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	16人	20人	27人
	児童数	18人	21人	27人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄小学校教育振興費	6,625千円	6,279千円

①大栄小学校教育振興事業 6,279 千円 ※風のまちづくり事業充当 3,215千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 2,165 千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 2,142 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	21人	28人	26人
	児童数	27人	33人	27人
児童の割合		6.9%	8.6%	7.2%

特別支援教育就学奨励事業 454 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	15人	19人	16人
	児童数	16人	21人	17人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	6 言語通級指導教室費	80千円	76千円																														
①言語通級指導教室事業 76 千円 大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。 【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせることができた。																																			
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	7 発達通級指導教室費	208千円	204千円																														
①発達通級指導教室事業 204 千円 大栄小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。発達障がいのある児童等に指導を行った。 【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけさせることができた。																																			
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	1 北条中学校管理費	43,726千円	35,892千円																														
①北条中学校管理事業 35,892 千円 学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。 ・配膳室エアコン取替工事 325 千円 ・教室ドアガラス取替工事 149 千円 うち電気代高騰にかかる支出 3,624千円 (財源) 新型コロナ臨時交付金 (価格高騰支援分) 3,624千円 学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 18,798 千円 生徒数 (令和5年5月1日現在)																																			
<table><tr><td>学年</td><td>学級数</td><td>男</td><td>女</td><td>合計</td></tr><tr><td>1年</td><td>3 組</td><td>35 人</td><td>35 人</td><td>70 人</td></tr><tr><td>2年</td><td>2 組</td><td>23 人</td><td>32 人</td><td>55 人</td></tr><tr><td>3年</td><td>2 組</td><td>34 人</td><td>26 人</td><td>60 人</td></tr><tr><td>特別支援学級</td><td>4 組</td><td>11 人</td><td>8 人</td><td>19 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>10 組</td><td>103 人</td><td>101 人</td><td>204 人</td></tr></table>						学年	学級数	男	女	合計	1年	3 組	35 人	35 人	70 人	2年	2 組	23 人	32 人	55 人	3年	2 組	34 人	26 人	60 人	特別支援学級	4 組	11 人	8 人	19 人	合計	10 組	103 人	101 人	204 人
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	3 組	35 人	35 人	70 人																															
2年	2 組	23 人	32 人	55 人																															
3年	2 組	34 人	26 人	60 人																															
特別支援学級	4 組	11 人	8 人	19 人																															
合計	10 組	103 人	101 人	204 人																															
【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。																																			

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	2 大栄中学校管理費	91,910千円	86,076千円																														
①大栄中学校管理事業 86,076 千円																																			
学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。																																			
・ 昇降機等設置工事 37,101 千円 ・ ホワイトボード張替工事 1,208 千円																																			
・ 会議室エアコン取替工事 638 千円 ・ 保健室シンク改修工事 627 千円																																			
うち電気代高騰にかかる支出 2,376千円																																			
(財源) 新型コロナ臨時交付金 (価格高騰支援分) 2,376千円																																			
学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 24,030 千円																																			
生徒数 (令和5年5月1日現在)																																			
<table><tr><td>学年</td><td>学級数</td><td>男</td><td>女</td><td>合計</td></tr><tr><td>1年</td><td>2 組</td><td>27 人</td><td>19 人</td><td>46 人</td></tr><tr><td>2年</td><td>2 組</td><td>36 人</td><td>30 人</td><td>66 人</td></tr><tr><td>3年</td><td>2 組</td><td>23 人</td><td>30 人</td><td>53 人</td></tr><tr><td>特別支援学級</td><td>7 組</td><td>14 人</td><td>12 人</td><td>26 人</td></tr><tr><td>合計</td><td>13 組</td><td>100 人</td><td>91 人</td><td>191 人</td></tr></table>						学年	学級数	男	女	合計	1年	2 組	27 人	19 人	46 人	2年	2 組	36 人	30 人	66 人	3年	2 組	23 人	30 人	53 人	特別支援学級	7 組	14 人	12 人	26 人	合計	13 組	100 人	91 人	191 人
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	2 組	27 人	19 人	46 人																															
2年	2 組	36 人	30 人	66 人																															
3年	2 組	23 人	30 人	53 人																															
特別支援学級	7 組	14 人	12 人	26 人																															
合計	13 組	100 人	91 人	191 人																															
【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。																																			
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	3 中学校教育振興費 (共通)	5,004千円	4,148千円																														
①中学校教育振興関係負担金事業 302 千円																																			
次のとおり負担した。																																			
・ 県中学校体育連盟負担金 158 千円 ・ 中部教育協議会負担金 127 千円																																			
・ 特別支援教育研究会負担金 5 千円 ・ 県中部学校保健会負担金 4 千円 ほか																																			
【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。																																			
②学習事業 285 千円																																			
中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、運動会、文化祭等では生徒会を中心に自治的な活動となるよう実施。																																			
【成果】 社会人等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を考えさせたほか、運動会等の行事を通して学級集団で目標達成を目指す取組や自治的活動の育成を図った。																																			
③修学旅行引率費補助金事業 179 千円																																			
職員引率費の一部を助成した。																																			
北条中学校 3学年 京都 4/19-21																																			
大栄中学校 3学年 東京 5/10-12																																			
【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。																																			
④生徒派遣事業 2,526 千円																																			
各種大会参加のためのバス等の借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。																																			
・ バス等借上 811 千円 ・ 主な派遣先 中部地区総体、中部地区新人大会																																			
・ 生徒派遣補助金 1,715 千円 ・ 主な派遣先 中国大会、全国大会																																			
【成果】 大会参加時に必要な移動手段を確実に確保することができた。																																			
⑤職場体験学習事業 67 千円																																			
北条・大栄中学校2年生が町内事業所の協力のもと、社会体験学習を実施した。																																			
・ 保険料 67 千円																																			
【成果】 体験を通して働くことの楽しさや厳しさを経験したほか、社会の規律やマナーを学んだ。																																			

⑥部活動振興事業 789 千円

部活動指導員等を設置するとともに、部活動使用物品を購入し、活動環境を整えた。

- ・部活動指導員の設置 北条中：バスケット、サッカー、バドミントン、剣道、吹奏楽
大栄中：柔道、卓球、バレーボール、吹奏楽、バドミントン
- ・外部指導者の設置 北条中：卓球、吹奏楽

【成果】 10人の指導員、2人の外部指導者による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条中学校教育振興費	8,487千円	8,271千円

①北条中学校教育振興事業 8,271 千円 ※風のまちづくり事業充当 900千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

- ・図書・教材備品購入費 2,131 千円

就学援助事業（要・準要保護） 3,744 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	25人	19人	24人
	生徒数	31人	21人	20人
生徒の割合		16.8%	11.5%	9.8%

特別支援教育就学奨励扶助事業 529 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	12人	9人	14人
	生徒数	13人	9人	14人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄中学校教育振興費	7,741千円	7,200千円

①大栄中学校教育振興事業 7,200 千円 ※風のまちづくり事業充当 961千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

- ・図書・教材備品購入費 1,594 千円

就学援助事業（要保護、準要保護） 3,485 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	18人	22人	14人
	生徒数	19人	24人	17人
生徒の割合		10.5%	12.5%	9.9%

特別支援教育就学奨励事業 708 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R3年度	R4年度	R5年度
対象	保護者数	11人	10人	15人
	生徒数	11人	10人	15人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 学校給食費	173,092千円	170,100千円

①学校給食センター管理事業 71,402 千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	R3年度	R4年度	R5年度
北条こども園	233 回	226 回	233 回
北条小学校	187 回	186 回	192 回
大栄小学校	186 回	187 回	191 回
北条中学校	187 回	190 回	190 回
大栄中学校	180 回	185 回	191 回

※令和5年度臨時休業に伴う給食中止
大雪 1 回

・学校給食調理等業務委託 (単位：千円)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
委託料	40,700	42,130	42,130

※業務委託はR4から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立 (6月)

サプライズ給食 (年2回)

全国学校給食週間 (1月) (特別献立、学校給食アンケート、小中学生給食作品展)

卒業生お祝い給食 (3月)

・給食費の徴収状況

(単位：千円・%)

区 分		R3年度			R4年度			R5年度		
		調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
小学校	現年	46,721	46,684	99.9	23,104	23,104	100.0	46,086	46,076	99.9
	滞納	228	97	42.5	220	103	46.8	117	84	71.8
	計	46,949	46,781	99.6	23,324	23,207	99.5	46,203	46,160	99.9
中学校	現年	24,521	24,521	100.0	12,977	12,977	100.0	26,813	26,813	100.0
	滞納	596	249	41.8	295	63	21.4	232	208	89.7
	計	25,117	24,770	98.6	13,272	13,040	98.3	27,045	27,021	99.9
合計		72,066	71,551	99.3	36,596	36,247	99.0	73,248	73,181	99.9

【成果】 年間を通し、安全安心な学校給食の提供が実施できた。今年度についても地方創生臨時交付金を活用することで、地元産材の消費拡大を行うとともに普段給食で出せない高価な食材を味わってもらう機会を提供することができた。

また、学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。

②給食費事業（賄材料費） 86,996 千円

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多く取り入れ、児童生徒への啓発を図ることで食育推進に繋げた。町費負担による地元食材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

うち食材高騰に係る支出 5,474千円

（財源）新型コロナ臨時交付金（価格高騰支援分）
5,474千円

・地産地消率（県指定44品目）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	95 %	91 %	83 %
県平均	67 %	66 %	64 %



サプライズ給食（北栄町産シャインマスカットのクリームサンド）

【成果】

年間を通して、品質の良い学校給食用食材を安定的に、なるべく安価に供給できた。また、地元食材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。

令和5年度の学校給食における県産品利用率（県統計）は県内7位。



北栄町産の安全安心な食材を使用した食育月間献



校区合同学校給食展

款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 土木総務費	91,561千円	84,085千円
①住宅新築資金等償還事業 94千円					
【成果】 住宅新築資金等貸付事業に関する償還事務に関する研修会への参加や、必要物品等を購入し、適切な償還事務を実施した。					
款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会教育総務費	53,827千円	52,741千円
①社会教育総務事業 117千円					
・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 2回（6月・3月）					
・委員の各種研修等への参加 2回（鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会）（鳥取県社会教育関係者研修会）					
【成果】 社会教育委員が社会教育事業について意見を述べたり、事業に参画することにより、社会教育事業の充実を図ることができた。また、鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会及び鳥取県社会教育関係者研修会に参加し、今の時代に社会教育委員が求められることについて学ぶことにより委員の資質向上につながった。					
②社会教育総務関係負担金事業 542千円					
社会教育に関する協議会等の負担金					
・東伯郡社会教育協議会 ・鳥取県社会教育協議会					
・鳥取県社会教育委員連絡協議会 ・倉吉地区少年補導センター					
【成果】 関係機関との連携により社会教育振興につながった。					
③青少年育成町民会議交付金事業 415千円					
各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。					
【成果】 青少年健全育成啓発のための新しいのぼり旗の作成のほか、あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となり活動することで青少年の健全育成につながった。					
あいさつ運動推進事業所 101事業所					
④社会教育推進事業 161千円					
届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を図る。					
回 数 年間117回					
(含：おとなほくえい塾37回、認知症予防セットメニュー17回、貸出DVD8回)					
会 場 各自治会公民館等					
参 加 者 延べ1,983人					
(含：おとなほくえい塾441人、認知症予防セットメニュー510人、貸出DVD76人)					
年度		R3	R4	R5	
回数		67回	87回	117回	
参加者		1,003人	1,300人	1,983人	
【成果】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体の活動が活発になったことに伴い申し込みが増加した。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。					

⑤社会教育関係団体活動費補助金事業 185千円

社会教育関係団体の活動に対し、補助した。

- ・町婦人会（117,303円）・北条中学校PTA（18,000円）・大栄小学校PTA（15,000円）
- ・大誠こども園PTA（10,000円）・大谷こども園PTA（5,000円）
- ・北条こども園PTA（20,000円）

【成果】 各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。

⑥子どもほくえい塾事業 848千円

- ・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」（国・県・町それぞれ1/3負担）
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を地域住民の協力で実施した。
- ※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	R3	R4	R5
回数	114回	106回	108回
参加者	1,140人	1,913人	1,907人
ボランティア・保護者	540人	724人	880人

- ・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回

放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営、実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】 放課後子供教室では、多くの地域の方々の協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考に改善に努めた。

⑦通学合宿事業 136千円

家庭から離れ、異なる年齢の児童との共同生活をするにより、自分の力で身の回りのことをする大変さ、がまんすることや助け合うことの大切さを体験し、家族の支えがあって生活していることに気づくきっかけとなった。また、ゲーム・テレビ等メディアと離れた生活の経験から今後のメディアとのつきあい方を考えることができた。

期 日	令和5年9月6日～8日
会 場	大栄健康増進センター
参 加 者	大栄小学校5・6年生の希望者 15名（5年生 9名、6年生 6名）
ボランティア	16名（食生活改善推進委員、教育委員、社会教育委員、大学生など）

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 成人式費	683千円	681千円

①成人式事業 681千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。

令和6年成人式～二十歳の集い～

期 日	令和6年1月3日（水）
会 場	北条農村環境改善センター
内 容	式典、恩師激励及び新成人決意表明、記念品授与、記念写真撮影

対 象 者	158人
出 席 者	118人
出 席 率	75%



令和6年成人式～二十歳の集い～

【成果】 新成人で構成する実行委員会で主体性のある成人式が開催できた。また、スマートフォンによるARフォトフレームの活用により、新成人の門出を彩り祝福することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 文化費	356千円	355千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 300千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。県事業との調整が合わない場合は他の事業の情報提供を行った。

学校名	事業名	演目
大栄中	芸術鑑賞教室	能と狂言がわかる！はじめての日本の伝統文化教室
北条小	学校独自鑑賞事業	警察音楽隊公演会
大栄小	学校独自鑑賞事業	警察音楽隊公演会



【成果】 本物の芸術に触れる機会を提供したことにより、芸術への関心を高め豊かな感性や情操を養うことができた。

能と狂言がわかる！
はじめての日本の伝統文化教室

②北栄文化回廊事業 55千円

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させ、「北栄文化」のイメージの浸透を図った。

また、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間 令和5年11月3日（金・祝）～11月15日（水）

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展（11/3～15）	北条農村環境改善センター	612人
特別企画展 北栄町の人物伝（11/3～12/10） ～鳥取県中部地区教育の礎～ 正牆適處と研志塾展	北栄みらい伝承館	205人
正牆適處と研志塾展講演会（11/11）	中央公民館	36人
お茶席（11/5）	北条支所内（北条ふるさとまつり）	122人
ものづくり体験（11/5）	北条支所内（北条ふるさとまつり）	30人
特別講演会（11/4）	中央公民館	59人
齋尾家住宅限定公開（11/12）	齋尾家	15人
生涯学習課関係 計		1,079人

※期間中来館者数

イベント名称等	場 所	人 数
青山剛昌名探偵コナン 特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	6,680人
全体計		7,759人

※期間中来館者数



国登録有形文化財
齋尾家住宅限定公開



お茶席

【成果】 北条ふるさとまつりにあわせてお茶席やものづくり体験を実施するなど、複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供することができた。お茶席では、吉田宗美社中・子どもほくえい塾茶道教室のみなさんがお点前を披露し、茶道という日本文化を経験してもらう機会となった。

また、鳥取県立美術館館長予定者である尾崎信一郎氏に「鳥取県立美術館で前田寛治をいかに展示するか」と題した特別講演会を開催し、県立美術館への関心を高め、機運の醸成を図ることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 文化財保護対策費	4,054千円	3,609千円

①文化財保護対策事業 3,498千円

北栄町文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の活用につながる講座の開催やパンフレットの作成を行うとともに町内に存在する指定文化財等の適正な維持、管理が行えるよう支援した。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供した。

特別天然記念物コウノトリの保護にも努めた。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 1回（11月）
- ・国特別天然記念物「コウノトリ・オオサンショウウオ」の保護
- ・コウノトリ人工巣塔の建設
- ・各種開発事業との調整

【成果】 国登録有形文化財である齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。

歴史探訪ウオークでは、東園・瀬戸・六尾周辺コースで武信佐五右衛門や田熊常吉など北栄町の偉人などの解説を行い、健康づくりにあわせ、町内の歴史や文化財を身近に感じてもらうことができた。

特別天然記念物コウノトリが昨年に引き続き北栄町内で営巣したため、今後の生息調査のため、2羽のヒナに足環を装着するとともに、今後安全に営巣できるようにするため、巣塔の建設を行うことで特別天然記念物の保護意識が高まった。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 111千円

六尾反射炉跡の今後の調査のため、世界遺産登録されている韮山反射炉（静岡県伊豆の国市）の視察を行い、反射炉の構造について見識を深めた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 歴史民俗資料館費	7,822千円	7,399千円

①歴史民俗資料館管理事業 4,362千円

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】 専門家の助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。

②歴史民俗資料館展示事業 3,037千円

歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

期間	開館日数	事業内容	入館者数
4/1～4/9	8	【令和4年度】北栄町の埴輪	171人
4/22～5/28	32	越野邦夫 回顧展	505人
6/10～7/23	38	大栄すいか	428人
8/5～8/27	20	最新版！レッドデータブックとっとり	440人
9/9～10/15	32	福新幸世 書展	391人
11/3～12/10	34	特別企画展「正牆適處と研志塾」	414人
12/23～2/18	45	昔の生活道具～養蚕に使用された道具を中心に～	187人
3/2～3/31 (4/7)	25	発掘された人骨からわかること	280人
企画展小計			2,816人
4/1～3/31	75	生田和孝・加藤廉兵衛・福本和夫常設展のみ	242人

※4/7まで（31日間）
の入館者数：337人

総入館者数 3,058人

	R3	R4	R5
入館者数（人）	3,022	3,043	3,058

【成果】 各種展示を通じて県内・町内の歴史や文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	9 町内遺跡発掘調査費	2,466千円	2,466千円

①町内遺跡発掘調査事業 2,466千円

町指定史六尾反射炉跡の内容確認及び開発行為に伴い、試掘調査を実施（国庫補助事業）

・場所 北栄町六尾、北栄町北尾

・状況 六尾反射炉跡において、令和2年度で確認された水車を設置していたと考えられる大規模な水路跡を、反射炉築造時の水路の造成土で確認した。

【成果】 六尾反射炉跡では、直径3丈（約9m）の水車が廻っていたとされる水路跡の規模、形状を確認するため、令和5年度は前年調査区を拡張して調査を行った結果、溝の長さは16m以上、幅約7m、深さは約3mにも及ぶことが判明した。また、反射炉築造に当たって造成が施されていることがわかっていたが、その厚さが約1mにも及ぶことが判明した。調査により、燻瓦片約114.05kg、石州瓦片20.3kg、耐火レンガ片116.85kg、鉄滓5.8kg、多量の陶磁器片が出土した。10月14日に現地説明会を開催し、町内外から43名の参加者を得、改めて郷土の歴史に関心を持っていただくことができた。

北条川拡幅・県道改良工事に先立ち、北尾地内において試掘調査を実施し、北条川左岸で、中世ごろの水田耕作に伴う牛と考えられる偶蹄目の足跡や弥生時代中期ごろの溝や土器を確認した他、客土中で須恵質土馬などを確認し、本調査が必要であると判断した。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健体育総務費	39,361千円	33,439千円
①保健体育総務事業 32,790千円					
・北栄町スポーツ推進委員（24人） 地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。 《主な活動内容》 協議会開催 4回 訪問型ニュースポーツ体験事業 11回 （地域の団体等に対するニュースポーツの指導） 体力測定・ミニ体力測定の実施 8月26日ほか計4回 北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月19日 元旦マラソン&ウォーキング大会 1月1日 東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 ほか ニュースポーツ体験教室 12月10日・2月4日（2グループ） ・北栄町スポーツ表彰 本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体を表彰する。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事前に参加者の確認調整を行い、大栄農村環境改善センターで、221名の表彰式を開催した。 <内訳>体育功労賞2人、優秀指導者賞4人、スポーツ特別賞1人、スポーツ最優秀賞8人、スポーツ優秀賞22人、スポーツ敢闘賞132人、スポーツ奨励賞52人 ・社会体育施設等維持・改修 B&G海洋センター駐車場拡張工事 B&G海洋センターボイラー取替工事 勤労者体育センター解体工事設計業務 【成果】 生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。また、B&G海洋センターの駐車場拡張工事を行うことにより利便性の向上につながった。					
②保健体育総務関係負担金事業 650千円					
社会体育に関する協議会等への負担金 ・郡体育協会負担金 ・県スポーツ推進委員協議会負担金 ・郡スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・ねんりんピック北栄町実行委員会負担金 【成果】 関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育の振興につながった。また、ねんりんピックソフトテニス交流大会の円滑な運営に向けた実行委員会を立ち上げ、先催県（愛媛県）の視察等を実施した。					
款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 保健体育振興費	42,486千円	39,812千円
①保健体育振興事業 937千円					
北栄町スポーツ県外派遣費補助金 県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。 利用実績：25件 【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上と経済的負担の軽減につながった。					

②北栄スポーツクラブ事業 38,755千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行っていただき、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

指定管理施設

北条体育館・大栄体育館・大誠体育館・北条ふれあい会館・大栄ふれあい会館・北条野球場・大栄野球場・北条運動場・大栄運動場

年度	R3	R4	R5
全施設延べ利用人数	81,463	161,283	167,240
スポーツクラブ会員数	1,250	1,215	1,213

【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えているが、近年は概ね横ばいとなっている。北栄スポーツクラブが実施する「健康運動教室」は利用者も多く、高い評価を得ている。

北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

③ウォーキングのまち北栄町推進事業 105千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。

北栄てくてくウォーキング 3回 参加者延べ169人（R4：197人）

【成果】 ウォーキング機会の提供により、運動習慣の定着と町民の健康の増進に資する取組が出来た。

④訪問型ニュースポーツ体験事業 15千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	R3	R4	R5
回数	5	4	11
訪問した委員	15	11	35

【成果】 地域の皆さんにスポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取り組みを低年齢層から広げることができた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費		
				19,488千円	19,460千円

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 19,460千円

2023現地開催（4年ぶりの現地開催）

参加申込者数 4,046人

参加記念品：名探偵コナンのイラスト入りオリジナルTシャツ

年度	R3	R4	R5
参加申込者	3,675人	3,093人	4,046人

【成果】 4年ぶりに現地開催をすることができた。42都府県から参加いただき、本町の文化・産業・農業を幅広くPRし、魅力ある町づくりを推進することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 人権推進費	2,652千円	2,039千円

①人権対策関係負担金事業 276千円

- ・県人権文化センター負担金
- ・部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
- ・東伯郡同和対策協議会負担金
- ・とっとり被害者支援センター負担金

【成果】 関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

②人権啓発活動事業 1,465千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切にしたいや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。

また、北栄町人権教育・啓発推進協議会に人権啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会等へ参加した。

〔人権の花運動〕

期 日 10月12日、10月24日
場 所 北条小学校、大栄小学校
内 容 花の苗・プランター等を贈呈
参加人数 児童32人（北条小18人、大栄小14人）
人権擁護委員5人



人権の花運動(大栄小)

〔北栄町じんけんフェスティバル2023〕

期 日 12月9日（土）
内 容 演題： 「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に気づき、コミュニケーションエラーを防止しよう！」
講師： 鎌田 敏氏（こころ元気研究所 所長）
参加人数 211人

〔主な大会派遣〕

大会名	開催場所	参加者数
第48回部落解放・人権西日本夏期講座	愛媛県	2人
第38回人権啓発研究集会	京都府	3人
第48回人権尊重社会実現鳥取県研究集会	米子市	38人
部落解放研究第56回全国集会	和歌山県	1人
第44回全国人権保育研究集会	奈良県	2人
第74回全国人権・同和教育研究大会	大阪府ほか	6人

※機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。（8月、12月、2月発行）

【成果】 じんけんフェスティバルでは、人権を学ぶ会との連携でテーマを統一し、年間を通して啓発ができた。アンケート結果からも「いろいろな人権に関する問題について自分のこと、身近なこととして考える機会となる内容でした」、「コミュニケーション能力不足を振り返ることができた。今回の講演は知識だけでなく、改善策も示していただきとてもためになった」等の感想が寄せられ、93.2%が人権についての関心や理解が深まったと回答が得られた。

③人権擁護委員事業 264千円

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人

(主な活動内容)

- ・特設人権相談(町内月1回)
- ・特設人権相談(じんけんフェスティバル)
- ・事業所訪問(24事業所)

倉吉人権擁護委員協議会負担金



事業所訪問(人権週間)

【成果】 地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 隣保館運営費	15,112千円	13,538千円

①隣保館管理運営事業 12,725千円

町全体を対象に人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、人権課題解決のための各種事業や相談事業などを行い、さらに福祉の向上につながる取組みを実施した。

事業名		R3年度	R4年度	R5年度
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	同和問題現地研修	3回	6回	3回
	習字教室	24回	24回	24回
	絵本の読み聞かせ	9回	7回	12回
	おしゃべりサロン	11回	9回	12回
	ほくほくパソコンネット講座	8回	-	-
相談件数		59件	56件	86件
施設利用者数		3,601人	2,852人	2,851人

- ・施設維持、改修
- ほくほくプラザ駐車場整備設計業務

【成果】

人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。



分かりやすいじんけんの話

②隣保館関係負担金事業 70千円

鳥取県隣保館連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

③隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)事業 24千円

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことによって事業実施の充実を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 児童館運営費	313千円	106千円

①児童館管理運営事業 80千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	R3年度	R4年度	R5年度
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室（自然体験含）	8回	7回	10回
料理教室	-	-	-
創作教室	5回	3回	2回
科学実験	1回	1回	1回
工作・木工教室	1回	3回	3回
お魚教室	1回	1回	1回
ほくほく食堂	2回	1回	3回
職場訪問（職場体験教室）	2回	3回	3回
長期連携行事（もち米作り）	1回	-	-
異文化を学ぶ（ハロウィン）	1回	-	-
解放子ども会の集い	中止	中止	中止
施設利用者数	8,697人	8,225人	7,574

【成果】 地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。



ほくほく食堂

②児童館関係負担金事業 26千円

- ・全国児童館連合会負担金
- ・鳥取県児童館連絡協議会負担金
- ・鳥取県子ども会育成連絡協議会

【成果】 関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 人権教育費	25,293千円	24,801千円

①人権を学ぶ会事業 452千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民と一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

・人権を学ぶ会

項 目		R3年度	R4年度	R5年度
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	30回	37回	52回
	延参加者	431人	591人	818人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	1回	2回	1回
	延参加者	28人	29人	11人

・各種会議並びに研修会

項 目		R3年度	R4年度	R5年度
人権教育推進協力員会議	実施回数	4回	3回	3回
	延参加者	69人	46人	39人
人権教育地区推進員会議	実施回数	2回	2回	2回
	延参加者	151人	149人	147人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

②人権学習会事業 248千円

小・中学生を対象に人権学習を開催し、仲間づくりや人権に関する知識や認識を広げた。

項 目		R3年度	R4年度	R5年度
人権学習会 (小学生)	実施回数	20回	21回	17回
	参加者	22人	15人	6人
人権学習会 (中学生)	実施回数	44回	38回	24回
	参加者	6人	5人	4人



人権学習会(学習会開講式)

【成果】 参加者が減少したが、お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることにより、自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

③人権教育推進員設置事業 2,702千円

人権教育推進員(1人)を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を務めた。

項 目		R3年度	R4年度	R5年度
人権教育事業所研修 (人権教育推進員)	実施回数	5回	6回	6回
	延参加者	141人	156人	135人
人権教育事業所研修 (事業所自主研修)	実施回数	6回	5回	3回
	延参加者	218人	112人	117人
人権教育職員研修 (北栄町役場)	実施回数	6回	5回	5回
	延参加者	284人	276人	262人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業 20千円

・鳥取県人権教育推進協議会負担金

【成果】 鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 公民館費	53,491千円	52,330千円

①中央公民館管理事業 3,366千円

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館としての機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
開館日数	359日	359日	359日
利用者数※	15,572人	17,501人	18,414人

【成果】 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、徐々に以前のような活気ある生涯学習の拠点施設としての役割を果たすことができた。感染対策や定期的な施設点検を行い、必要な対策をしながら、町民が安心・安全で気軽に利用できる学習施設として、子どもから高齢者まですべての年代を対象に学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

②公民館運営事業 21,903千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 12,757千円

大栄分館の管理運営をNP0法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

中央公民館大栄分館利用実績

年度	R3年度	R4年度	R5年度
開館日数	359日	359日	359日
利用者数※	18,395人 (22,203人)	18,177人 (21,311人)	21,892人 (21,361人)

※（ ）内は大栄こども学級利用者等を別掲

【成果】 民間活力の活用により、すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進を図ることができた。

③公民館講座事業 969千円

ニーズが多様化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広め、心の豊かさや健康的・文化的な生活の向上、教養の向上をめざし、公民館講座を行った。

〔シニアクラブ（高齢者教室）〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に、「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を5月～3月に開催し、生涯学習を推進した。

学習別会員数

年度	R3年度	R4年度	R5年度
総合学習	56人	37人	39人
パソコン	11人	6人	6人
ニュースポーツ	43人	46人	45人
歌 唱	30人	22人	20人
習 字	10人	11人	10人
フラダンス	6人	4人	7人
絵てがみ	12人	8人	10人
食を楽しむ	13人	13人	7人
絵 画	7人	4人	6人



シニアクラブ コース別学習
ニュースポーツ

学習別参加者

内 容		R3年度		R4年度		R5年度	
総合学習		7回	延べ108人	8回	延べ139人	8回	延べ164人
コース別学習		9回	延べ574人	10回	延べ514人	10回	延べ607人
全体学習	開講式・講演	中止	-	1回	58人	1回	57人
	ニュースポーツ交流会	1回	35人	1回	25人	1回	30人
	野外学習	2回	33人	2回	25人	2回	47人
	閉講式・講演	1回	46人	1回	43人	1回	40人

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域課題の解決や多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。

内 容		R3年度		R4年度		R5年度	
青少年対象講座		15回	368人	16回	299人	17回	347人
成人対象講座		7回	97人	18回	279人	22回	314人
民芸実習館活用講座		18回	175人	18回	185人	16回	126人

【成果】 予定通りの講座を開催することができ、青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりが推進できた。

④北栄文芸編集・発刊事業

799千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに、公民館ロビーや自治会公民館、町内金融機関などに文芸誌を配置し、町民が広く文芸に触れ合う場を設けた。

〔発刊実績〕 (R5)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

【成果】 随筆や川柳、短歌など小中高生も含めた町民に幅広く作品を募集し、文芸誌を発行。町内金融機関など町内の各所に配置することにより、北栄町内の各所で文芸に親しむ環境を整えることができた。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業

1,321千円

〔第19回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和5年11月3日(金・祝)～15日(水)】

出展状況 ※特別展示を除く

項目	R3年度	R4年度	R5年度
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	8点	8点	6点
洋画	19点	15点	17点
デザイン	3点	1点	2点
書道	34点	32点	30点
彫刻	1点	0点	0点
版画	8点	8点	8点
写真	18点	18点	18点
工芸	19点	15点	19点
ちぎり絵	10点	9点	9点
切り絵	2点	4点	7点
俳画	0点	0点	0点
絵手紙	12点	11点	9点
和紙あかり	16点	12点	10点
計	150点	133点	135点



美術展表彰式

〔公民館まつり〕

北栄町民を対象に文化・芸術・芸能活動の発展と生涯学習の推進を図るため、公民館まつり実行委員会を組織し、日ごろの創作活動や文化・芸能活動を幅広く町民に発表し、更なる取組の発展を図る。令和5年度は長年懸案事項だった、冬季開催や、出品者の高齢化に伴う作品出品の困難さ解消のための調整の為中止とした。

〔公民館まつり展示・発表状況〕

年度	R3年度	R4年度	R5年度
作品展	28部門320点	27部門318点	日程調整の為
芸能発表会	中止	23組82人	中止



ロビー展

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や、町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】 美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日ごろの取組を発表する場となった。また、来場者には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。

公民館まつりは、長年の懸案事項を解消し、令和6年度から文化団体合同作品展と共催とした。

ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し、創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することが出来た。

⑥中央公民館大栄分館建替事業 6, 435千円

令和5年度からの新規事業。大栄分館の老朽化に伴い、令和6年度に基本・実施・解体工事設計、令和7年度に解体工事・建築工事を実施し、令和8年度中に新大栄分館の運用を予定。令和5年度は地質調査を実施した。

【成果】 地質調査の結果、軟弱な地盤であることが改めて判明し、十分な対策を取る必要性が示された。

⑦成果還元活動費補助金事業 81千円

文化教室等が、作品展示などを町内各所で発表し、地域周辺住民に対しその成果を還元する活動を支援した。コロナの影響がまだ残り、今年度も芸能・音楽などの教室は福祉施設への慰問が実施できず、発表の場が確保しづらい状況にあった。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
団体数	12団体	15団体	21団体
延回数	16回	20回	27回

【成果】 身につけた技術などについて、地域への還元を促進することができ、地域文化の豊かさの醸成に資することが出来た。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑧町文化団体協議会補助金事業 300千円

町民の文化的な生活や生涯学習の推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な活動を支援した。3年ぶりに文化団体合同作品展、湖南省市との文化交流を行うなど、活発な活動を支援した。

【成果】 地域の主体的な文化振興の支援と町民の生涯学習の活性化を図ることができた。

⑨ほくえい未来ラボ事業

768千円

北栄町の住民参画の新しい仕組みとして、学びと研究の場「ほくえい未来ラボ」を19名の参加のもと実施した。令和5年度は「住民と協働で進めるインフラ管理のあり方」をテーマとし、インフラ管理を通じて安心して暮らせる地域づくりについて提案していただいた。

コーディネーター：鳥取大学工学部 長曾我部まどか准教授

全体会：第1回（5/27）、第2回（6/24）、中間発表（9/23）、最終発表（12/10）

講演：NP0法人 bankup 代表理事 中川玄洋 氏

「学生ボランティアから考える協働のまちづくり」（8/31）

【成果】 自らの調査に加え、専門家による講義、外部有識者によるアドバイスなどの学びの場を提供することができ、最終発表では客観的なデータ等に基づいた納得性のある提案をいただくことができた。

また、行政課題の解決に向けた工程を通じて、人づくりに資する取組ともなった。



最終発表の様子

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	8 民芸実習館費	928千円	824千円

①民芸実習館事業

824千円

町民が行う陶芸や油絵などの文化的創作活動が、安心・安全、かつ充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
開館日数	180日	199日	209日
利用者数	1,741人	1,851人	1,929人



木竹教室

【成果】 陶芸教室や木竹教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、文化教室への新規加入促進と施設の有効活用を図ることができた。また、施設の適切な管理を行い、絵画教室等自主的なサークル活動の拠点として安全に活動していただくことができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 図書館費	54,259千円	52,551千円

①図書館管理事業 4,190千円

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となる施設として、適正に維持管理をした。

【成果】 来館者が安心して利用できる環境を提供し、利用につなげることができた。
本館の正面玄関に館内案内図のボードを設置する等、はじめての利用者にもわかりやすい環境整備ができた。

②図書館運営事業 14,234千円

図書館資料の収集、整理、保存を行い、資料相談の充実に努めた。また、講座事業や催しを実施し、住民に親しまれ暮らしに役立つ図書館として、適正に運営した。

・図書購入費（書籍・視聴覚資料等） 5,225 千円

（北条分室・雑誌・AV資料全て含む）

※実利用者数(団体含む)

年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用登録者数	13,693人	13,872人	14,063人
実利用者数	1,809人	1,764人	1,804人
来館者数	47,642人	48,557人	58,911人
貸出冊数	82,683冊	81,096冊	84,256冊
蔵書冊数	140,821冊	139,520冊	136,895冊
資料購入数	4,173冊	4,702冊	3,601冊

主な事業・行事
(図書館本館)

項目	R3年度		R4年度		R5年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
おはなし会	30回	244人	20回	151人	36回	251人
あたまイキイキ音読教室	6回	45人	4回	29人	6回	45人
出前講座	7回	76人	8回	70人	13回	163人
図書館まつり	1日	394人	-	-	-	-

『特集・展示コーナー』

＜特集コーナー＞

【郷土】谷口ジローの世界、鳥取県と音楽、県内旅、足立紳

【一般】自閉症、本屋大賞、カフェのテーマ本、祭&Firework、レールトイ・電車、旅と図書館
ライトノベル、鳥取県の民芸展示、キングダム、動物愛護週間、相続登記、英語本

【児童】みんなのおすすめ特集、雨の絵本、食育の本、星の絵本、自由研究・工作、
おばけ、こわい本

＜ギャラリーゆらり＞※展示の場合

社会を明るくする運動（小中学生の標語の展示）、仕事スタイル写真展、感染症パネル展、
鳥取中央育英高校の作品展示、オレンジガーデニングプロジェクト活動報告展示会等

※その他の用途：コワーキングスペース・フリースペース



鳥取写真家 宮川大志
～初個展 挑戦～
ギャラリーゆらり

(北条分室)

項目	R3年度		R4年度		R5年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	1日	76人	-	-	-	-

「絵本・紙芝居などの読みきかせ」

読み聞かせボランティア「つくしんぼ」により、北条地区のこども園・小学校において毎月1回ずつ実施した。

「特集コーナー」は、分室も本館同様に実施した。

【成果】 資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集やパネル展示など工夫しながら活用することで、町民の多様なニーズに応えることができた。

各種講座、催し物で来館を促し、関連する図書資料の活用につなげることができた。

③図書館魅力化事業

344千円

地域文化や人材を掘り起こし、「地域とつながる図書館」「居心地のよい図書館」につながるような事業を展開した。

<地域とつながる図書館>

夢の図書館プロジェクト（有志12人）、ボードゲーム交流会、推し本交流会、コンサート、新聞記事データ利用のワークショップ、レールトイ企画、ギャラリーゆらりの利活用など

<居心地のよい図書館>

シンボルツリーの設置・図書カフェ出店（事業者数4、出店数7回）



「夢の図書館プロジェクト」企画より
レールトイ2023



「図書カフェ」出店

【成果】 「夢の図書館プロジェクト」では、町民（有志メンバー）主体の企画を取り入れるために、図書館と町民との連携が密となり、図書館もメンバーの「夢」の実現に向けて、後押しすることができた。また、県内図書館職員他にも多くの関心を寄せていただき、話題性のある取組になった。

図書館主体の新規事業も平行して実施し、新たな図書館の魅力を発信することができた。

④絵本でつながるまちづくり事業

525千円

家庭や地域で絵本が活用されるよう「絵本の持つ力」を発信し、「絵本で人と人がつながる町 絵本で子どもが豊かに育つ町 北栄町」としての取組を行った。

○絵本と音楽を楽しむコンサート

期日：12月16日（土）

場所：本館2階 研修室

出演者：ピアノ講師 上川佳巳・宇野三佳子

参加者：55人



絵本と音楽を楽しむコンサート

○ブックスタート（生後7か月児対象）

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう、赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡した。

7か月健診の際、赤ちゃんと保護者に読み聞かせを行い、数種類の中から保護者が選んだ絵本1冊を贈った。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者	95組	99組	86組
配布数	94組	94組	83組

○マタニティ・ファーストブック（母子手帳交付者）

妊娠中の母親がおなかの赤ちゃんに絵本を読んで語りかけることで、母子ともに豊かな時間を過ごし、赤ちゃんの健やかな成長を育むことを目指し、大人向けの絵本1冊と、赤ちゃんのために保護者が選んだ絵本1冊の計2冊を贈った。

年度	R3年度	R4年度	R5年度
対象者	93組	80組	73組
配布数	50組	56組	40組



【ブックスタート】
絵本をバッグに入れてプレゼント



【マタニティ・ファーストブック】
「絵本引換券」で絵本を引き換え

【成果】 「絵本と音楽を楽しむコンサート」での普段とは異なる読み聞かせ体験や、ブックスタートやマタニティ・ファーストブックにより、実際に絵本を手にとって選ぶ体験をとおして、絵本の楽しさに触れ、絵本や読み聞かせへの関心を高めることができた。

⑤開館30周年記念事業

618千円

本館建設30周年を好機と捉え、③図書館魅力化事業と併せて、図書館事業の周知や読書推進につながる事業を展開し、図書館における新規利用者の掘り起こしと、今後の利用促進を図った。

○記念講演とサイン会

演題：「金田一先生の日本一受けたい授業～本は優しい～」

講師： 金田一秀穂氏（言語学者・山梨県立図書館長）

参加者：290人

○レッツゴー図書館30（オリジナルトートバック配布）

○読書通帳・しおりセット（1,000部配布）

○映画試写会（2回）

「かがみの孤城」「ピア～まちをつなぐもの」



【記念講演】～本は優しい～

【成果】 本館誕生の8月1日を起点とし、「図書館カーニバル2023」と銘打ち、途切れなく事業を展開していく中で、本町民のみならず、他市町村の方にも関心を持っていただく等の効果がみられた。北栄町図書館本館建設から30年間の歴史にも触れることができ、周知の幅に広がりを持たせることができた。

⑥図書館関係負担金事業

5千円

鳥取県図書館協会負担金

【成果】 他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供された。また、各種研修や鳥取県図書館大会への参加など、様々な支援・情報が得られ、業務遂行の上で参考になった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	40 新型コロナウイルス臨時交付金事業費	316,049千円	226,706千円

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」及び「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、以下の事業を行った。

個人を対象とした事業

事業名	決算額	事業概要	成果
①住民税非課税世帯等物価高騰支援事業	178,175千円	住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して光熱費の助成を行った。 1回目支給：1,193世帯×64千円＝76,352千円 2回目支給：1,166世帯×85千円＝99,110千円 (充当財源) ・新型コロナ臨時交付金（価格高騰支援分）57,394千円 ・物価高騰支援交付金91,451千円 ・県物価高騰支援補助金29,026千円	支給世帯の生活安定につながった。

事業者を対象とした事業

事業名	決算額	事業概要	成果
②町内消費拡大支援事業	40,252千円	「ほくほくカード」に電子マネーチャージをした方に、チャージ金額の20%分ポイントを付与する生活応援キャンペーンを実施した。 (充当財源) ・新型コロナ臨時交付金（価格高騰支援分）20,102千円 ・物価高騰支援交付金20,150千円	キャンペーンポイントを付与することで、町内の消費喚起及び、町民生活を応援するとともに、新しい生活様式に対応した非接触型決済を推進し、地域経済の活性化につながった。

農業を対象とした事業

事業名	決算額	事業概要	成果
③畜産経営緊急救済事業	5,411千円	飼料価格等の高騰により経営が圧迫された畜産農家を支援した。 ①酪農経営 ②肉牛経営 (充当財源) ・新型コロナ臨時交付金（価格高騰支援分）5,411千円	生産者に対し、飼料価格高騰の影響を緩和することができた。
④肥料価格高騰対策事業（繰越事業）	2,868千円	肥料価格高騰の影響緩和と化学肥料の低減を目的に、農家に対して肥料高騰分の一部を支援した。 令和4年秋肥（令和4年6月～10月注文） 令和5年春肥（令和4年11月～令和5年5月注文） (充当財源) ・新型コロナ臨時交付金（価格高騰支援分）2,818千円	肥料価格の高騰分を支援することにより、農業経営への影響を緩和することができた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
国民健康保険事業特別会計	1,939,707千円	1,775,696千円

1 国民健康保険税の収納状況

(単位：千円・%)

区 分		R3年度		R4年度			R5年度		
		収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	一般被保険者分	422,919	99.3	397,091	396,341	99.8	390,755	388,918	99.5
	退職被保険者等分	397	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	計	423,316	99.3	397,091	396,341	99.8	390,755	388,918	99.5
滞納繰越分	一般被保険者分	4,267	55.2	6,045	3,345	55.3	1,507	1,084	71.9
	退職被保険者等分	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	計	4,267	55.2	6,045	3,345	55.3	1,507	1,084	71.9
合 計		427,583	98.5	403,136	399,686	99.1	392,262	390,002	99.4

2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位：件・千円)

区 分	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
療養給付	58,416	1,033,840	58,317	1,051,614	56,775	1,061,526
療養費	296	5,494	301	2,561	326	5,512
審査支払手数料	—	3,708	—	3,699	—	3,595
高額療養費	2,492	157,124	2,493	155,599	2,394	162,625
高額介護合算療養費	0	0	10	207	9	106

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付（保険者負担分7割～8割及び高額療養費等）を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位：件・千円)

区 分	R3年度		R4年度		R5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	0	0	1	193
出産育児一時金	10	4,200	6	2,508	6	3,000
葬祭費	24	360	27	405	21	315

【成果】 出産育児・葬祭等に要する経費について給付を行い、経済的な負担を軽減した。

4 特定健康診査受診状況

	R3	R4	R5
特定健診受診率	41.0%	44.6%	42.5%

(※R5は速報値)

5 国民健康保険の加入状況（年間平均） 年報数値（各年月報4月～3月報告）

区 分	R3年度	R4年度	R5年度
世 帯 数	2,230世帯	2,166世帯	2,113世帯
被保険者数 (一般被保険者のみ、退職被保険者なし)	3,853人	3,697人	3,558人
介護保険第2号被保険者数	1,093人	1,052人	1,031人

R3年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		76人	359人	6人	15人	0人	25人	481人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		61人	274人	3人	24人	170人	26人	558人

R4年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		74人	379人	0人	10人	0人	6人	469人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		63人	327人	5人	29人	246人	15人	685人

R5年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		69人	422人	3人	13人	0人	8人	515人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		61人	283人	4人	21人	226人	10人	605人

6 療養の給付等の内訳 年報数値（各年月報6月～5月報告：現物給付3月診療～2月診療）

区 分	R3年度		R4年度		R5年度	
	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)
入 院	516,567	134,069	548,369	148,328	605,886	170,288
入院外	513,974	133,396	484,225	130,978	441,278	124,024
歯 科	80,102	20,790	86,609	23,427	89,037	25,024
調 剤	261,806	67,949	274,501	74,250	269,506	75,746
食事療養	20,250	5,256	24,918	6,740	23,224	6,527
訪問看護	6,501	1,687	6,616	1,790	5,857	1,646
合 計	1,399,200	363,147	1,425,238	385,513	1,434,788	403,255

会 計 名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	1,849,755千円	1,637,960千円

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者（40歳以上）が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「介護予防教室」、「こけないからだ講座」等の拡充及び「地域ケア会議」を実践、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。



地域ケア会議

月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、歯科医師、薬剤師、リハビリ専門職、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議した。また、この会議を基に地域課題の検討会を実施した。

	R3年度	R4年度	R5年度
対象件数	50件	36件	56件

【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目し、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。また、社会福祉協議会と地域課題を共有することで、地域との関わり・連携に繋がっている。

決算は、歳入総額17億9,997万5千円、歳出総額16億3,796万円、実質収支額は1億6,201万5千円であった。

1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R5年3月末	62人	106人	127人	172人	97人	111人	81人	756人
R6年3月末	68人	111人	135人	180人	108人	110人	72人	784人
※死亡者	2人	5人	13人	21人	21人	35人	38人	135人

※令和5年度中に死亡した認定者数

(2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位：人)

申請区分		審査結果									
		申請件数	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当	申請取下
①新規申請		199	31	30	45	32	14	11	11	17	8
更 新	支援1	22	12	3	6	0	0	0	0	1	0
	支援2	33	2	24	1	6	0	0	0	0	0
	介護1	56	0	0	26	23	5	2	0	0	0
	介護2	55	2	6	4	21	12	7	3	0	0
	介護3	23	0	1	1	4	11	4	2	0	0
	介護4	35	0	0	1	6	9	16	3	0	0
	介護5	12	0	0	0	0	2	4	6	0	0
②小計		236	16	34	39	60	39	33	14	1	0
変 更	支援1・2の者	46	0	2	13	13	4	3	2	1	1
	介護1～5の者	59	0	0	0	6	10	22	18	0	3
	③小計	105	0	2	13	19	14	25	20	1	4
合計 (①+②+③)		540	47	66	97	111	67	69	45	19	12

2 地域支援事業

52,257 千円

(1) 介護予防・生活支援サービス事業 38,550 千円

●訪問型サービス

事業名	延人数	開催回数	備 考
介護予防訪問介護相当サービス	278人		

●通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備 考
介護予防通所介護相当サービス	851人		
筋力アップ教室北条	285人	48回	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	431人	48回	通所型サービスA
リフレッシュ教室	374人	48回	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	385人	48回	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わ一会！	181人	47回	通所型サービスA

●介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備 考
筋力アップ教室北条	11人	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	13人	通所型サービスA
リフレッシュ教室	12人	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	11人	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わ一会！	7人	通所型サービスA

●介護予防サービス計画書作成

		R3年度	R4年度	R5年度
事業所委託	件 数	1,242 件	1,157 件	1,145 件
	委託料	5,423 千円	4,966 千円	5,151 千円
包括直営	件 数	594 件	666 件	709 件

(2) 一般介護予防事業

9,220 千円

●介護予防普及啓発事業

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアファイト教室	318人	48回	
転倒予防教室	206人	24回	
生きがいデイサービス	838人	103回	
脳活クラブ	243人	47回	
認知症サポーター養成講座	215人	6回	
介護予防講座	177人	14回	

●地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	件数	参加人数	備考
お口の機能向上事業	3回	57人	
リハビリ専門職派遣事業(個別)	13回	13人	
リハビリ専門職派遣事業(通いの場)	26回	309人	

●オレンジガーデニングプロジェクト

認知症の啓発カラーであるオレンジ色の花を楽しみながら育てて、認知症について考えるプロジェクトを実施し、認知症の啓発を図った。

協力機関	機関数	備考
介護サービス事業所	6ヶ所	高齢者と園児が交流しながら種まきを実施した。
こども園・保育所	6ヶ所	
小中学校	4ヶ所	
その他	4ヶ所	オレンジカフェなど

(3) 包括的支援事業・任意事業 4,217 千円

①在宅医療・介護連携推進事業 45 千円

2次医療圏である中部圏域1市4町、医師会、倉吉保健所協働にて、研修会の開催や情報共有支援、社会資源マップを作成し医療・介護関係機関の連携を図った。

	延参加者	開催回数	備考
地域づくりしよいやの会	293人	3回	オンライン開催

	R3年度	R4年度	R5年度	備考
退院調整率	未実施	89.5%	85.9%	
入院時連携シート提出率	未実施	83.9%	84.6%	

②認知症総合支援事業 3,470 千円

認知症の人とその家族、地域の人、専門職など、どんな人でも気軽に集える場としてNP0法人まちづくりネットと共催し「オレンジカフェ」を開催し、相談等に対応した。

開催回数	実人数	延件数	備考
24回	69	454	送迎あり、R5～北条地区でも開催

③任意事業 703 千円

主な事業名	延人数	開催回数	備考
在宅介護者慰労事業	24人	2回	
家族介護用品支給事業	87人		交付枚数／実人数9人
認知症の人と家族のつどい	51人	12回	

●ほくえい見守り安心ネット

認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度
協力機関登録数	38箇所	38箇所	41箇所
事前登録者	14人	14人	23人
GPS利用助成者	0人	0人	0人

3 介護保険給付費

区 分	種 別	延件数 (件)	給 付 額 (円)
居宅（介護予防）サービス	訪問介護	514	50,656,580
	訪問入浴介護	24	982,800
	訪問看護	629	21,532,386
	訪問リハビリテーション	333	10,784,012
	居宅療養管理指導	176	845,352
	通所介護	2,238	252,659,333
	通所リハビリテーション	1,669	125,799,061
	短期入所生活介護	173	26,239,551
	短期入所療養介護（介護老人保健施設）	284	20,721,600
	福祉用具貸与	3,590	45,441,421
	福祉用具購入費	46	1,288,275
	住宅改修費	55	3,414,675
	特定施設入居者生活介護	3	781,974
	居宅介護支援計画	5,109	65,423,090
	計		626,570,110
地域密着型（介護予防）サービス	地域密着型通所介護	3	175,374
	認知症対応型通所介護	13	2,862,252
	小規模多機能型居宅介護	339	51,055,149
	認知症対応型共同生活介護	873	227,519,058
	計		281,611,833

施設介護サービス	介護老人福祉施設	542	145,961,548
	介護老人保健施設	1,252	373,538,085
	計		519,499,633
小計			1,427,681,576

特定入所者（介護予防）サービス等	特定入所者介護サービス費	食費	1,009	19,385,963
		居住費	1,034	9,307,750
	計			28,693,713

高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,039	27,322,513
	高額医療合算サービス費	110	2,768,970
	計		30,091,483

諸費	審査支払手数料	17,718	1,683,210
----	---------	--------	-----------

介護給付費合計額			1,488,149,982
----------	--	--	---------------

【成果】 介護予防教室や地域ケア会議等の取組により、事業計画内での給付費の決算となった。

4 介護保険料の収納状況

（単位：千円）

区 分	R3年度		R4年度		R5年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	333,222	100.0	336,502	100.0	338,006	338,006	100.0
現年度分普通徴収	23,134	96.1	26,432	99.3	26,736	26,509	99.2
滞納繰越分	1,086	82.2	607	99.9	183	182	99.5
計	357,442	99.7	363,541	99.9	364,925	364,697	99.9

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
65歳以上人口	5,194 人	5,198 人	5,223 人
高齢化率	35.7 %	36.2 %	36.9 %
介護認定者数	764 人	756 人	784 人
65歳以上	756 人	751 人	777 人
40～64歳	8 人	5 人	7 人
認定率	14.6 %	14.4 %	14.9 %
介護給付費	1,541,630千円	1,448,195千円	1,488,150千円

※住所地特例被保険者含む

要介護認定者数における年度末の状況

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
要支援1	65人	62人	68人
要支援2	110人	106人	111人
要介護1	130人	127人	135人
要介護2	164人	172人	180人
要介護3	103人	97人	108人
要介護4	116人	111人	110人
要介護5	76人	81人	72人
合 計	764人	756人	784人

介護保険の資格取得者・喪失者の状況

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
取得者（65歳到達・転入）	240人	216人	250人
喪失者（死亡・転出）	228人	208人	217人
増 減	12人	8人	33人

居宅サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
要支援1	28人	27人	34人
要支援2	80人	82人	79人
要介護1	100人	103人	100人
要介護2	105人	111人	123人
要介護3	57人	51人	41人
要介護4	37人	48人	45人
要介護5	20人	20人	15人
合 計	427人	442人	437人

地域密着型サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
要支援1	5人	5人	3人
要支援2	3人	4人	1人
要介護1	14人	8人	15人
要介護2	40人	38人	29人
要介護3	24人	22人	26人
要介護4	11人	17人	16人
要介護5	9人	11人	8人
合 計	106人	105人	98人

施設サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R3年度	R4年度	R5年度
介護老人福祉施設	54人	45人	44人
介護老人保健施設	110人	91人	100人
介護療養型医療施設	0人	0人	0人
合 計	164人	136人	144人

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
農業集落排水事業特別会計	13,190千円	11,963千円

北条島地区農業集落排水事業（平成9年5月供用開始）に係る維持管理費

目 的 北条島における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した農業集落排水設備の適正管理。

処理施設 クリーンセンター島

整備期間 平成6年度 ～ 平成8年度

令和5年度の歳出では予算現額 13,190千円に対し決算額 11,963千円となった。歳入では約60%を占める一般会計繰入を収支0円とするよう歳出に合わせて行うため同じく決算額11,963千円となった。

1 令和5年度末 接続戸数 76戸

2 維持管理経費

- ・光熱水費 779千円
- ・修繕等 28千円
- 川西マンホールポンプ場制御盤換気ファン取替
- ・通信費（監視装置回線料等） 59千円
- ・汚泥採取処分手数料 70.14t 889千円
- インバート（枅）汚水移送作業（処理場内最終MH）、汚泥引抜作業ほか
- ・処理施設維持管理委託料 1,092千円
- 施設維持管理業務、自治会委託（植栽管理、施設清掃、利用者水質管理ほか）
- ・その他（建物災害共済） 4千円

3 起債償還状況

- ・ 令和5年度償還額 元金 8,452千円
- 利子 643千円
- 合計 9,095千円

起債償還終了年度 令和8年度
（起債償還残高 14,807千円 R6.3.31現在）

【成果】 令和5年度においては故障や経年破損等による修繕件数も少なく、適正な維持管理に努めることができた。



農業集落排水事業の処理施設クリーンセンター島から処理した汚泥を年間3回程度、一般廃棄物として中部クリーンセンター（し尿処理場 倉吉市小田）へ運搬

農集	R6.3月末	世帯数 ①	人口 ②	整備済			水洗化			未水洗化	
				世帯③	人口	率③/②	世帯④	人口	率④/③	世帯	人口
	北条島	77戸	217人	77戸	217人	100%	76戸	216人	98.7%	1戸	1人

●収納状況（現年＋滞納繰越）

	R3年度	R4年度	R5年度
調定	4,415,742円	4,437,112円	4,253,099円
収納	4,415,742円	4,437,112円	4,253,099円
収納率	100.00%	100.00%	100.00%
未収	0円	0円	0円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
栄財産区特別会計	952千円	747千円

栄財産区に栄財産区管理会を設置し、保有財産等の適切な維持管理を行った。
管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
8月23日	5人	令和4年度決算審議
12月6日	6人	令和6年度当初予算協議

2 事業等の状況

- ・栗林の管理 草刈1回（9/19～20）
- ・栗拾いイベント 開催日：令和5年9月27日～10月9日、参加者数：約110人

3 財政調整基金の状況（単位：千円）

	R3年度	R4年度	R5年度
基金残高	65,433	65,433	65,983

4 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積（㎡）
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

（前年度末に変動なし）



東高尾地内にある栗木

(2) 保安林指定

森林の所在地	面積（㎡）
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-317	6,014
計	363,249

（前年度末に変動なし）

【成果】 区有地を維持管理できた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
合併処理浄化槽事業特別会計	14,326千円	3,407千円

浄化槽市町村整備推進事業により、対象地域に設置した合併処理浄化槽の維持管理

目 的 公共下水道処理区域外の地域における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した合併処理浄化槽の適正管理。

全体計画 合併処理浄化槽 (5人槽～21人槽)

整備期間 平成18年度 ～ 平成20年度

対象地域 浄化槽による汚水処理が、経済的・効率的である地域
青木、岩坪、高千穂及び、由良宿3区・下種・松神・田井・北尾・江北浜
東新田場・米里の各一部

令和5年度の歳出では予算現額 14,326千円に対し決算額3,407千円となった。歳入では決算額14,290千円となった。不用額の10,883千円は令和6年度より法適化に伴い、下水道事業会計合併処理浄化槽事業セグメントに全額引き継いだ。

1 整備状況（全52基うち、住宅用45基／事業所用7基）

平成18年度	23 基	（うち寄付採納分1基）
平成19年度	27 基	（うち寄付採納分1基）
平成20年度	2 基	
合 計	52 基	（接続済51接続率98%）

2 維持管理経費

法定検査手数料（11条）	280千円
保守点検清掃委託料 ※打ち切り決算後支出	
修繕費(5件)	398千円

3 起債償還状況

令和5年度償還額	元金	2,016千円
	利子	714千円
	合計	2,730千円

・起債償還終了年度 令和20年度
（起債償還残高 31,806千円 R6.3.31現在）



浄化槽清掃作業の様子

【成果】 令和5年度においては故障や経年破損等による修繕件数は減少した。今後も、早期の不具合対応による生活排水処理を適切に実施していく。

合併処理 浄化槽	R6.3月末	世帯数 ①	人口 ②	整備済			水洗化			未水洗化	
				世帯③	人口	率③/②	世帯④	人口	率④/③	世帯	人口
	旧北条地区	7戸	17人	7戸	17人	100%	7戸	17人	100%	0戸	0人
	旧大栄地区	41戸	122人	41戸	122人	100%	40戸	117人	98%	1戸	5人
	合計	48戸	139人	48戸	139人	100%	47戸	134人	98%	1戸	5人

※上記「整備状況」うち住宅用45基48戸（一部 1基2世帯利用によるものあり）の水洗化等の状況

●収納状況（現年＋滞納繰越）

	R3年度	R4年度	R5年度
調定	2,863,907円	2,703,116円	2,701,834円
収納	2,863,907円	2,703,116円	2,700,155円
収納率	100.00%	100.00%	99.94%
未収	0円	0円	1,679円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
大栄歴史文化学習館特別会計	114,896千円	98,413千円

「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家・青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここに訪れる人々に彼の作品を通し青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。

総入館者数 180,607 人 (うち有料入館者数 170,153 人)

入場料収入 98,344,679 円

有料入館者(数)の内訳

種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計
R3	56,344人	8,384人	12,358人	25人	77,111人
R4	95,438人	10,534人	17,645人	581人	124,198人
R5	132,908人	13,576人	20,426人	3,243人	170,153人
前年比	139.3%	128.9%	115.8%	558.2%	137.0%

誘客活動 令和5年度は、新型コロナの5類移行により人流が活発になったのに合わせ、ワークショップなどお客様との距離が近いイベントを充実させた。また、入館者数が減少してくるGW後や夏休み後に青山先生・キッド誕生日記念の特別ノベルティ配布や「紅の修学旅行編」特別原画展を行うことによって繁忙期以外の誘客を行った。

展示以外では、県内外の旅館等の施設に割引券を設置し、観光客の誘客を進めた。併せて、下記イベント実施や加西、宝塚北サービスエリアへの広告掲出、旅行雑誌等への広告掲載を行うことで県内外への誘客活動も進めた。

このほか、SNS発信にも注力し、X(旧Twitter)フォロワー数が11万人を超えた。また、お客様アンケートを継続して行い、入館状況などの把握に取組んだ。

1 イベントの実施

- 4月 謎解きARラリー黒の組織編(3月から開催)
GWイベント
青山先生&怪盗キッド誕生日メッセージ募集
- 5月 映画「黒鉄の魚影」公開記念イベント
- 6月 青山先生&怪盗キッド誕生日イベント
すいか・ながいも健康マラソン入館料割引
- 7月 夏休み体験イベント、謎解きラリー2023夏休み編
暑中見舞いはがき販売
七夕イベント
名探偵イラストコンテスト作品募集
- 8月 名探偵コナンまつり開催記念イベント
- 9月 日本海新聞主催イベント「コナンと蘭の謎解き散歩道」
映画「黒鉄の魚影」リバイバル上映記念イベント
映画「黒鉄の魚影」興行収入100億突破記念イベント
- 10月 倉吉警察署イベント
町民無料デー
ハロウィンイベント
- 11月 紅の修学旅行編関連ワークショップイベント
館公式X(旧Twitter)フォロワー10万人突破記念キャンペーン
青山剛昌作品キャラクターイラスト年賀状募集
- 12月 クリスマスイベント
年賀状販売
- 1月 青山剛昌先生と話そうDAY2024
お正月イベント
- 2月 バレンタインデー・ホワイトデーイベント
- 3月 開館17周年記念イベント

2 館内展示の入れ替え、新設

通年 青山剛昌名探偵コナン特別原画展 第1期～第6期
2月～9月 黒鉄の魚影グッズ展示
4月～8月 ハロウィングリーディングカード展示
9月～R6.1月 紅の修学旅行編 原画・グッズ展示
R6.2月～4月 から紅の恋歌原画展示

3 館内設備の整備

プロジェクションマッピング用プロジェクター取替
探偵団広場ビートル近辺のモルタル舗装
原画保存庫エアコン設置
コミックスウォールに101巻～103巻を追加
砂畑のポンプ小屋改修
駐車場案内看板美装
ゾートロープ塗装

【成果】 新型コロナ5類移行および誘客活動により当初目標としていた有料入館者数14万人を上回る、18万607人の入館（有料入館は17万153人）があった。

- ・季節イベントの開催により、通年で継続的な誘客を行った。
- ・繁忙期の前売券販売により、お客様の満足度向上や入館待ち時間の短縮を行った。
- ・繁忙期外にノベルティ配布や特別展示を行うことにより、6月・11月・2月・3月は過去最高の入館者数となった。
- ・割引券の設置や雑誌広告により、県内外から多くの誘客を行った（割引券利用者数6,785人）。
- ・Twitterのフォロワー数強化を行い、ファン層の関心の高い投稿を行った。結果、フォロワー数11万人を達成した。
- ・入館状況把握のため館内アンケートを行い、2,829件のアンケートが集まった。分析を行い、館運営の参考としていく。

今後は、誘客促進と企画・広報活動の継続および新館オープンに向けての話題作りや準備などを行う。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
後期高齢者医療事業特別会計	230,903千円	219,607千円

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1 後期高齢者医療保険料の収納状況

(単位：千円・%)

区 分	R3年度			R4年度			R5年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分	129,534	129,053	99.6	153,855	153,837	99.9	165,748	165,097	99.6
過年度賦課分			-	-	-	-	-	-	-
滞納繰越分	480	413	86.0	533	531	99.6	19	17	89.4
計	130,014	129,466	99.5	154,388	154,368	99.9	165,767	165,114	99.6

2 被保険者数

※ 65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

区 分		令和4年 3月末現在 (人)	令和5年 3月末現在 (人)	令和6年 3月末現在 (人)
被保険者数	65歳 ～ 69歳※	13人	16人	13人
	70歳 ～ 74歳※	27人	18人	12人
	75歳 ～ 79歳	785人	934人	1,009人
	80歳 ～ 84歳	651人	634人	679人
	85歳 ～ 89歳	603人	583人	541人
	90歳 ～ 94歳	327人	347人	355人
	95歳 ～ 99歳	109人	115人	125人
	100歳 ～	28人	23人	21人
	計	2,543人	2,670人	2,755人

3 療養の給付等の内訳

区 分	R3年度		R4年度		R5年度	
	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)
入 院	1,322,512	520,060	1,405,728	526,490	1,339,474	486,197
入院外	613,180	241,125	607,844	227,657	640,258	232,399
歯 科	48,266	18,980	54,756	20,508	66,834	24,259
調 剤	331,177	130,231	381,828	143,007	403,166	146,340
食事療養	63,046	24,792	62,445	23,388	61,189	22,210
食事療養歯科	0	0	0	0	0	0
訪問看護	18,182	7,150	16,009	5,996	24,865	9,025
合 計	2,396,363	942,338	2,528,610	947,046	2,535,786	920,430

【成果】 生活習慣病予防等の取組により、療養の給付の抑制を図った。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（収益的支出）	274,967千円	234,812千円

水道事業の概要

年間配水量は、1,878,627m³で、前年度に比べ 0.2%の減少、年間給水量は、1,439,307m³で、前年度に比べ 0.9%の減少となった。

この結果、年間有収水量率は、76.6%で、前年度に比べ 0.6ポイント減少となった。

事項	R3年度	R4年度	R5年度
年度末給水人口（人）	14,513	14,353	14,159
年度末給水戸数（戸）	5,418	5,456	5,457
年度末給水栓数（栓）	5,979	6,000	5,980
年間配水量（m ³ ）	1,779,310	1,881,901	1,878,627
年間1カ月平均配水量（m ³ ）	148,276	156,825	156,552
年間給水量（m ³ ）	1,497,033	1,452,162	1,439,307
年間1カ月平均給水量（m ³ ）	124,753	121,014	119,942
年間有収水量率（%）	84.1	77.2	76.6

1. 収益的収入

(単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	261,195,253	89.2%	248,876,974	90.7%	245,970,751	90.8%
営業外収益	31,463,594	10.8%	25,554,679	9.3%	24,984,990	9.2%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	292,658,847	100.0%	274,431,653	100.0%	270,955,741	100.0%

2. 収益的支出

(単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	192,007,140	90.4%	202,478,842	89.3%	211,480,747	90.1%
営業外費用	20,360,966	9.6%	24,216,680	10.7%	23,331,596	9.9%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	212,368,106	100.0%	226,695,522	100.0%	234,812,343	100.0%

【成果】 安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。

老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。

●水道料金 収納状況

(単位：千円)

現年	R3年度	R4年度	R5年度
調定	250,594	243,284	241,163
収納	248,383	240,517	238,499
収納率	99.12%	98.86%	98.90%
未収	2,210	2,767	2,664

(単位：千円)

滞納繰越	R3年度	R4年度	R5年度
調定	2,628	2,992	3,611
収納	1,846	2,148	2,880
収納率	70.23%	71.79%	79.76%
未収	782	844	731

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（資本的支出）	193,720千円	105,861千円

1. 資本的収入

(単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
工事負担金	3,734,500	4.4%	3,842,560	9.2%	1,980,330	5.5%
企業債	80,800,000	95.6%	38,000,000	90.8%	34,000,000	94.5%
計	84,534,500	100.0%	41,842,560	100.0%	35,980,330	100.0%

2. 資本的支出

(単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	149,173,731	70.0%	63,196,861	50.8%	48,349,958	45.7%
企業債償還金	63,786,261	30.0%	61,129,202	49.2%	57,510,858	54.3%
計	212,959,992	100.0%	124,326,063	100.0%	105,860,816	100.0%

(建設改良費内訳)

- 配水施設等改良費 46,419千円
 - 送水ポンプ場改修工事、配水管改良工事等
 - ・工事請負費 34,514千円
 - 配水管改良工事（田井工区）

- 営業設備費 1,967千円
 - ・取替量水器購入 1,967千円

○北栄町水道ビジョン

- ・策定：令和6年3月
- ・計画期間：令和6年度～15年度（10年間）
- ・基本理念：「安全・安心な水を安定供給し
続け、快適な生活を支える北栄の水道」

北栄町水道ビジョン

令和6年3月
鳥取県北栄町



会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（収益的支出）	900,388千円	835,013千円

下水道事業の概要

処理区域内人口は、13,782人で、前年度に比べ 203人の減少、水洗化率は、92.7%で、前年度に比べ0.4ポイントの上昇となった。

この結果、年間有収水量は1,243,710m³で、前年度に比べ 約0.6%の減少となった。

事項	R3年度	R4年度	R5年度
行政区域内人口（人）	14,613	14,451	14,246
処理区域内人口（人）	14,134	13,985	13,782
水洗化人口（人）	12,965	12,904	12,781
普及率（%）	100	100	100
水洗化率（%）	91.7	92.3	92.7
年間有収水量（m ³ ）	1,280,092	1,250,621	1,243,710
使用料単価（円/m ³ ）税抜	202.5	202.4	202.5

1. 収益的収入

（単位：円）

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	834,168,847	80.8%	767,075,938	79.7%	279,123,733	27.4%
営業外収益	197,940,052	19.2%	195,611,532	20.3%	739,193,671	72.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,032,108,899	100.0%	962,687,470	100.0%	1,018,317,404	100.0%

2. 収益的支出

（単位：円）

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	673,979,756	82.3%	679,056,301	84.9%	723,193,315	86.6%
営業外費用	144,597,520	17.7%	120,739,238	15.1%	111,819,206	13.4%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	818,577,276	100.0%	799,795,539	100.0%	835,012,521	100.0%

【成果】 下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

●下水道使用料 収納状況（単位：千円）

現年	R3年度	R4年度	R5年度
調定	285,135	278,417	277,464
収納	282,949	275,566	274,744
収納率	99.23%	98.98%	99.02%
未収	2,186	2,851	2,719

（単位：千円）

滞納繰越	R3年度	R4年度	R5年度
調定	2,940	3,213	3,822
収納	1,913	2,230	3,125
不納欠損	-	13	5
収納率	65.05%	69.41%	81.76%
未収	1,028	970	692



マンホール清掃

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（資本的支出）	941,396千円	872,711千円

1. 資本的収入

(単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
企業債	91,100,000	22.5%	144,500,000	20.4%	55,700,000	12.8%
他会計出資金	247,162,000	60.7%	392,382,000	55.3%	321,912,000	74.1%
国庫補助金	65,609,000	16.1%	170,771,000	24.1%	54,920,000	12.6%
負担金等	3,255,580	0.8%	1,820,120	0.3%	1,946,760	0.3%
計	407,126,580	100.0%	709,473,120	100.0%	434,478,760	100.0%

2. 資本的支出

(単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	140,766,638	15.6%	333,800,078	30.5%	127,626,558	14.6%
固定資産購入費	357,500	0.0%	0	0.0%		0.0%
企業債償還金	760,514,851	84.3%	760,718,028	69.6%	745,084,047	85.4%
計	901,638,989	100.0%	1,094,518,106	100.0%	872,710,605	100.0%

(建設改良費内訳)

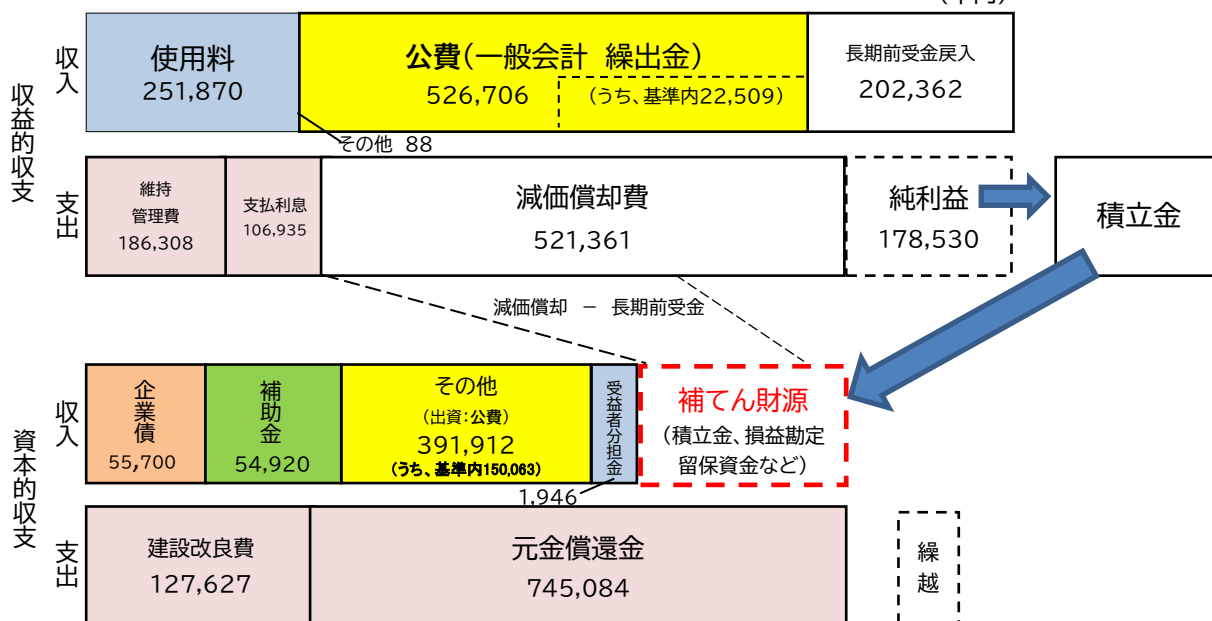
○管路建設改良費	54,100千円
（北条島公共下水道接続工事（1工区）	11,138千円
○処理場建設改良費	68,852千円
○流域下水道建設費負担金	4,674千円



接続工事に使うレジンマンホールの検査

参照：令和5年度 下水道事業会計(決算) より (税抜)

(千円)



現金を伴うもの

現金を伴わないもの

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計（収益的支出）	409,281千円	365,980千円

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和5年度で19年目を迎えている。

1,500kW／9基 総定格出力 13,500kW

1. 収益的収入 (単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	408,540,468	91.8%	406,146,243	91.7%	456,045,805	92.6%
財務収益	2,490,517	0.6%	2,520,230	0.6%	2,551,448	0.5%
事業外収益	33,951,531	7.6%	34,271,890	7.7%	33,953,907	6.9%
計	444,982,516	100.0%	442,938,363	100.0%	492,551,160	100.0%

2. 収益的支出 (単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	389,653,563	96.2%	358,980,479	95.3%	341,032,693	93.2%
事業外費用	15,194,600	3.8%	17,620,600	4.7%	24,946,900	6.8%
計	404,848,163	100.0%	376,601,079	100.0%	365,979,593	100.0%

3. 視察・見学者 123人 (8団体)

4. 年間発電量

売電実績 20,205,840kWh

(単位：kWh)

月	過去平均 売電電力量 (H17～R4) ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量（実績） ③	過去平均と の比較 ③/①	売電電力量 達成率 ③/②
R5.3	2,418,467	2,850,552	1,518,960	62.8%	53.3%
4	1,929,108	1,562,004	1,775,280	92.0%	113.7%
5	1,437,491	1,250,883	1,389,120	96.6%	111.1%
6	840,023	1,581,444	857,760	102.1%	54.2%
7	984,080	1,082,403	1,138,800	115.7%	105.2%
8	911,036	1,122,174	996,720	109.4%	88.8%
9	1,206,892	1,698,894	896,400	74.3%	52.8%
10	1,563,241	1,717,281	1,455,120	93.1%	84.7%
11	1,947,639	2,156,787	2,004,720	102.9%	92.9%
12	2,601,281	2,678,832	2,779,920	106.9%	103.8%
R6.1	2,435,283	3,805,380	2,574,720	105.7%	67.7%
2	2,348,980	2,425,950	2,818,320	120.0%	116.2%
年計	20,623,521	23,932,584	20,205,840	98.0%	84.4%

【成果】 風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間8,466tのCO₂を削減した。
また、純利益は125,331,567円となった。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計（資本的支出）	100,000千円	100,000千円

1. 資本的収入
なし

2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R3年度		R4年度		R5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
基金積立金	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%
計	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%

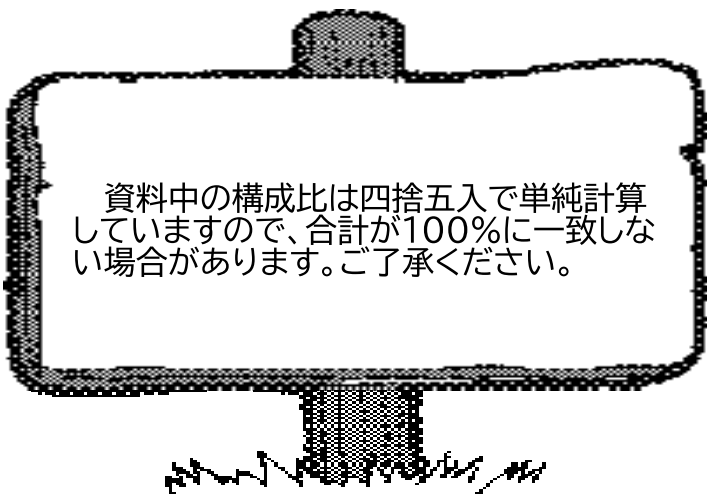
(内訳)

○基金積立 100,000千円

3. 基金 (単位：円)

R4年度末残高	新規積立	取り崩し	R5年度末現在高
982,654,735	100,000,000	0	1,082,654,735

資 料 編



資料中の構成比は四捨五入で単純計算
していますので、合計が100%に一致しな
い場合があります。ご了承ください。

令和5年度各会計別決算状況

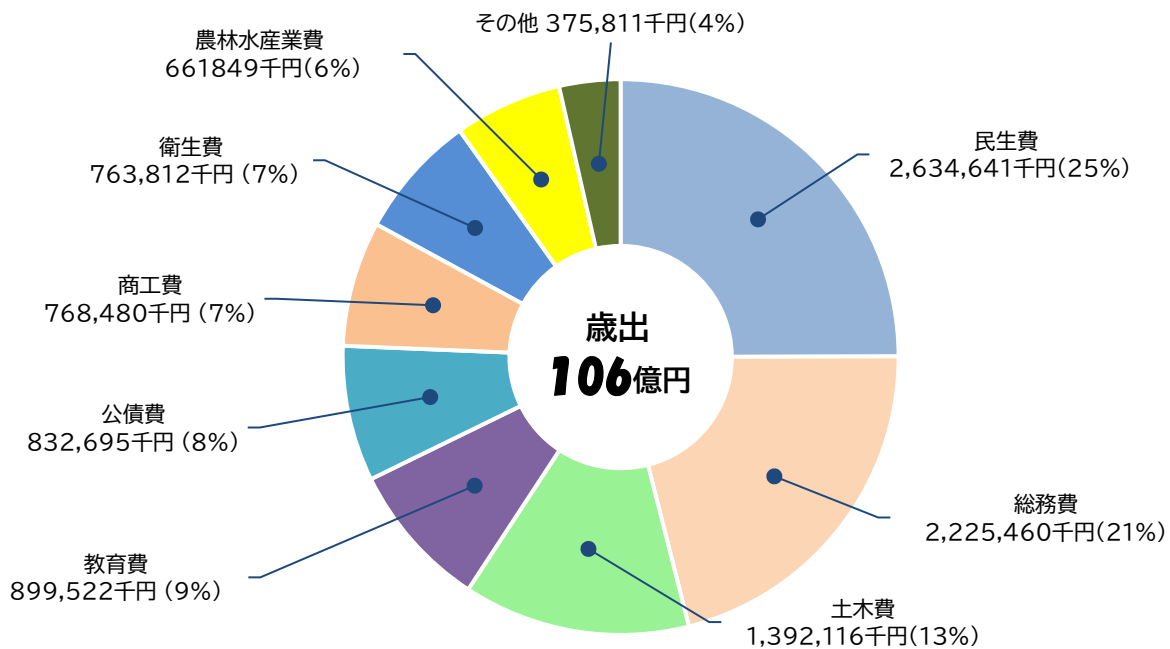
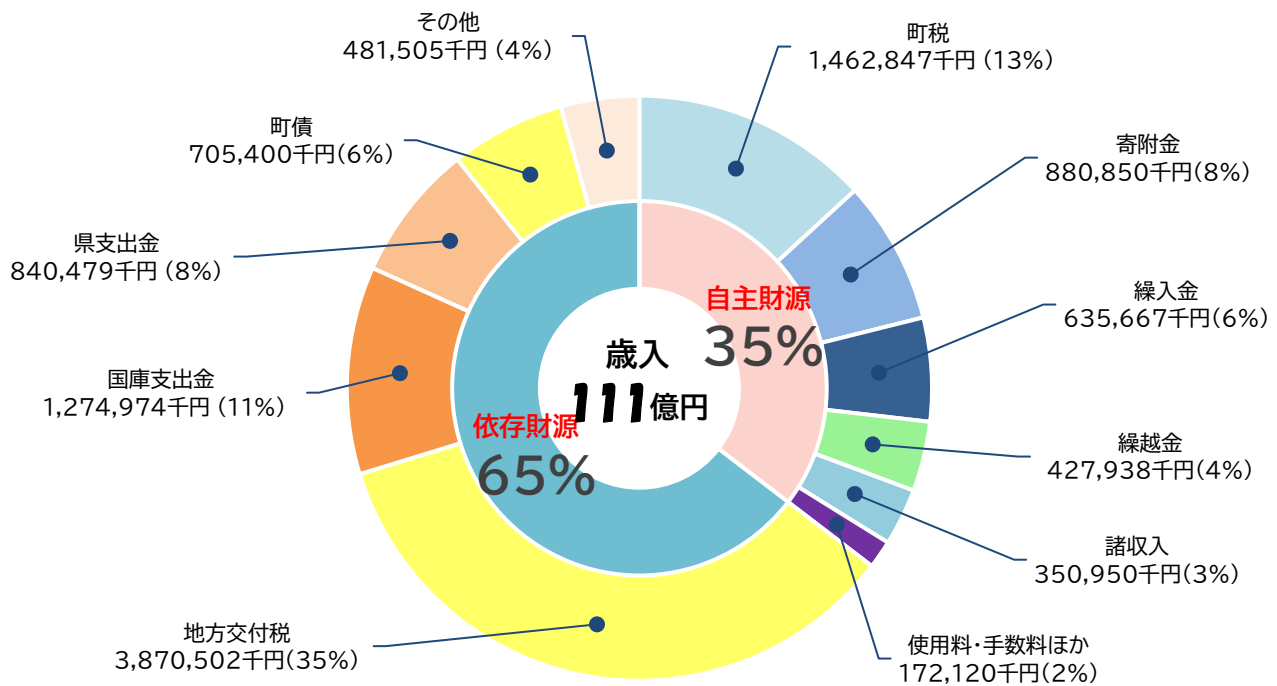
会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 (D-E) (F)	予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)		歳入(B/A)	歳出(C/A)
一般会計	12,564,210	11,103,232	10,554,386	548,846	0	153,524	35,750	189,274	359,572	88.4	84.0
国民健康保険事業特別会計	1,939,707	1,838,505	1,775,696	62,809	0	0	0	0	62,809	94.8	91.5
介護保険事業特別会計	1,849,755	1,799,975	1,637,959	162,016	0	0	0	0	162,016	97.3	88.6
農業集落排水事業特別会計	13,190	11,963	11,963	0	0	0	0	0	0	90.7	90.7
栄財産区特別会計	952	950	747	203	0	0	0	0	203	99.8	78.5
合併処理浄化槽事業特別会計	14,326	14,290	3,407	10,883	0	0	0	0	10,883	99.7	23.8
大栄歴史文化学習館特別会計	114,896	137,049	98,413	38,636	0	0	0	0	38,636	119.3	85.7
後期高齢者医療事業特別会計	230,903	220,518	219,607	911	0	0	0	0	911	95.5	95.1
合 計	16,727,939	15,126,482	14,302,178	824,304	0	153,524	35,750	189,274	635,030	90.4	85.5

(単位:千円)

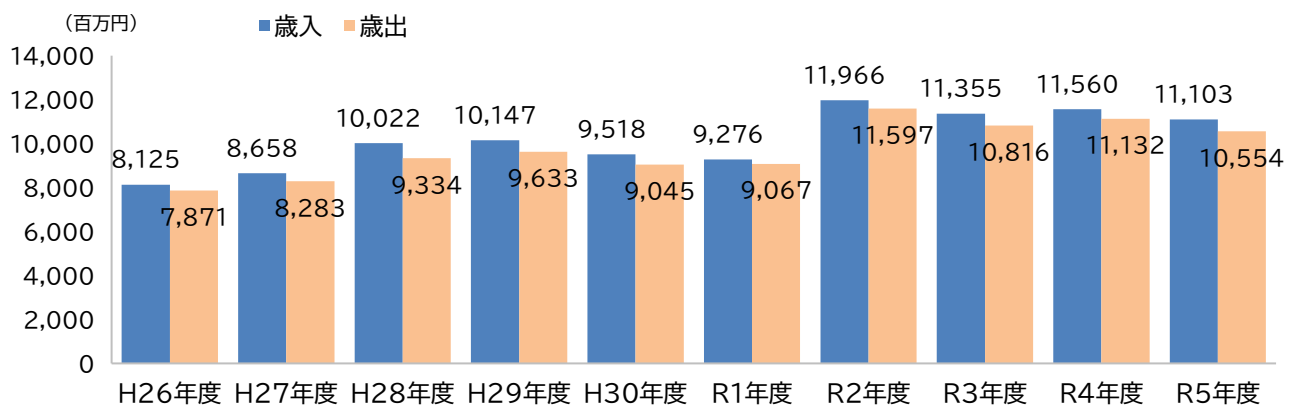
(単位:千円)

会 計 名	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)
水道事業会計	収益的収支	270,956	234,812
	資本的収支	35,980	105,861
下水道事業会計	収益的収支	1,018,317	835,013
	資本的収支	434,479	872,711
風力事業会計	収益的収支	492,551	365,979
	資本的収支	0	100,000

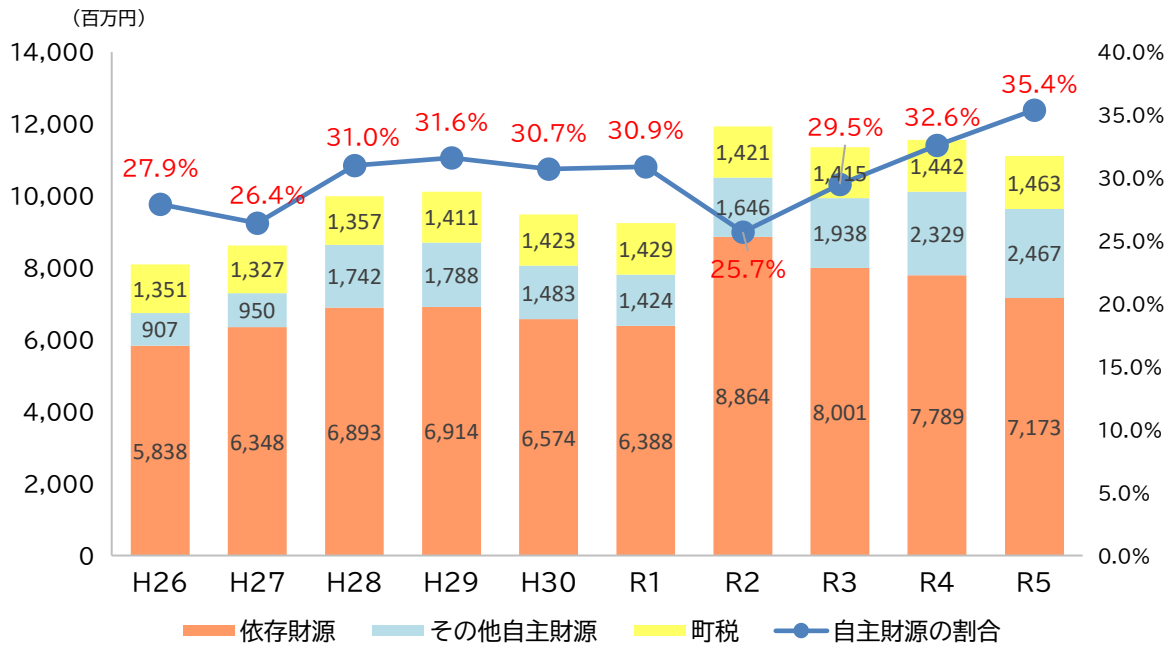
令和5年度決算(一般会計)



決算規模の推移(一般会計)



歳入決算額の推移（一般会計）



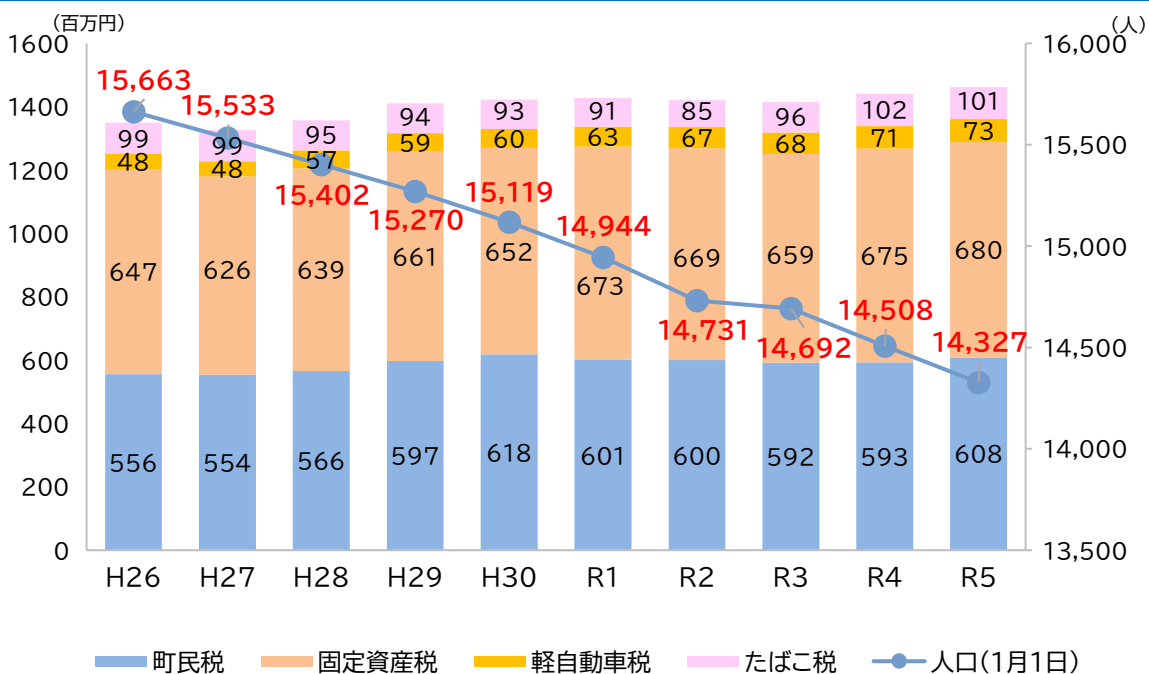
自主財源

町税や使用料、手数料など、地方自治体が自主的に集めることができる収入です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金、借入金（町債）など、国や県から交付されたり割り当てられる収入です。

町税と人口の推移



普通会計決算状況(地方財政状況調査より)

歳入決算額

(単位:千円、%)

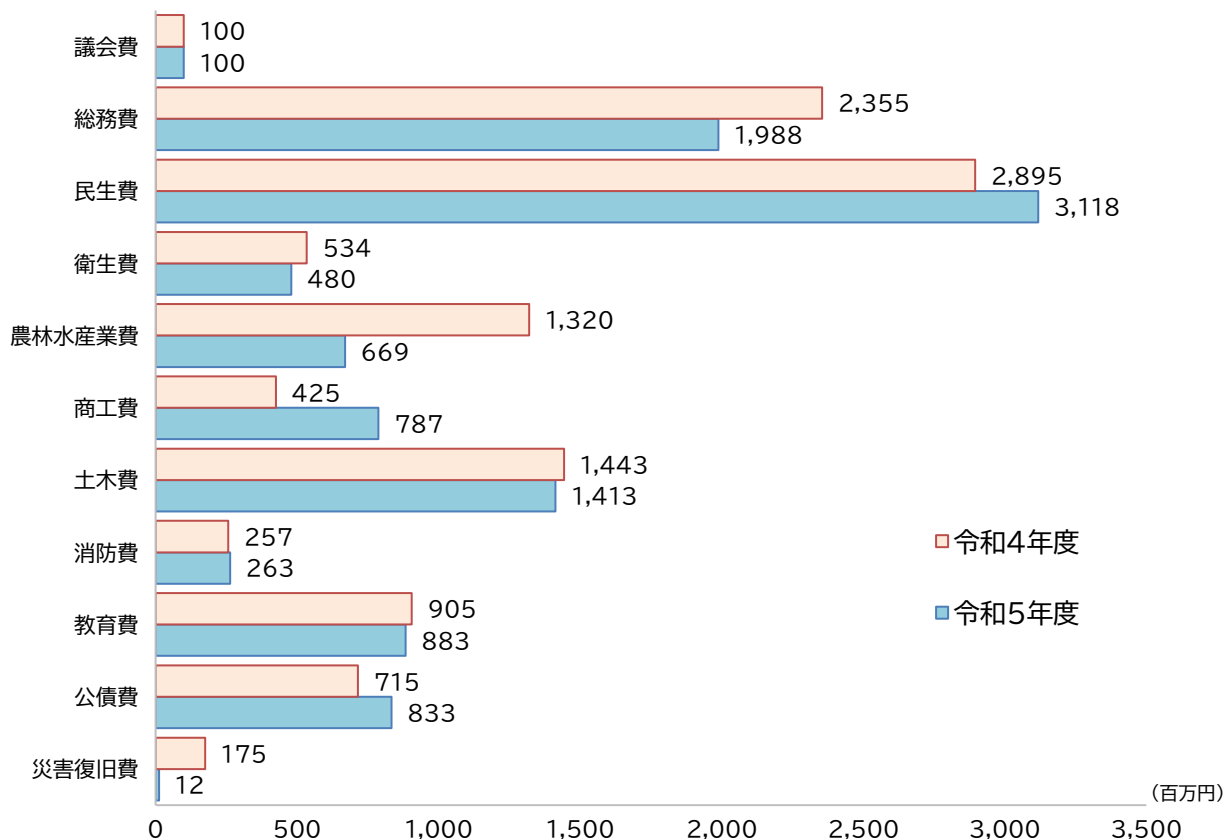
区分	令和5年度決算額		令和4年度決算額		比 較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 自主財源	3,922,471	35.4	3,763,411	32.6	159,060	4.2
町税	1,462,848	13.2	1,441,570	12.5	21,278	1.5
寄附金	880,849	7.9	814,490	7.1	66,359	8.1
繰入金	631,811	5.7	477,019	4.1	154,792	32.4
繰越金	427,938	3.9	538,691	4.7	△ 110,753	△ 20.6
諸収入	340,043	3.1	200,346	1.7	139,697	69.7
使用料及び手数料	79,888	0.7	68,635	0.6	11,253	16.4
財産収入	85,653	0.8	208,594	1.8	△ 122,941	△ 58.9
分担金及び負担金	13,441	0.1	14,066	0.1	△ 625	△ 4.4
2 依存財源	7,172,860	64.6	7,788,700	67.4	△ 615,840	△ 7.9
地方交付税	3,870,502	34.9	3,867,093	33.5	3,409	0.1
国庫支出金	1,274,974	11.5	1,426,147	12.3	△ 151,173	△ 10.6
県支出金	840,479	7.6	1,472,753	12.7	△ 632,274	△ 42.9
町債	705,400	6.3	552,900	4.8	152,500	27.6
地方消費税交付金	326,600	2.9	327,410	2.8	△ 810	△ 0.2
地方譲与税	91,396	0.8	91,653	0.8	△ 257	△ 0.3
地方特例交付金等	13,093	0.1	12,646	0.1	447	3.5
法人事業税交付金	18,885	0.1	15,002	0.1	3,883	25.9
株式等譲渡所得割交付金	9,642	0.1	5,523	0.0	4,119	74.6
配当割交付金	8,333	0.2	6,963	0.2	1,370	19.7
自動車取得税交付金	941	0.0	4	0.0	937	-
自動車税環境性能割交付金	9,951	0.1	7,956	0.1	1,995	25.1
交通安全対策特別交付金	1,806	0.0	1,757	0.0	49	2.8
利子割交付金	858	0.0	893	0.0	△ 35	△ 3.9
歳 入 合 計	11,095,331	100.0	11,552,111	100.0	△ 456,780	△ 4.0

※引き上げ分の地方消費税収(191,054千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

歳出決算額(目的別)

(単位:千円、%)

目的別	令和5年度決算額		令和4年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	100,459	1.0	99,875	0.9	584	0.6
2 総務費	1,987,683	18.8	2,355,215	21.2	△ 367,532	△ 15.6
3 民生費	3,117,910	29.6	2,894,891	26.0	223,019	7.7
4 衛生費	480,347	4.5	533,829	4.8	△ 53,482	△ 10.0
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	-
6 農林水産業費	669,323	6.3	1,319,831	11.9	△ 650,508	△ 49.3
7 商工費	786,779	7.5	424,536	3.8	362,243	85.3
8 土木費	1,413,048	13.4	1,443,369	13.0	△ 30,321	△ 2.1
9 消防費	263,279	2.5	256,974	2.3	6,305	2.5
10 教育費	883,018	8.4	905,472	8.1	△ 22,454	△ 2.5
11 公債費	832,695	7.9	715,325	6.4	117,370	16.4
12 災害復旧費	11,944	0.1	174,856	1.6	△ 162,912	△ 93.2
歳出合計	10,546,485	100.0	11,124,173	100.0	△ 577,688	△ 5.2

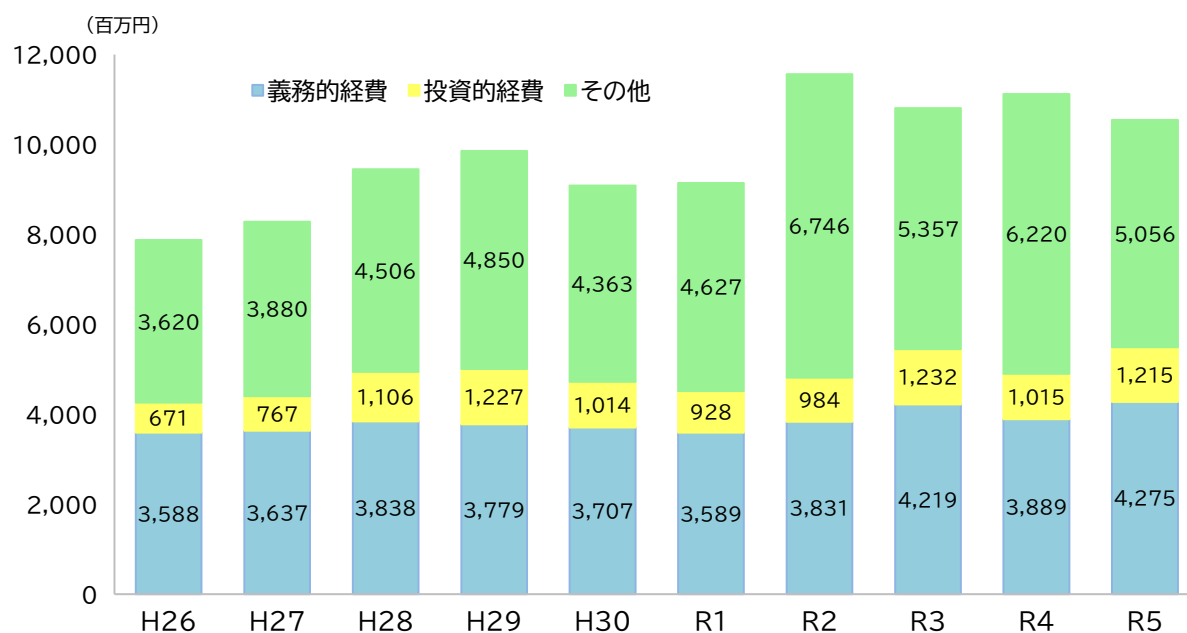


歳出決算額(性質別)

(単位:千円、%)

性質別	令和5年度決算額		令和4年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	1,962,474	18.6	1,890,490	17.0	71,984	3.8
2 物件費	1,393,212	13.2	1,435,436	12.9	△ 42,224	△ 2.9
3 維持補修費	35,593	0.3	46,243	0.4	△ 10,650	△ 23.0
4 扶助費	1,480,331	14.0	1,283,237	11.5	197,094	15.4
5 補助費等	2,056,406	19.5	2,772,101	24.9	△ 715,695	△ 25.8
6 普通建設事業費	1,203,083	11.4	839,878	7.6	363,205	43.2
7 災害復旧費	11,944	0.1	174,856	1.6	△ 162,912	△ 93.2
8 公債費	832,695	7.9	715,325	6.4	117,370	16.4
9 積立金	576,427	5.5	930,829	8.4	△ 354,402	△ 38.1
10 投資及び出資金	321,912	3.1	393,382	3.5	△ 71,470	△ 18.2
11 貸付金	14,150	0.1	16,850	0.2	△ 2,700	△ 16.0
12 繰出金	658,258	6.2	625,546	5.6	32,712	5.2
歳出合計	10,546,485	100.0	11,124,173	100.0	△ 577,688	△ 5.2

※下水道事業繰出金(850,715千円)は、決算統計において補助費等(528,803千円)、投資及び出資金(321,912千円)として計上しています。

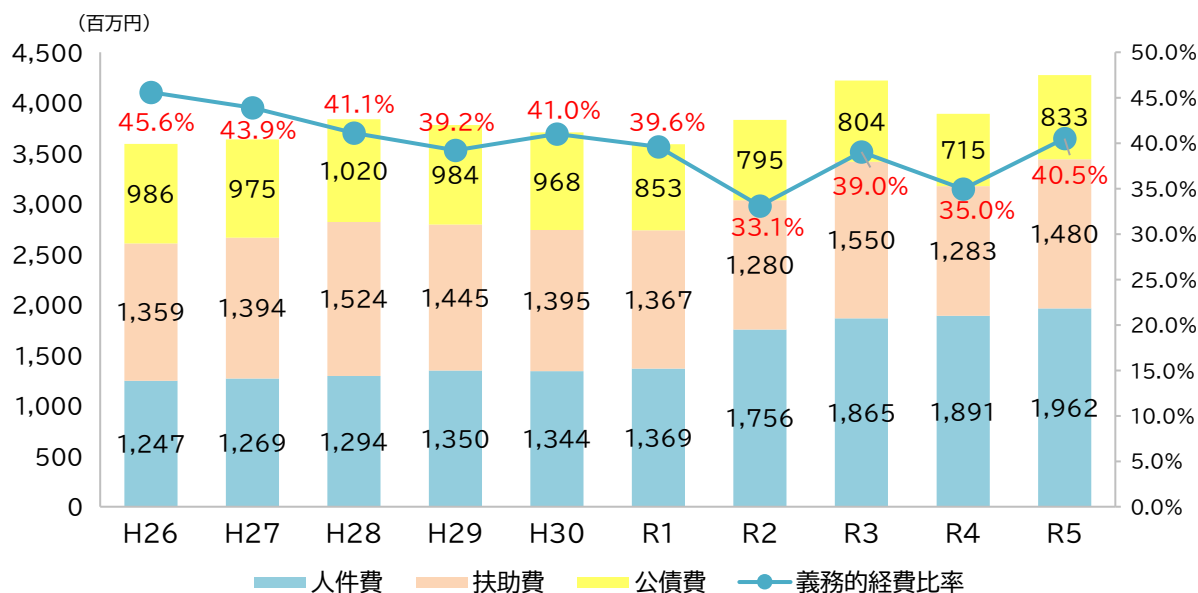


義務的経費の推移

義務的経費

人件費、扶助費、公債費は毎年支出が義務付けられ、節減することが難しい経費です。

義務的経費の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。そうすると、新たな事業やサービスなどが難しくなります。

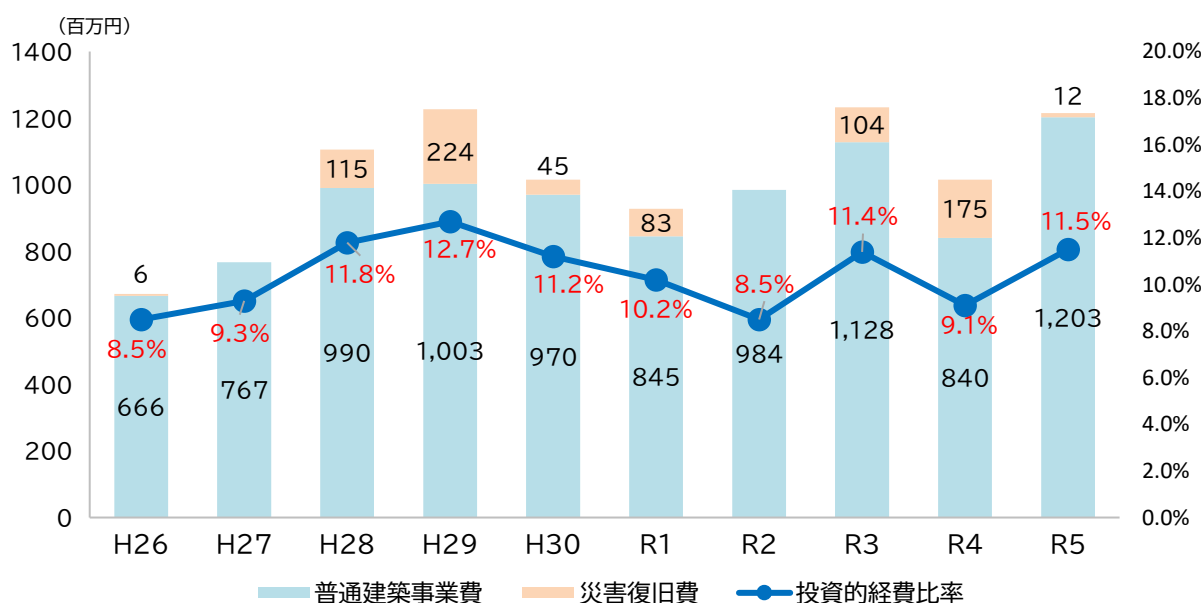


投資的経費の推移

投資的経費

道路や施設など将来に残るものに支出される経費です。

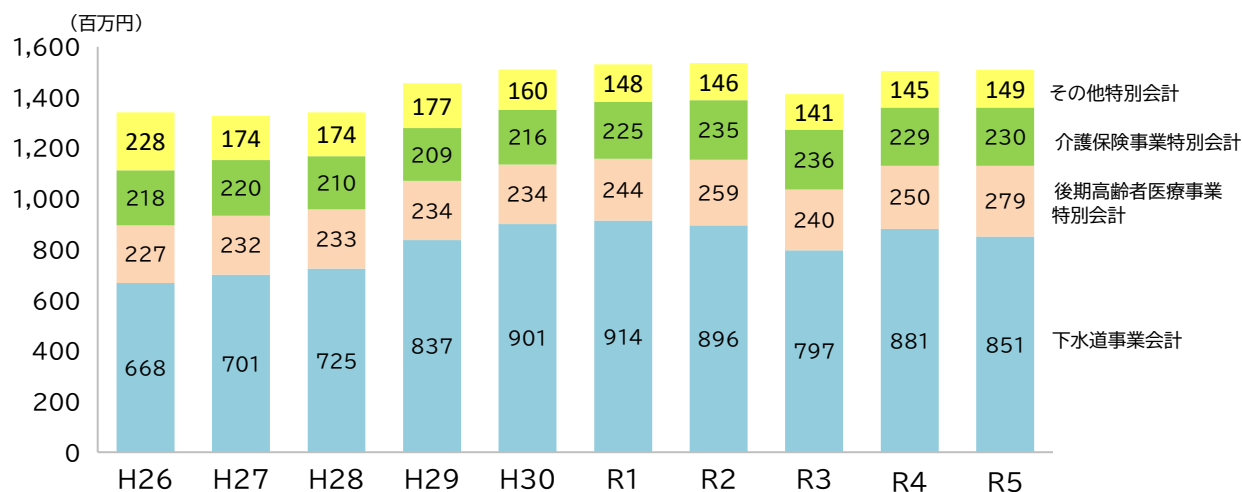
通常は、道路や公園、学校、公民館その他の公共用施設の増設や大規模修繕、大型備品の購入などに要する経費（普通建築事業費）です。



繰出金の推移

(単位:千円)

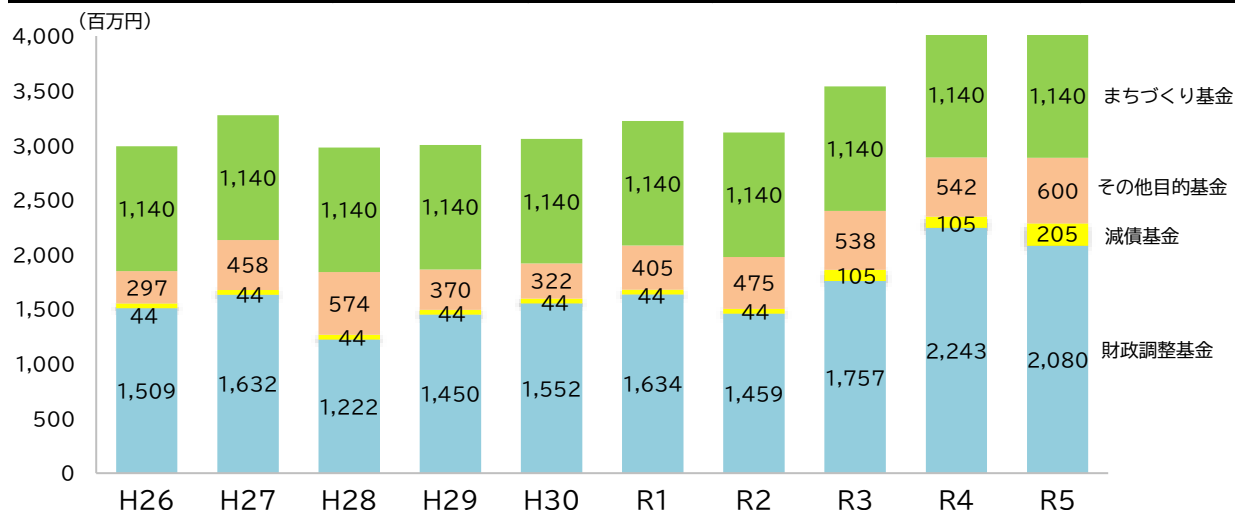
区 分	R1	R2	R3	R4	R5
下 水 道 事 業 会 計	914,338	896,215	796,638	881,274	850,715
後期高齢者医療事業特別会計	244,212	258,908	239,602	250,326	278,841
介護保険事業特別会計	224,557	235,353	235,630	229,038	229,833
国民健康保険事業特別会計	133,980	132,539	128,061	130,869	130,284
農業集落排水事業特別会計	9,209	9,135	11,916	9,437	11,590
合併処理浄化槽事業特別会計	4,609	4,441	1,263	4,995	7,710
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
合 計	1,530,905	1,536,591	1,413,110	1,505,939	1,508,973



基金残高の推移

(単位:千円)

区 分	R1	R2	R3	R4	R5
財 政 調 整 基 金	1,633,660	1,459,187	1,756,617	2,243,386	2,080,139
減 債 基 金	44,058	44,062	104,680	104,684	204,688
そ の 他 目 的 基 金	404,732	474,502	537,876	542,341	600,201
ま ち づ く り 基 金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合 計	3,222,450	3,117,751	3,539,173	4,030,411	4,025,028

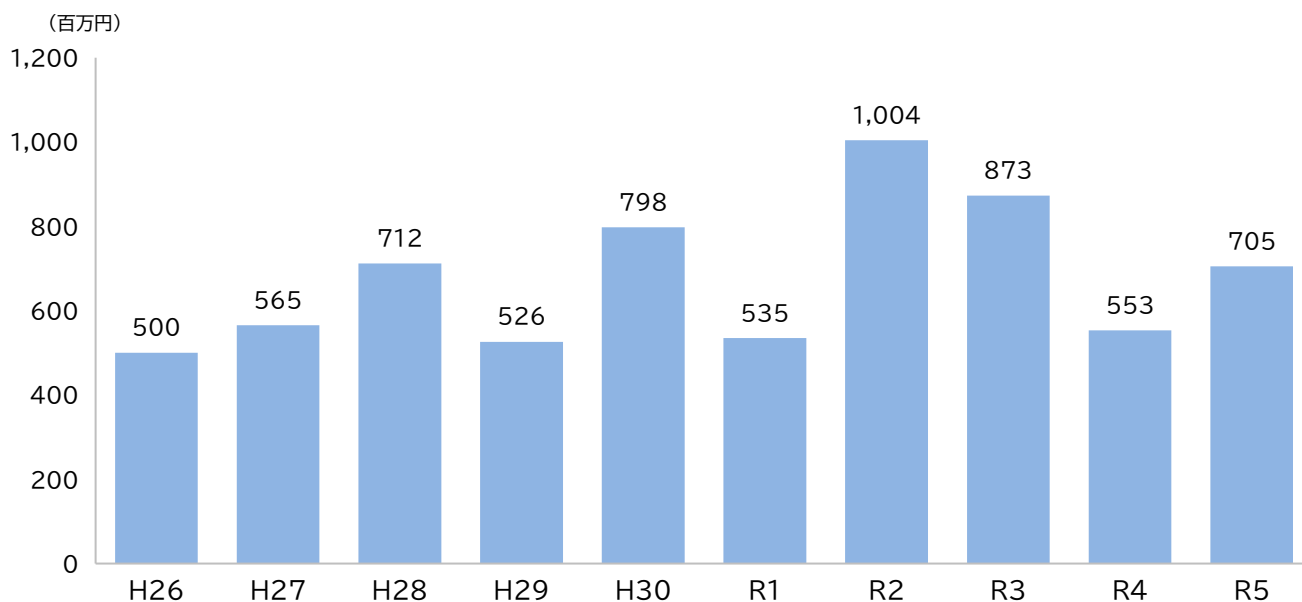


地方債残高の内訳

(単位:千円)

区 分	令和4年度末 現在高	令和5年度 発行額	令和5年度 元金償還額	令和5年度末 現在高
一般会計債	7,327,413	705,400	806,945	7,225,868
1 普通債	4,721,195	696,700	421,677	4,996,218
2 災害復旧	129,205	8,700	9,975	127,930
3 その他	2,477,013	0	375,293	2,101,720
(1) 減収補てん債	15,549	0	1,942	13,607
(2) 臨時財政対策債	2,454,539	0	370,114	2,084,425
(3) 減税補てん債	6,925	0	3,237	3,688

地方債年度別借入額の推移



公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄うと、ほかのサービスが提供できなくなる可能性があります。また、整備した施設は現在の町民だけでなく、将来の町民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、町債（借金）を活用し、世代間で平等に費用を負担します。

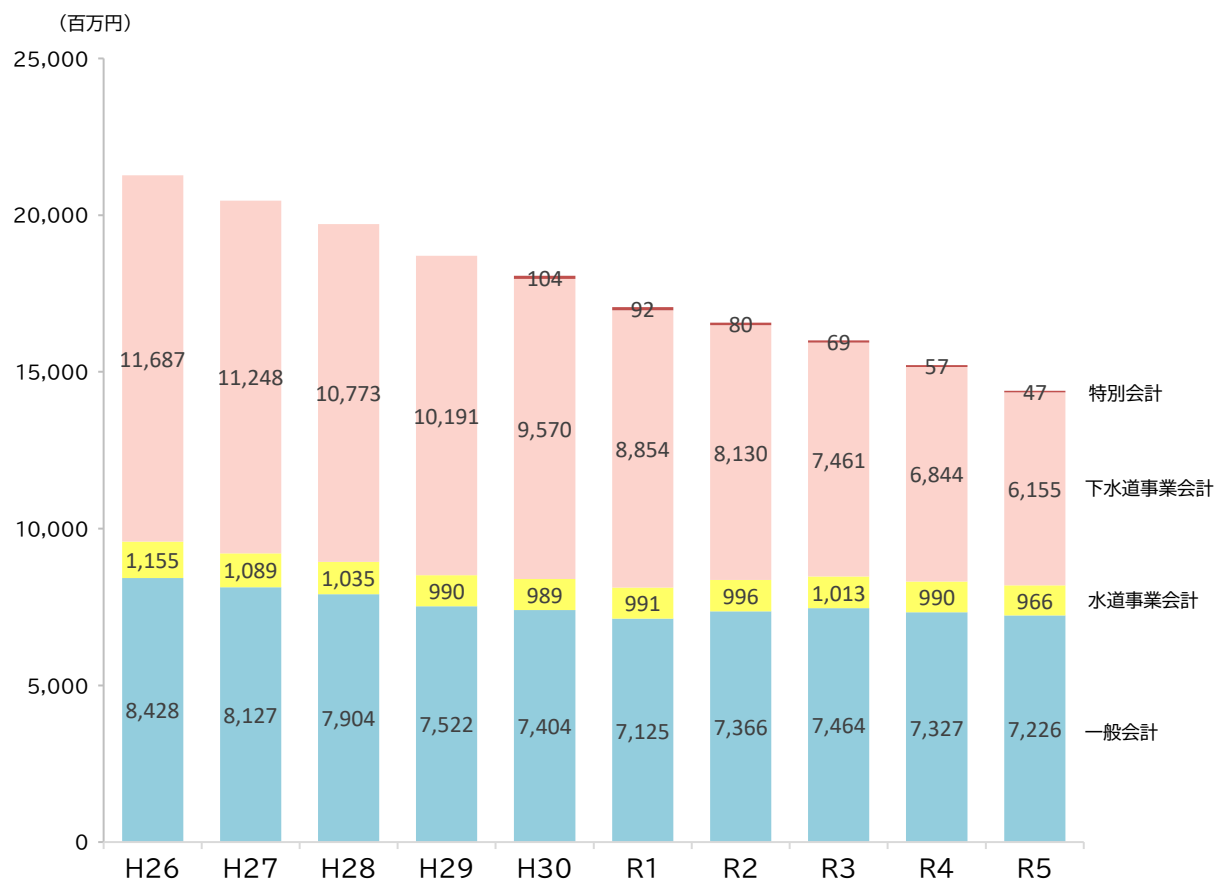
地方債残高の推移(各会計)

(単位:百万円)

会 計 名	R1	R2	R3	R4	R5
一 般 会 計	7,125	7,366	7,464	7,327	7,226
特 別 会 計	92	80	69	57	47
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1	0	0	0	0
農業集落排水事業特別会計	51	42	33	23	15
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	40	38	36	34	32
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公 営 企 業 会 計	9,845	9,126	8,474	7,834	7,121
水 道 事 業 会 計	991	996	1,013	990	966
下 水 道 事 業 会 計	8,854	8,130	7,461	6,844	6,155
風 力 発 電 事 業 会 計	0	0	0	0	0
合 計	17,062	16,572	16,007	15,218	14,394

※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

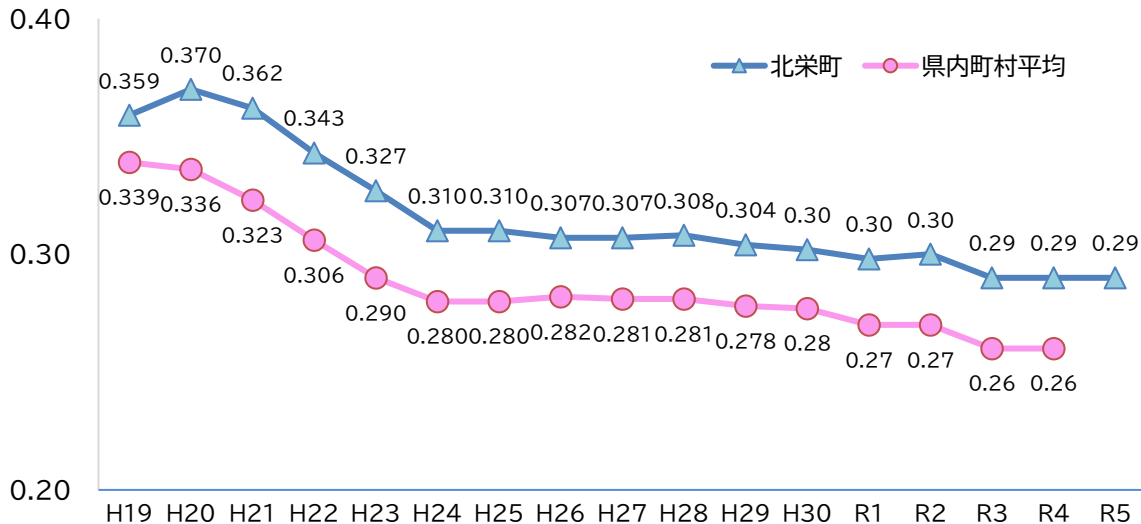
※ 公営企業会計は3月末時点。



財政力指数の推移

財政力指数

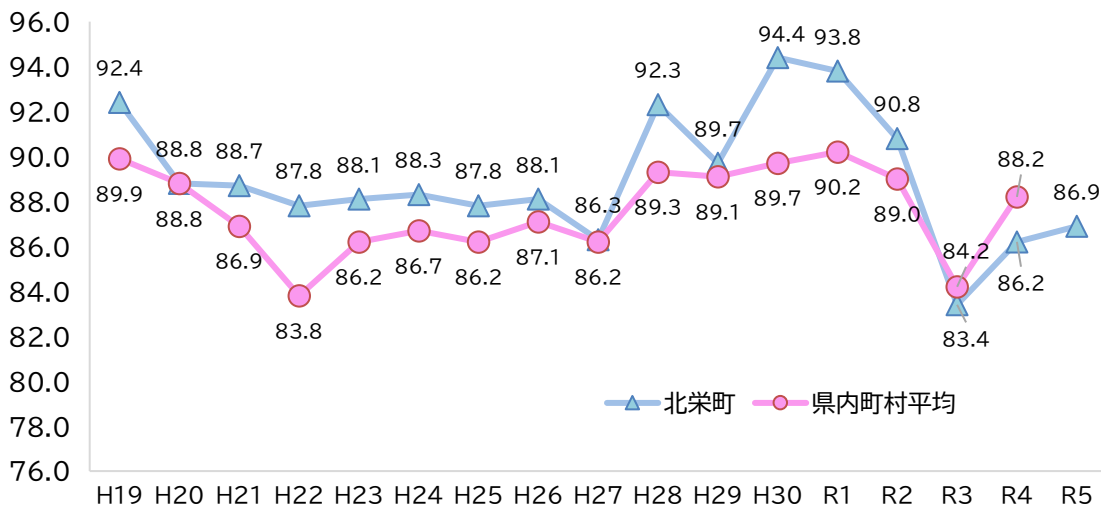
地方公共団体の財政力を示す指数。標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを示します。
★この数値が大きいほど財政力が強く、1未満の場合は国から普通交付税が交付されます。



経常収支比率の推移

経常収支比率

地方税、普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように義務的に支出される経費に充てた割合。
★財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。



健全化判断比率等の状況(令和5年度決算)について

1 概 要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年 6 月 22 日公布）」に基づき算定するもので、地方公共団体の財政の健全度を表す「健全化判断比率（①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率）と公営企業の健全度を表す「資金不足比率」を公表します。

※毎年度、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表しなければならないとされています。

2 対象会計

北栄町	一般会計	一般会計等	一般会計	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
	特別会計	公営事業 会計	国民健康保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計 介護保険事業特別会計					
	うち 公営企業 会計		水道事業会計 下水道事業会計 風力発電事業会計 農業集落排水事業特別会計 合併処理浄化槽事業特別会計 大栄歴史文化学習館特別会計					
(一部事務組合・広域連合) 鳥取中部ふるさと広域連合								
(地方公社・第三セクター等) 鳥取県町村総合事務組合 鳥取県後期高齢者医療広域連合								

※地方公社・第三セクター等…債務保証及び損失補償契約を締結していない団体は除外

3 令和5年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果

令和5年度決算に基づいて、健全化判断比率を算定したところ、いずれも国の示した早期健全化基準を大きく下回っており、「健全」な状況となっています。

指標		令和5年度	令和4年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	—（赤字なし）	—（赤字なし）	14.66%※	20%
	②連結実質赤字比率	—（赤字なし）	—（赤字なし）	19.66%※	30%
	③実質公債費比率	9.5%	9.9%	25%	35%
	④将来負担比率	38.9%	47.4%	350%	
⑤資金収支比率		—（資金不足なし）	—（資金不足なし）	経営健全化基準 20%	

※実質収支または連結実質収支は黒字であるため、「—」表示となります。

①実質赤字比率

実質赤字比率とは、地方公共団体の一般会計等の赤字額を標準財政規模の額で除して赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額（実質収支額）}}{\text{標準財政規模}}$$

（単位：千円）

区 分	実質収支額			
	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
一般会計	359,572	287,401	72,171	25.1%
標準財政規模	5,560,518	5,547,134	13,384	0.2%
実質赤字比率（%）	—	—	—	—

※実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

令和5年度の実質赤字比率は、一般会計等の実質収支が黒字だったため、算定されませんでした。

②連結収支赤字比率

連結実質赤字比率とは、すべての会計の黒字や赤字を合算し、標準財政規模の額で除して地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額（実質収支額または資金不足額・剰余額）}}{\text{標準財政規模}}$$

（単位：千円）

区 分	実質収支額		
	令和5年度	令和4年度	増減率
一般会計	359,572	287,401	25.1%
国民健康保険事業特別会計	62,809	57,888	8.5%
後期高齢者医療事業特別会計	911	689	32.2%
介護保険事業特別会計	162,016	154,634	4.8%
水道事業会計	464,114	407,068	14.0%
下水道事業特別会計	419,983	355,939	18.0%
風力発電事業会計	397,632	327,653	21.4%
農業集落排水事業特別会計	0	0	—
合併処理浄化槽事業特別会計	10,883	0	—
大栄歴史文化学習館特別会計	38,636	13,438	187.5%
計	1,916,556	1,604,710	
標準財政規模	5,560,518	5,547,134	0.2%
実質赤字比率（%）	—	—	—

令和5年度の連結実質赤字比率は、すべての会計において、実質収支は黒字で資金不足が生じた会計はなかったため、算定されませんでした。

③実質公債費比率

実質公債費比率とは、借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し、赤字団体になる可能性が高まります。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{公債費及び公債費に準ずる額} - \text{特定財源} - \text{普通交付税算入額}}{\text{標準財政規模} - \text{普通交付税算入額}}$$

分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和5年度 ①	令和4年度 ②	令和3年度	増減額 ① - ②
①公債費の元利償還金の額（繰上償還除く）	713,558	715,325	803,888	△1,767
②積立不足額を考慮して算定した額	0	0	0	0
③満期一括償還の元金償還金	0	0	0	0
④公営企業の公債費に要する繰入金	715,261	766,095	703,146	△50,834
⑤一部事務組合等の公債費負担金等	29,930	22,887	18,365	7,043
⑥公債費に準ずる債務負担行為	1,122	1,122	1,452	0
⑦一時借入金利息	0	0	0	0
公債費等額（①～⑦の計）A	1,459,871	1,505,429	1,526,851	△45,558
⑧特定財源 B	19,157	3,651	3,473	15,506
⑨普通交付税算入額 C	987,962	1,039,139	1,130,858	△51,177
分子 計（A－B－C）	453,292	462,639	392,520	△9,347

分母の計算

項 目	令和5年度 ①	令和4年度 ②	令和3年度	増減額 ① - ②
⑩標準財政規模 D	5,560,518	5,547,134	5,737,156	13,384
⑪普通交付税算入額 E	987,962	1,039,139	1,130,858	△51,177
分母 計（D－E）	4,572,556	4,507,995	4,606,298	64,561

◆単年度比率

$$\text{令和3年度} = \frac{A \ 1,526,851 - B \ 3,473 - C \ 1,130,858}{D \ 5,737,156 - E \ 1,130,858} = \frac{392,520}{4,606,298} = 8.5\%$$

$$\text{令和4年度} = \frac{A \ 1,505,429 - B \ 3,651 - C \ 1,039,139}{D \ 5,547,134 - E \ 1,039,139} = \frac{462,639}{4,507,995} = 10.3\%$$

$$\text{令和5年度} = \frac{A \ 1,459,871 - B \ 19,157 - C \ 987,962}{D \ 5,560,518 - E \ 987,962} = \frac{452,752}{4,572,556} = 9.9\%$$

$$\text{令和5年度実質公債費比率（3カ年平均）} = \underline{9.5\%}$$

過去3カ年の実質公債費比率は、令和3年度が8.5%、令和4年度が10.3%、令和5年度が9.9%で、3カ年の平均は9.5%となり、早期健全化基準の25.0%を大きく下回っており、良好な状況となっています。

単年度の比率は、令和4年度と比較して0.4ポイント減となりました。

主な要因は、下水道事業の公債費が償還にかかり④公営企業の公債費に要する繰入金が増加したこと、交付税算入される公債費の償還が進んだことで⑨⑩普通交付税の算入額も同様に少なくなり、分母が増加したことが挙げられます。

また、過去のピーク時である平成21年度の22.4%と比較すると、実質公債費比率は12.9ポイント減少し、県内町村平均に近い比率となっています。

しかしながら、今後、道の駅ほうじょうや青山剛昌ふるさと館等の大型事業による地方債借入が大幅に増加することから、増加に転じる見込みとなっています。

④将来負担比率

将来負担比率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。この比率が高い場合は、標準財政規模に比べ将来負担額が大きいということであり、今後、将来負担比率が増大することにより、財政上の問題が生じる可能性が高くなります。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等の額}}$$

分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和５年度	令和４年度	増減額
①地方債の残高	7,225,868	7,327,413	△101,545
②債務負担行為に基づく支出予定額	2,080	3,201	△1,121
③公営企業債等繰入見込額	5,092,318	5,821,333	△729,015
④組合等負担等見込額	201,556	211,727	△10,171
⑤退職手当負担見込額	706,444	754,830	△48,386
⑥設立法人の負債額等負担見込額	0	0	0
⑦連結実質赤字額	0	0	0
⑧組合等実質赤字負担見込額	0	0	0
将来負担額（①～⑧の計）A	13,228,266	14,118,504	△890,238
⑨充当可能基金	3,230,621	3,222,754	7,867
⑩充当可能特定収入	330,376	362,734	△32,358
⑪基準財政需要額算入見込額	7,886,004	8,395,406	△509,402
充当可能財源等 B（⑨～⑪の計）	11,447,001	11,980,894	△533,893
分子 計（A－B）	1,781,265	2,137,610	△356,345

分母の計算

項 目	令和５年度	令和４年度	増減額
⑫標準財政規模 C	5,560,518	5,547,134	13,384
⑬普通交付税算入額 D	987,962	1,039,139	△51,177
分母 計（C－D）	4,572,556	4,507,995	64,561

◆将来負担比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{A \ 13,228,266 - B \ 11,447,001}{C \ 5,560,518 - D \ 987,962} = \frac{1,781,265}{4,572,556} = 38.9\%$$

令和５年度将来負担比率＝38.9%

令和５年度決算では、令和４年度の 47.4%に対し 8.5 ポイント減の 38.9%となりました。

令和４年度と比較して減となった主な要因については、将来負担額 A のうち、①一般会計債の地方債残高が減少したほか、下水道事業の地方債残高及び将来負担に係る算入率の減などにより③公営企業債等繰入金見込額が大幅に減少したことで分子が大きく減少

(△356,345 千円) したことが挙げられます。

また、将来負担比率は、過去のピーク時である平成 20 年度の 205.3%と比較すると 166.4 ポイント減少していますが、県内町村平均と比較すると、少し高い比率となっています。

今後は、道の駅ほうじょうや青山剛昌ふるさと館等の大型事業による地方債借入が大幅に増加することから、しばらくは将来負担比率も増加していくと見込んでいます。

⑤資金不足比率の状況

資金不足比率とは、公営企業の資金不足額または剰余額を、公営企業の事業規模である料金収入等の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額または剰余額}}{\text{事業規模}}$$

(単位：千円)

区 分	令和 5 年度			令和 4 年度		
	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率
水道事業会計	464,114	223,772	—	407,068	226,508	—
下水道事業会計	419,983	253,967	—	355,939	255,792	—
風力発電事業会計	397,632	414,587	—	327,653	369,223	—
農業集落排水事業特別会計	0	4,253	—	0	4,437	—
合併処理浄化槽事業特別会計	10,883	2,700	—	0	2,703	—
大栄歴史文化学習館特別会計	38,636	122,496	—	13,438	81,853	—

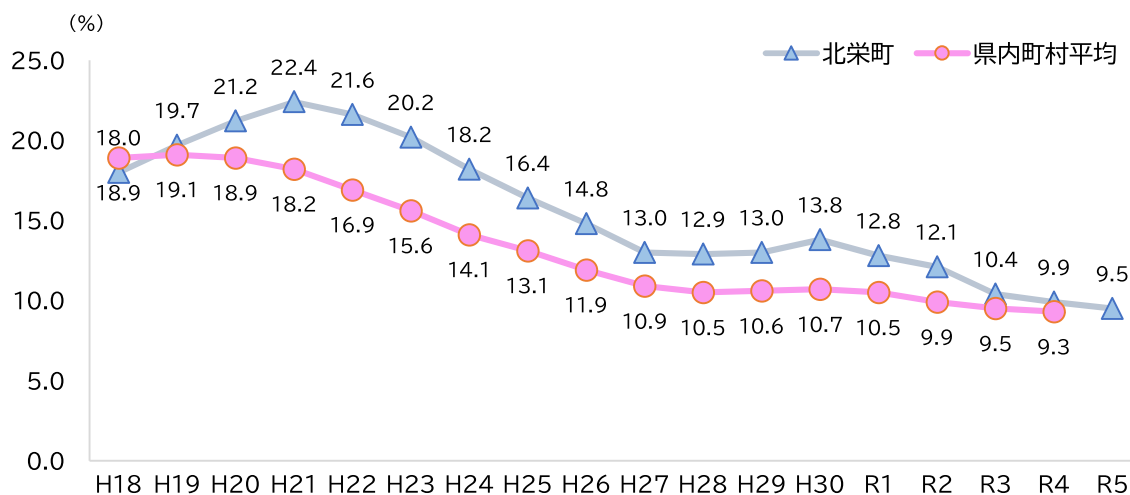
令和 5 年度の資金不足比率は、すべての会計において、資金不足はなかったため、算定されませんでした。

実質公債費比率の推移

実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、財政の硬直化をします。

★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払いなどのその年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いことを示します。

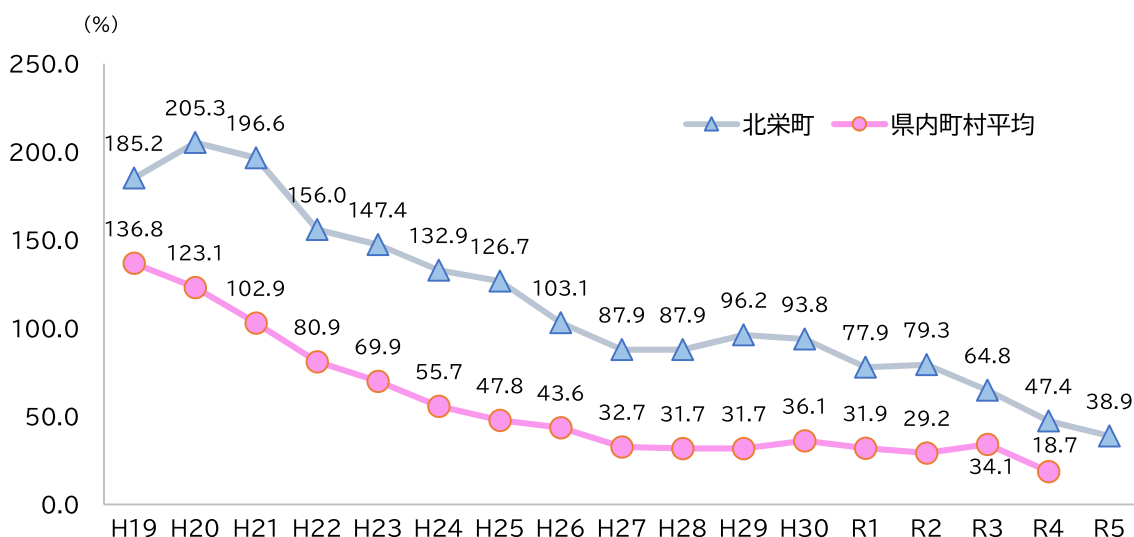


将来負担比率の推移

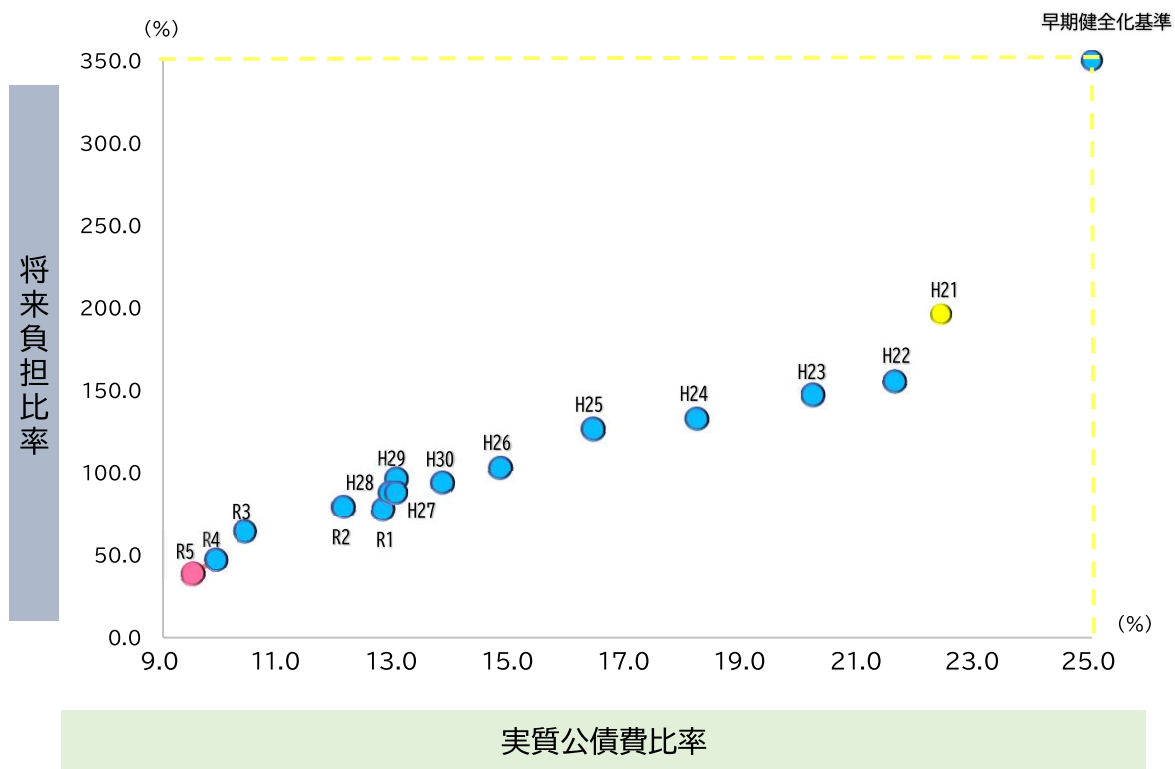
将来負担比率

地方債の現在高など、将来実質的に負担すべき債務を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、将来負担の程度を把握するものです。

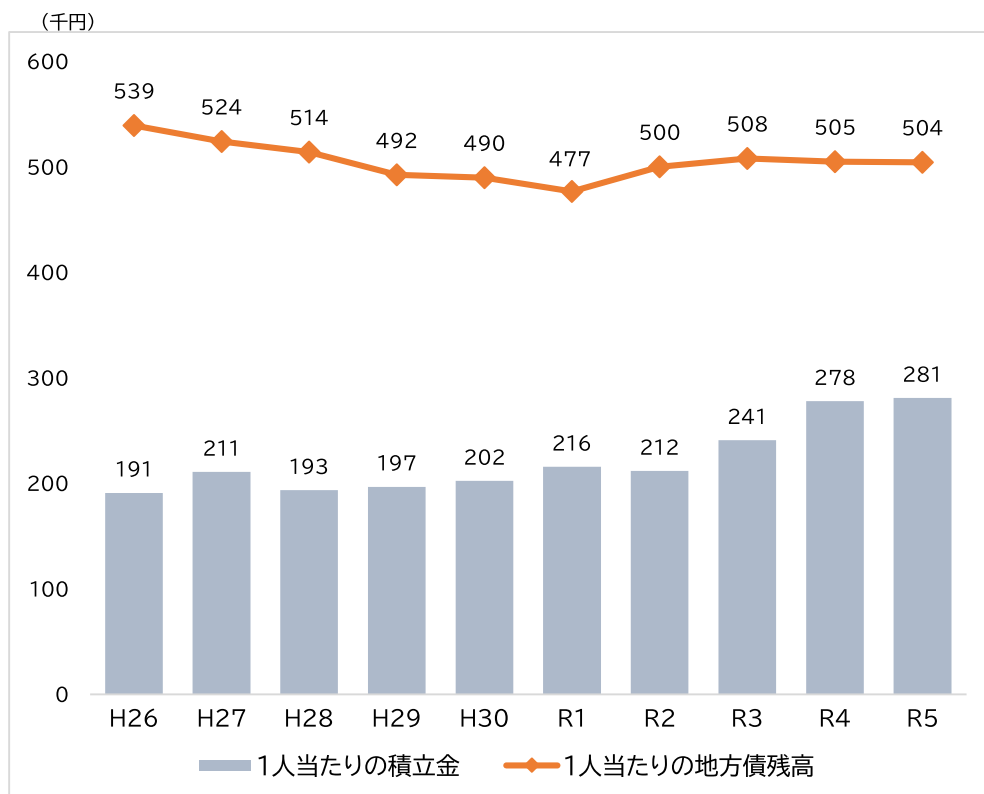
★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払い残高などが、年収の3.5倍(350%)以上になると、経済的苦境に陥る状態にあることを示します。



実質公債費比率と将来負担比率における状況



町民1人当たりの地方債残高・積立金の推移(一般会計)





北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1

電話番号:0858-37-3111

FAX番号:0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1

電話番号:0858-36-3111

FAX番号:0858-36-4595